

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7 款 商 工 費	2,521,091,211	50,815,218	0	1,385,449,540	1,084,826,453
1 項 商 工 費	2,521,091,211	50,815,218	0	1,385,449,540	1,084,826,453
2 目 中 小 企 業 振 興 費 <中小企業の経営基盤の強化と人材育成>	183,099,464	0	0	78,540	183,020,924

1 中小企業振興対策事業費 179,959,430 円 (産業政策課・商工業振興課)

[総括]

ものづくり・夢づくり支援事業において、市内企業の競争力や技術力、販売力の強化に資する支援を行った。また、企業BCP（事業継続計画）の策定を促すためのセミナーや策定経費の助成など、普及・啓発のための支援を行った。今後も地域のニーズや戦略を踏まえた新たな制度の構築・検討を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 中小企業振興助成金 163,164,300 円

助 成 金	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度	
		212件	165,695,490円	201件

(2) ものづくり・夢づくり支援事業費 16,444,000 円

(ア) 知的財産権取得事業費補助金 1,906,000 円

補 助 金	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度	
		16件	1,772,000円	17件

(イ) 産学共同研究等支援事業費補助金 2,008,000 円

補 助 金	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度	
		3件	1,216,000円	5件

(ウ) 販路開拓支援事業費補助金 9,651,000 円

補 助 金	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度	
		50件	8,133,000円	59件

(エ) 創業者支援事業費補助金 1,979,000 円

補 助 金	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度	
		7件	1,925,000円	9件

(オ) 起業支援事業費補助金 900,000 円

補 助 金	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度	
		0件	0円	3件

(3) 企業BCP策定支援事業費 190,000 円

(ア) 企業BCP（事業継続計画）セミナーの開催 100,000 円

セミナー受講者数	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度	
		延 150人		延 160人

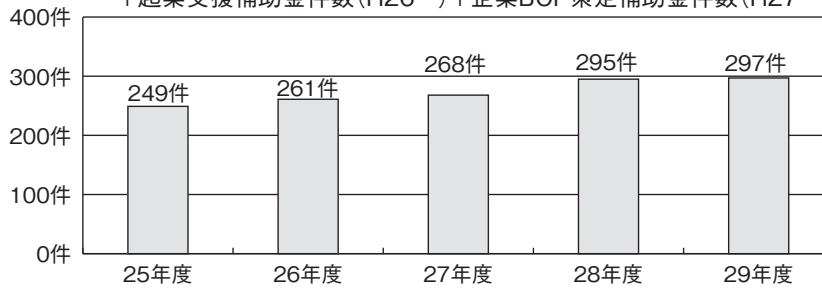
(1) 企業BCP策定支援事業費補助金 90,000円

補助金	平成28年度		平成29年度	
	7件	210,000円	3件	90,000円

[指標]

指標名：中小企業振興助成金等交付件数

指標説明：振興助成金件数+国際規格等取得補助金件数(H24~27)+知的財産権取得補助金件数
+産学共同研究補助金件数+販路開拓補助金件数+創業者支援補助金件数
+起業支援補助金件数(H26~)+企業BCP策定補助金件数(H27~)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 産 業 創 出 費 ＜製品開発力や技術力等の向上と新規産業の創出＞	215,262,220	35,501,218	0	35,471,000	144,290,002

1 サイエンス・クリエイト21計画推進事業費 215,262,220円 (産業政策課・商工業振興課)

[総括]

中小企業技術者研修事業では、新たに「ドローン操縦者養成講座」を開催するなど講座内容を見直し、中小企業の資質の向上に寄与した。また、新たな産業創出に向けた研究開発等に対する助成のほか、オープンデータを活用したビジネス創出を目的として構築したデータポータルサイト等の運用とデータ活用を促進する取組みを進めた。さらに、アグリフード・ラボやスタートアップオフィスなどを通して、多様な事業者の交流・連携を促進し挑戦を支援することで、新商品開発や新規ビジネスの創出を加速化する「豊橋イノベーションガーデン」を整備した。加えて、データに基づいた産業振興支援施策を実施するため、産業連関表を作成した。今後も地域産業育成に向け、産業人材のキャリアアップ支援などニーズに沿った事業を検討・推進していく。

[実績及び成果]

(1) 中小企業技術者研修事業費 35,980,200円

区 分	平成28年度	平成29年度
内 容	溶接技術基礎実習講座、ロボット開発・活用基礎講座、フリーソフトInkscapeで学ぶレーザーカッター使い方講座始め19講座	基礎から始める3D CADモデリング講座、ドローン操縦者養成講座、一から始めるHACCP構築講座始め17講座
受講者数	延 162人	延 139人

(2) イノベーション創出等支援事業補助金 34,952,000円

補 助 金	平成28年度	平成29年度
	35,600,000円	34,952,000円

(3) メイカーズ・ラボ交流促進事業補助金 14,200,000円

補 助 金	平成28年度	平成29年度
	13,350,000円	14,200,000円

(4) 次世代ものづくり研究開発促進事業補助金 8,300,000円

補 助 金	平成28年度	平成29年度
	8,740,000円	8,300,000円

(5) 新規ビジネス創造支援事業補助金 473,000円

補 助 金	平成28年度	平成29年度
	460,000円	473,000円

(6) 社会人キャリアアップ支援事業補助金 2,710,000円

補 助 金	平成28年度	平成29年度
	3,000,000円	2,710,000円

(7) 地域経済雇用実態調査事業費 1,500,000 円

区 分	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
内 容	地域経済の構造や労働力の需給状況を調査・分析するため事業所アンケートの実施、アンケート結果の集計等	産業連関表の作成、経済波及効果の検討

(8) オープンデータビジネス創出事業費 39,637,020 円

区 分	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
内 容	データポータルサイト及び公共交通運行情報システムの構築、デジタルサイネージの設置、オープンデータ活用関連のワークショップの開催支援	データポータルサイト、公共交通運行情報システム及びデジタルサイネージの運用、オープンデータ活用関連のワークショップ等の開催支援

(9) 地域産業支援施設整備事業補助金 20,800,000 円

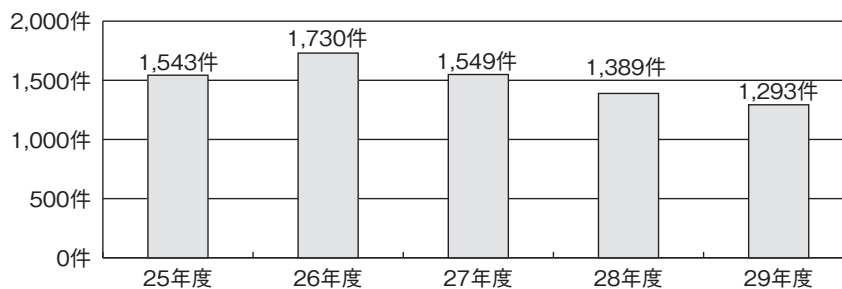
補 助 金	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
	—	20,800,000円

(10) 豊橋イノベーションガーデン整備事業補助金 56,710,000 円

補 助 金	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
	—	56,710,000円

[指 標]

指 標 名：豊橋サイエンスコア利用件数
 指標説明：技術相談件数＋貸室利用件数＋中小企業技術者研修受講者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 企業誘致費 〈円滑な企業活動の促進と企業誘致の推進〉	184,489,688	15,034,000	0	0	169,455,688

1 企業誘致推進事業費 184,489,688 円 (産業政策課)

[総括]

関西、関東及び近隣市の優良企業に対し誘致活動を行うとともに、市内の立地企業との情報交換会を開催するなど市内企業のニーズにも対応している。広域的な産業集積を活かした企業誘致を展開するため、東三河5市が連携して戦略的に企業誘致に取り組んでいる。こうした取組みにより、新たに2区画の事業用地の分譲等に成功し、優良企業を誘致することが出来た。また、内陸用地への進出要望の高まりを受け、国道23号名豊道路沿線の内陸部に新たな産業拠点として三弥地区をはじめとした工業用地の開発・検討を進めている。

[実績及び成果]

(1) 企業誘致活動事業費 6,537,472 円

内 容		平成28年度		平成29年度	
企業誘致説明会	開催日	28.12.21		29.12.21	
	場 所	大阪市		大阪市	
	出席企業数	25社		18社	
立地企業情報交換会	開催日	28.8.22	29.3.10	29.7.11	29.11.27
	場 所	明海地区	神野地区・御津2区	若松地区	二川地区
	出席企業数	16社	10社	12社	8社
東三河5市企業誘致推進連絡会議	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセナゴヤ出展 28.10.26～29 ポートメッセ名古屋 ・企業連携懇談会（東京都） 29.1.25 		<ul style="list-style-type: none"> ・メッセナゴヤ出展 29.11.8～11 ポートメッセ名古屋 ・企業連携懇談会（東京都） 30.1.25 	
展示会への出展	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・IoT Japan 2016 28.10.19～21 東京ビッグサイト 		—	

(2) 企業立地促進奨励金 167,901,000 円

奨 励 金	平成28年度		平成29年度	
		33件	183,560,000円	32件

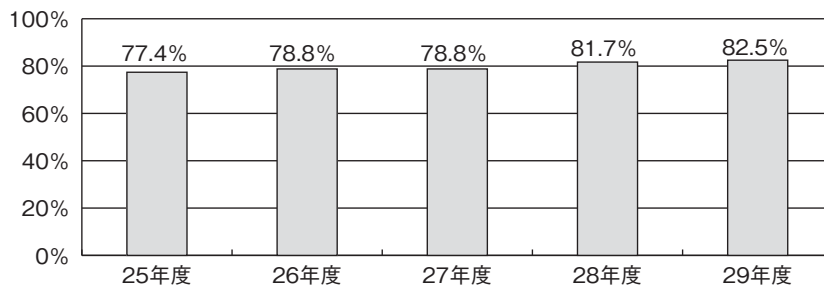
(3) 産業拠点形成事業費 10,051,216 円

内 容	平成28年度		平成29年度	
		—		産業用地施設設計等業務委託等

[指 標]

指 標 名：事業所用地分譲率

指標説明：市内5か所の事業所用地全体の分譲率(面積)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 商業振興費 ＜魅力ある商業集積の形成＞	5,560,610	0	0	0	5,560,610

1 商業振興対策事業費 5,560,610円 (商工業振興課)

[総括]

魅力ある商業地形成のため、商店街等が維持管理を行う街路灯等の電灯料や既設街路灯の省エネ化に対して助成したほか、商業団体が実施する各種イベントに対する支援などを行った。今後も各種事業を実施することにより、商業等の活性化を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 商業団体共同事業補助金 1,075,000円

補 助 金	平成28年度		平成29年度	
		5団体	1,257,000円	4団体

(2) 商店街環境向上事業補助金 1,525,000円

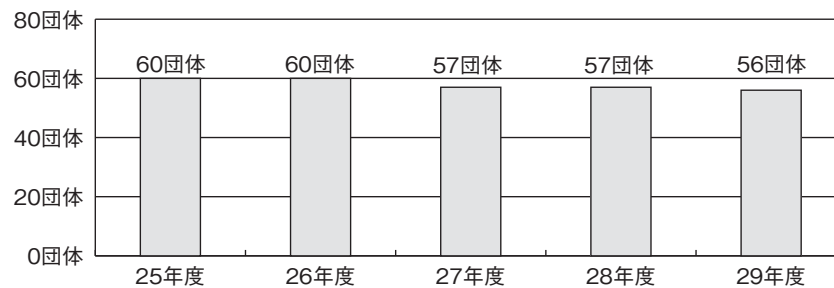
補 助 金	平成28年度		平成29年度	
		13団体	11,817,000円	4団体

(3) がんばる個店応援事業補助金 182,000円

補 助 金	平成28年度		平成29年度	
		0件	0円	2件

[指標]

指標名：商店街、発展会等数
 指標説明：法組織(商店街振興組合、商店街事業協同組合)数+任意組織(発展会等)数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 中小企業支援費 <意欲ある事業者への支援>	1,431,604,340	0	0	1,349,900,000	81,704,340

1 中小企業関係振興事業費 5,788,221 円 (商工業振興課)

[総括]

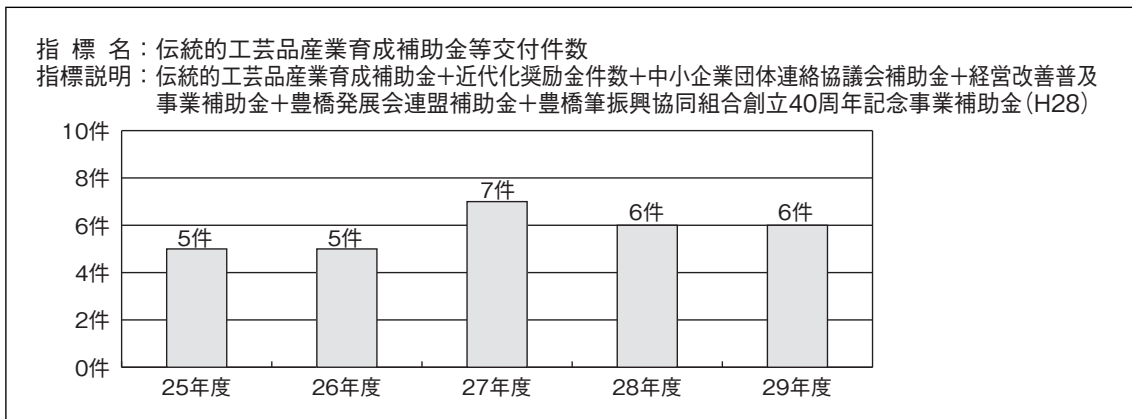
豊橋筆振興協同組合が行った後継者の育成、需要の開拓などの共同事業に対して助成するなど、中小企業関係団体に対する支援を行った。今後も各種事業を実施することにより、中小企業の振興を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 伝統的工艺品産業育成補助金 913,000 円

補 助 金	平成28年度	平成29年度
		400,000円

[指 標]



2 制度融資事業費 1,350,343,992 円 (商工業振興課)

[総括]

中小事業者に対する金融機関の融資の停滞を防ぎ、中小事業者が経営基盤を安定・強化できるように、小口事業資金融資や経営安定資金融資などの原資として預託を行った。今後も融資制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

[預託金合計]

区 分	平成28年度	平成29年度	比 較	
預 託 額	1,357,000,000円	1,349,000,000円	△ 0.6%	
融 資 枠	5,457,000,000円	5,127,000,000円	—	
融 資 実 績	件数	754件	836件	10.9
	金額	3,012,573,000円	3,685,175,000円	22.3
融 資 実 績 率	55.2%	71.9%	16.7ポイント	

(1) 小口事業資金預託金 850,000,000 円

区 分		平成28年度	平成29年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか15金融機関	豊橋信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額		835,000,000円	850,000,000円	1.8%
融 資 枠		2,505,000,000円	2,550,000,000円	—
融 資 実 績	件数	191件	245件	28.3
	金額	1,377,300,000円	1,795,970,000円	30.4
融 資 実 績 率		55.0%	70.4%	15.4ポイント

(2) 経営安定資金預託金 30,000,000 円

区 分		平成28年度	平成29年度	比 較
預 託 先		岡崎信用金庫ほか15金融機関	岡崎信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額		47,000,000円	30,000,000円	△36.2%
融 資 枠		141,000,000円	90,000,000円	—
融 資 実 績	件数	7件	2件	△71.4
	金額	61,500,000円	22,500,000円	△63.4
融 資 実 績 率		43.6%	25.0%	△18.6ポイント

(3) 小規模企業等振興資金預託金 360,000,000 円

区 分		平成28年度	平成29年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか16金融機関	豊橋信用金庫ほか16金融機関	—
預 託 額		330,000,000円	360,000,000円	9.1%
融 資 枠		2,376,000,000円	2,160,000,000円	—
融 資 実 績	件数	525件	537件	2.3
	金額	1,473,190,000円	1,701,445,000円	15.5
融 資 実 績 率		62.0%	78.8%	16.8ポイント

(4) 中心市街地商業活性化資金預託金 20,000,000 円

区 分		平成28年度	平成29年度	比 較
預 託 先		豊川信用金庫ほか12金融機関	豊川信用金庫ほか12金融機関	—
預 託 額		23,000,000円	20,000,000円	△13.0%
融 資 枠		69,000,000円	60,000,000円	—
融 資 実 績	件数	4件	10件	2.5倍
	金額	20,700,000円	32,000,000円	54.6%
融 資 実 績 率		30.0%	53.3%	23.3ポイント

(5) 創業支援資金預託金 60,000,000 円

区 分		平成28年度	平成29年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか7金融機関	豊橋信用金庫ほか7金融機関	—
預 託 額		90,000,000円	60,000,000円	△33.3%
融 資 枠		270,000,000円	180,000,000円	—
融 資 実 績	件数	18件	33件	83.3
	金額	63,480,000円	109,760,000円	72.9
融 資 実 績 率		23.5%	61.0%	37.5ポイント

(6) 中小企業団体共同事業資金預託金 11,000,000 円

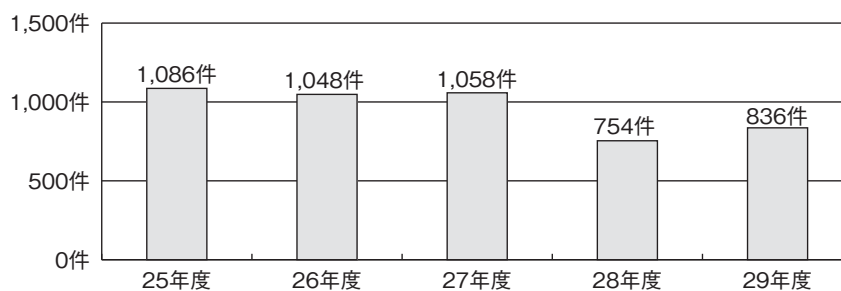
区 分		平成28年度	平成29年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか6金融機関	豊橋信用金庫ほか6金融機関	—
預 託 額		11,000,000円	11,000,000円	0.0%
融 資 枠		33,000,000円	33,000,000円	—
融 資 実 績	件数	3件	2件	△33.3
	金額	8,003,000円	3,500,000円	△56.3
融 資 実 績 率		24.3%	10.6%	△13.7ポイント

(7) 小規模事業資金預託金 18,000,000 円

区 分		平成28年度	平成29年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか11金融機関	豊橋信用金庫ほか11金融機関	—
預 託 額		21,000,000円	18,000,000円	△14.3%
融 資 枠		63,000,000円	54,000,000円	—
融 資 実 績	件数	6件	7件	16.7
	金額	8,400,000円	20,000,000円	2.4倍
融 資 実 績 率		13.3%	37.0%	23.7ポイント

[指 標]

指 標 名：融資件数
 指標説明：全制度融資の融資件数



3 制度融資関係補助事業費 68,543,100 円（商工業振興課）

[総括]

中小事業者が愛知県信用保証協会の信用保証を得て融資を受けた場合にその信用保証料相当額を助成するなど、中小事業者の借入負担を軽減し経営の安定化を図る支援を行った。今後も補助制度の利用を促進していく。

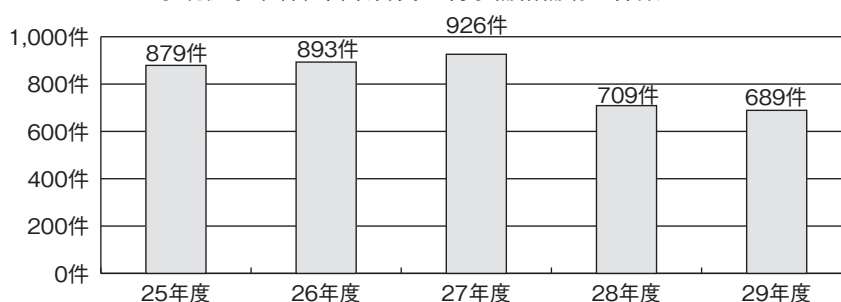
[実績及び成果]

(1) 制度融資信用保証料補助金 67,188,300 円

補助金	平成28年度		平成29年度	
		638件	64,125,300円	625件

[指標]

指標名：制度融資関係補助金交付件数
 指標説明：制度融資信用保証料補助金件数＋不況業種支援対策特別補給補助金件数
 ＋小規模事業者経営改善資金利子補給補助金件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 中心市街地にぎわい創出費 <にぎわい創出活動の推進>	41,720,646	0	0	0	41,720,646

1 まちなかにぎわい創出事業費 25,002,646円 (まちなか活性課)

[総括]

中心市街地のにぎわい創出及び消費促進のため、歩行者天国やまちなかマルシェ、クリスマスマーケットを引き続き開催したほか、豊橋駅東口ペDESTリアンデッキではイルミネーション装飾を行った。また、中心市街地の魅力向上や活性化につながる新しいコミュニティ等の活動を支援した。今後も中心市街地で活躍する様々な団体と連携・協力しながら、まちなかのにぎわいを創出し、魅力ある中心市街地の形成に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) まちなかにぎわい創出活動事業費 14,292,646円

内 容	平成28年度	平成29年度
まちなかイルミネーション装飾の実施	点灯期間・日数 28.11.20~29.2.14 87日間 装飾電球数 約 138,000球	点灯期間・日数 29.11.19~30.2.14 88日間 装飾電球数 約 127,000球
まちなかマルシェ等の実施	実施回数・日数 15回・18日間 来場者数 延 75,500人	実施回数・日数 13回・16日間 来場者数 延 77,800人
豊橋駅南口駅前広場使用実績	貸出件数 55件 貸出日数 91日	貸出件数 80件 貸出日数 115日

(2) まちなか活性化推進協議会負担金 1,000,000円

負 担 金	平成28年度	平成29年度
	1,000,000円	1,000,000円

(3) イルミネーションフェスティバル補助金 500,000円

補 助 金	平成28年度	平成29年度
	1件 1,000,000円	1件 500,000円

(4) 歩行者天国実行委員会負担金 9,000,000円

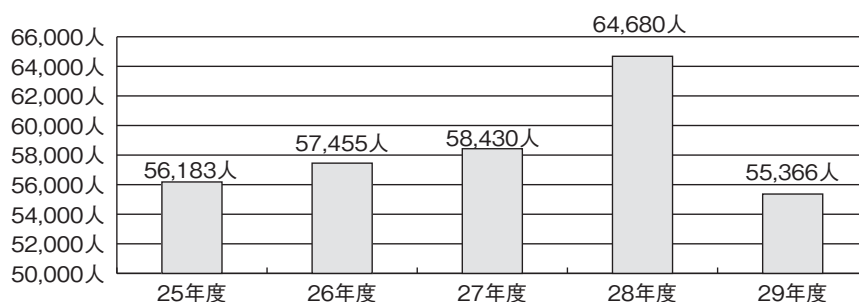
内 容	平成28年度	平成29年度
歩行者天国の実施	実施回数 10回 来場者数 延 292,000人	実施回数 9回 来場者数 延 271,000人

(5) コミュニティ活動等促進事業補助金 210,000円

補 助 金	平成28年度	平成29年度
	—	1件 210,000円

[指 標]

指 標 名：中心市街地の休日歩行者通行量
 指標説明：中心市街地内7地点の休日歩行者通行者数の合計



2 TMO支援事業費 16,718,000円（まちなか活性課）

[総 括]

中心市街地の商業・サービス業の振興を図るため、株式会社豊橋まちなか活性化センター（TMO）が実施する空き店舗活用事業や共通駐車券事業のほか、新規創業者の出店経費の負担軽減を図る、まちなかインキュベーション事業への支援を行った。今後もまちなかのにぎわいを創出し、魅力ある商業・サービス業を集積させるための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

- (1) 空き店舗活用事業補助金 4,378,000円

補 助 金	平成28年度		平成29年度	
	10件	7,759,000円	8件	4,378,000円

- (2) 共通駐車券事業補助金 1,013,000円

補 助 金	平成28年度		平成29年度	
	1件	998,000円	1件	1,013,000円

- (3) おかえり切符事業補助金 344,000円

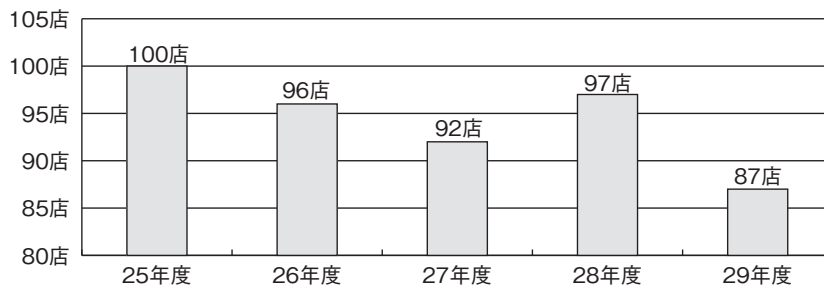
補 助 金	平成28年度		平成29年度	
	1件	357,000円	1件	344,000円

- (4) まちなかインキュベーション事業等補助金 10,983,000円

補 助 金	平成28年度		平成29年度	
	10件	5,628,000円	17件	10,983,000円

[指 標]

指 標 名：中心市街地内の空き店舗数
指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 観 光 費 <観光資源の魅力づくり>	88,983,416	0	0	0	88,983,416

1 まつり・イベント支援事業費 79,800,000円 (観光振興課)

[総括]

交流人口の拡大によって地域の活性化を図るため、ええじゃないか豊橋まつり、春まつり、花しょうぶまつりなどの各種まつり・イベントの開催を支援した。豊橋まつりでは総おどりの参加者が快適に踊れるようにコースの拡大を行ったほか、ええじゃないか150周年記念事業として「まちじゅうええじゃないか」「ええじゃないか!とよフェス」を行った。しかしながら、台風21号の影響により、2日目は中止となり、昨年と比べ人数は減少した。今後もイベント等の魅力向上に努めながら、地域の活性化につながるよう一層の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) まつり開催費補助金 10,800,000円

行 事 内 容			平成28年度	平成29年度
春まつり	さくらまつり	期 間	28.4.1~4.10 (18日間) 29.3.24~3.31	29.4.1~4.13 (17日間) 30.3.28~3.31
		場 所	向山緑地ほか	向山緑地ほか
		来場者数	約40,000人	約40,000人
	つつじまつり	期 間	28.4.22~5.6 (15日間)	29.4.21~5.7 (17日間)
		場 所	向山緑地内向山大池周辺	向山緑地内向山大池周辺
		来場者数	約2,500人	約2,500人
	うめまつり	期 間	29.1.28~3.12 (44日間)	30.1.27~3.11 (44日間)
		場 所	向山緑地内梅林園	向山緑地内梅林園
		来場者数	約42,000人	約42,000人
		補 助 金	6,489,000円	6,489,000円
花しょうぶまつり	期 間	28.5.21~6.12 (23日間)	29.5.20~6.11 (23日間)	
	場 所	賀茂しょうぶ園	賀茂しょうぶ園	
	来場者数	約200,000人	約200,000人	
	補 助 金	4,311,000円	4,311,000円	

(2) 豊橋まつり開催費補助金 55,000,000円

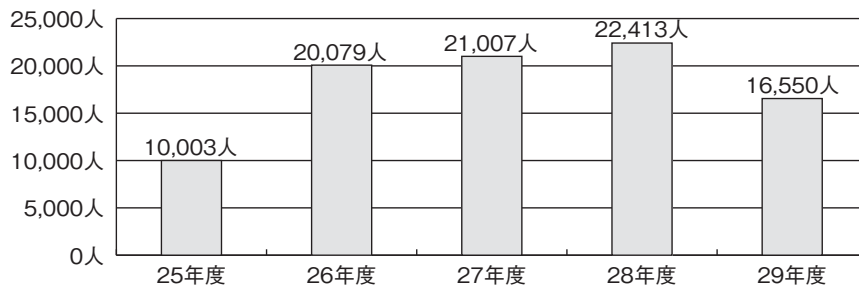
区 分	平成28年度	平成29年度
開 催 日	28.10.15~16	29.10.21
会 場 数	まちなかエリア・豊橋公園エリア 12会場	まちなかエリア・豊橋公園エリア 12会場
行 事 数	46行事	34行事
総 人 出 数	約650,000人	約162,000人
総 参 加 団 体 数	約881団体	約879団体
補 助 金	62,000,000円	55,000,000円

(3) 炎の祭典開催費補助金 14,000,000 円

区 分	平成28年度	平成29年度
開 催 日	28.9.10	29.9.9
場 所	豊橋球場及びその周辺	豊橋球場及びその周辺
来 場 者 数	約58,000人	約58,000人
補 助 金	14,000,000円	14,000,000円

[指 標]

指 標 名：ええじゃないか豊橋まつり総おどり参加者数
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 観光情報発信費 <インバウンドをはじめとした誘客・誘致の推進>	80,819,805	280,000	0	0	80,539,805

1 産業プロモーション推進事業費 35,206,391円 (産業政策課・観光振興課)

[総括]

首都圏でのプロモーションとして、浅草「まるごとにつぼん」での、特産品等の展示・販売のほか、横浜赤レンガ倉庫やららぼーと豊洲での手筒花火の放揚を行った。豊橋駅構内においては、東三河の産業をPRするため東西自由連絡通路に展示ブースを設置した。また、ふるさと寄附制度を活用し豊橋産品のPRをしたほか、台湾からの観光誘致につなげるため、訪日旅行を取り扱う現地旅行会社等を訪問し、本市の魅力ある観光資源をPRした。今後も効果を検証しながら本市の認知度向上や誘客につなげるプロモーションを展開する。

[実績及び成果]

(1) 産業プロモーション推進事業費 35,206,391円

(ア) 推進活動費 16,100,776円 (うち手筒花火放揚 8,340,000円)

産業プロモーション 実施回数 ※()は日数	平成28年度	平成29年度
	・物産展 浅草「まるごとにつぼん」 2回 (2日) 大山商店街 1 (2) 横浜赤レンガ倉庫 1 (4)	・物産展 浅草「まるごとにつぼん」 6回 (10日) 横浜赤レンガ倉庫 1 (3)
・手筒花火放揚 ららぼーと豊洲 1 (1) 横浜赤レンガ倉庫 1 (1)	・その他 12 (18)	
計	21 (36)	21 (33)

(イ) 豊橋駅東西自由連絡通路展示物設置事業費 2,854,011円

内 容	平成28年度	平成29年度
	メルセデス・ベンツ及びものづくり技術 {株}デンソー×トヨタネ{株}の紹介展示	フォルクスワーゲン及びものづくり技術 {豊橋技術科学大学}の紹介展示

(ウ) ご当地グルメ普及促進事業補助金 500,000円

内 容	平成28年度	平成29年度
	「豊橋カレーうどん」を普及啓発するPR活動の実施	「豊橋カレーうどん」を普及啓発するPR活動の実施

(エ) 訪日外国人観光客誘致 4,775,000円

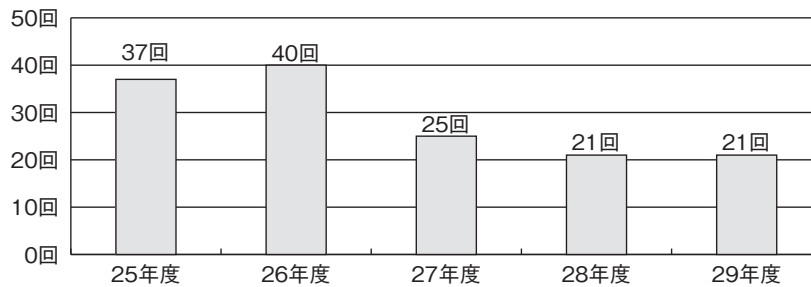
内 容	平成28年度	平成29年度
	・台湾現地プロモーション ・訪日旅行を取り扱う台湾の旅行会社等を本市へ招へいし観光資源をPR ・吉田城鉄櫓前広場での手筒花火放揚	・台湾現地プロモーション ・訪日旅行を取り扱う台湾の旅行会社等を本市へ招へいし観光資源をPR ・吉田城鉄櫓前広場での手筒花火放揚 ・インバウンド情報発信パンフレットの作成

(オ) ふるさと寄附制度を活用した豊橋産品PR事業費 10,976,604円

内 容	平成28年度	平成29年度
	ふるさと納税総合サイト「ふるさと チョイス」への掲載 返礼品件数：1,663件	

[指 標]

指 標 名：産業プロモーション実施回数
 指標説明：物産展、手筒花火放揚などのPR活動回数



2 観光宣伝事業費 15,513,414円（観光振興課）

[総 括]

本市の魅力ある観光施設等への集客を促すため、雑誌・新聞などによる情報発信や情報プラザを利用したPR活動を行った。今後も国内外の人々が豊橋に興味を持ち、訪れたいくなるような効果的な情報発信、PR活動に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 観光PR活動推進事業費 7,693,923円

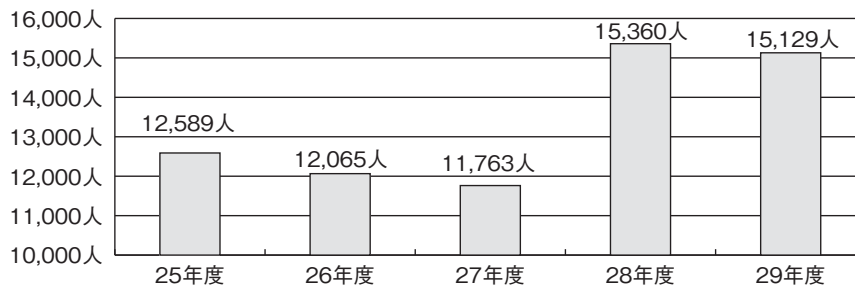
豊橋市への来訪者数	平成28年度	平成29年度	比 較
		延 2,885,311人	延 1,878,606人

(2) 情報プラザ運営事業費 7,819,491円

案 内 者 数	平成28年度	平成29年度	比 較
		延 15,360人	延 15,129人

[指 標]

指 標 名：情報プラザの案内者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8 款 土 木 費	14,295,952,286	1,817,640,778	2,444,500,000	913,685,614	9,120,125,894
1 項 道 路 橋 梁 費	3,770,462,045	431,968,144	886,300,000	346,756,188	2,105,437,713
2 目 広域幹線道路整備費 <広域幹線道路の整備促進>	213,022,503	46,750,000	52,000,000	59,774,760	54,497,743

1 幹線道路建設促進対策事業費 213,022,503 円 (道路建設課)

[総括]

広域幹線道路の整備を促進するため、東三河縦貫道路建設促進期成同盟会をはじめとする各種協議会を運営するとともに、本市が加盟する他の協議会においても、国・県に対する要望活動等を積極的に行った。今後も関係自治体や経済界との連携をより一層強化して、地域と一体となって事業の円滑な推進を図る。

名豊道路道の駅整備事業では、地域振興施設の基本設計を行うとともに、土木工事に着手した。

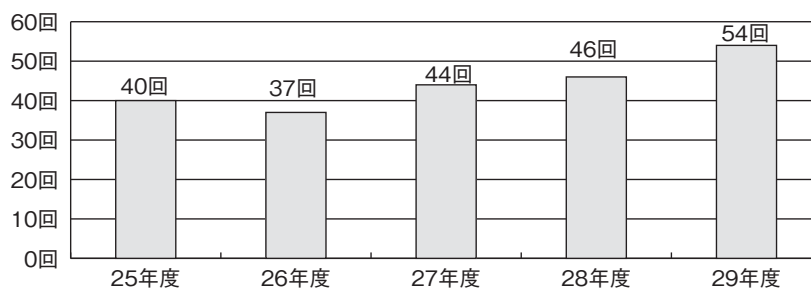
[実績及び成果]

(1) 幹線道路建設促進対策事務費 1,430,858 円

内 容	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
東三河縦貫道路建設促進期成同盟会	総会・要望活動・研修会の実施	総会・要望活動・研修会の実施
名豊道路建設推進協議会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
その他本市が加盟する協議会	総会・意見交換会・要望活動等への参加	総会・意見交換会・要望活動等への参加

[指標]

指標名：各種協議会としての活動回数
指標説明：〃



(2) 名豊道路道の駅整備事業費 211,591,645 円
(国庫補助事業 85,000,000 円 市単独事業 126,591,645 円)

内 容	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
		地質調査

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 幹線道路整備費 < 幹線市道の整備 >	347,556,835	159,599,000	119,300,000	1,640,174	67,017,661

1 幹線市道整備事業費 229,552,740 円 (道路建設課)

[総括]

大岩町・小松原町55号線については第3工区の用地取得を完了し、道路改良工事に着手した。一色町・王ヶ崎町1号線については用地取得に着手した。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、道路交通の円滑化や交通安全確保のため、幹線道路の整備を図る。

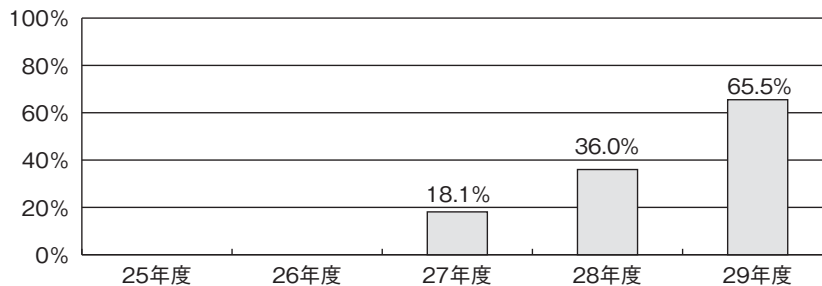
[実績及び成果]

- (1) 大岩町・小松原町55号線整備事業費 117,121,386 円
(国庫補助事業 110,480,000 円 市単独事業 6,641,386 円)

道 路 改 良 (第 3 工 区)	平成28年度	平成29年度
	用 地 補 償 建物等	1,343.32㎡

[指 標]

指 標 名：大岩町・小松原町55号線整備事業進捗率(第3工区)
指 標 説 明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成27年度～31年度)

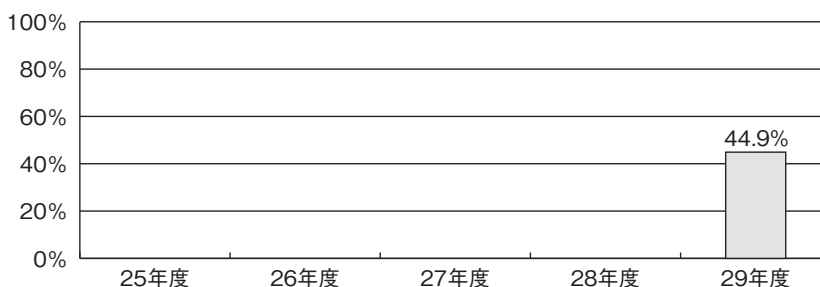


- (2) 一色町・王ヶ崎町1号線整備事業費 71,689,434 円
(国庫補助事業 65,694,546 円 市単独事業 5,994,888 円)

道 路 改 良	平成28年度	平成29年度
	—	用 地 2,567.34㎡ 補 償 工作物等

[指 標]

指 標 名：一色町・王ヶ崎町1号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成29年度～33年度）



2 都市計画道路整備事業費 118,004,095 円（道路建設課）

[総 括]

都市における交通環境の改善と景観形成や防災効果向上のため、都市計画道路網の整備を推進しており、平成29年度は弥生町線の用地取得に着手した。今後も国庫補助金等の財源を確保しつつ、用地の取得に努め、事業を推進していく。

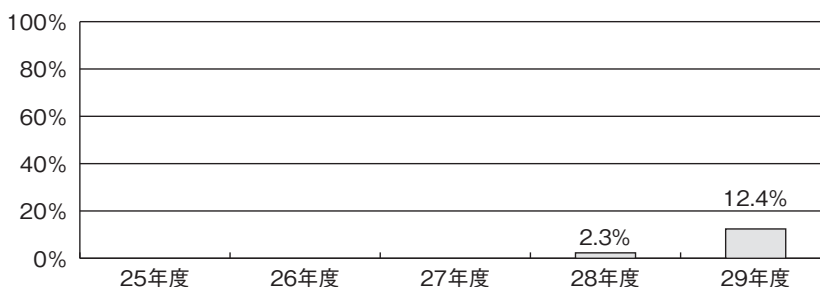
[実績及び成果]

- (1) 弥生町線整備事業費 118,004,095 円
 (国庫補助事業 114,005,455 円 市単独事業 3,998,640 円)

道 路 改 良	平成28年度	平成29年度
	詳細設計	用地 214.69㎡ 補償 建物等

[指 標]

指 標 名：弥生町線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成28年度～33年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 交通環境保全費 <快適な交通環境の保全>	1,870,622,658	160,062,864	671,700,000	128,074,679	910,785,115

1 自由連絡通路等管理事業費 195,531,376円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅、二川駅及び駅周辺施設の利用者が快適に利用できるよう自由連絡通路等を維持管理した。また、安全・安心な公共施設の提供及び将来の財政負担軽減を図ることを目的に豊橋駅前施設（ペDESTリアンデッキ・駅前地下道）等の長寿命化計画を策定した。今後も、施設の修繕等適正な維持管理を行い、快適な環境づくりに努める。

[実績及び成果]

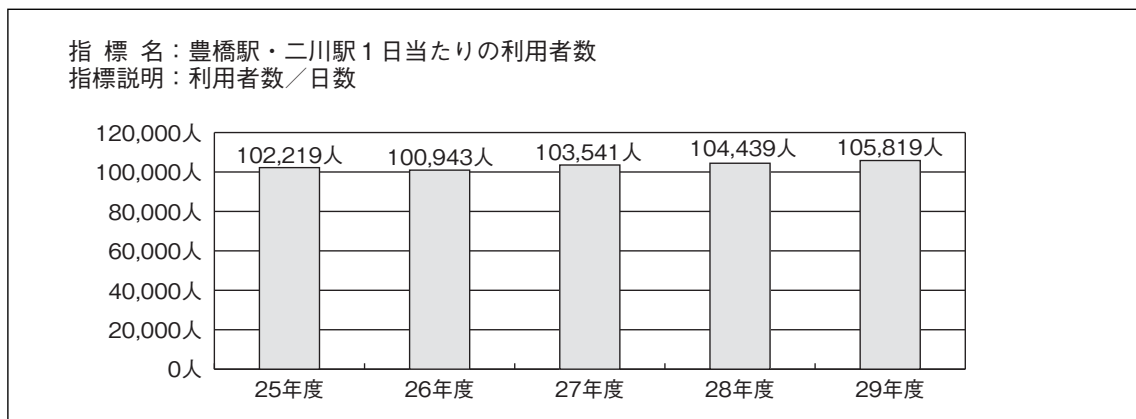
(1) 豊橋駅東西自由連絡通路等管理事業費 179,092,126円

1日当たりの利用者数	平成28年度	平成29年度	比 較
		98,921人	100,186人

(2) 二川駅南北自由連絡通路等管理事業費 16,439,250円

1日当たりの利用者数	平成28年度	平成29年度	比 較
		5,518人	5,633人

[指標]



2 自転車等駐車場管理運営事業費 82,453,956円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅及び二川駅周辺において、安心して自転車等を預けられる施設として指定管理者制度を活用し、運営及び維持管理を行った。二川駅南口自転車等駐車場西エリアでは、定期利用者が増加したものの、今後も高校生などに対して、定期利用登録の呼び掛けを行っていく。また、更なる利便性向上策として、利用時間の見直しのほか、電動アシスト自転車や小径車など多様化する自転車への対応などに努めていく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費 50,926,093 円

(ア) 自転車・ミニバイク (駅前地下エリア) 収容台数 4,200 台

区 分		平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		2,752台	2,695台	△ 2.1%
自 転 車	定 期	2,192	2,160	△ 1.5
	一 時	329	317	△ 3.6
ミ ニ バ イ ク	定 期	188	176	△ 6.4
	一 時	43	42	△ 2.3

(イ) 自動二輪車 (城海津エリア) 収容台数 14 台

区 分		平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		9台	11台	22.2%
自 動 二 輪 車	定 期	1	1	0.0
	一 時	8	10	25.0

(2) 豊橋駅西口自転車等駐車場管理運営事業費 収容台数 1,300 台 17,156,381 円

区 分		平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		995台	979台	△ 1.6%
自 転 車	定 期	795	788	△ 0.9
	一 時	122	120	△ 1.6
ミ ニ バ イ ク	定 期	68	62	△ 8.8
	一 時	10	9	△10.0

(3) 二川駅南口自転車等駐車場管理運営事業費 14,371,482 円

(ア) 自転車・ミニバイク (西エリア) 収容台数 370 台

区 分		平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		427台	423台	△ 0.9%
自 転 車	定 期	320	325	1.6
	一 時	52	48	△ 7.7
ミ ニ バ イ ク	定 期	45	40	△11.1
	一 時	10	10	0.0

(イ) 自転車 (東エリア) 収容台数 45 台

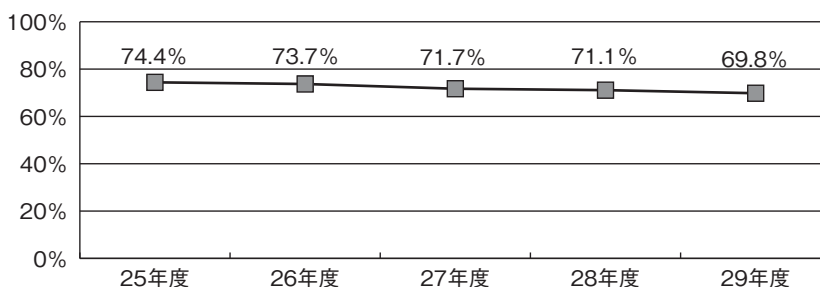
1 日 平 均 利 用 台 数		平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	比 較
		37台	37台	0.0%

(ウ) 自 動 車 収容台数 10 台

1 日 平 均 利 用 台 数		平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	比 較
		12台	12台	0.0%

[指 標]

指 標 名：自転車等駐車場稼働率
 指標説明：豊橋駅東口、西口及び二川駅南口の1日平均利用台数／収容台数



3 道路施設等維持管理事業費 379,313,560 円（道路維持課）

[総 括]

生活道路として通行に支障のないように、道路及び道路付属物の修繕・清掃・舗装等の維持管理を行うとともに、老朽化が進む道路ストックについて、第三者被害を防止する観点から、昨年度に続き点検調査を実施した。今後も修繕等の迅速な対応に努め、道路の適正な維持管理を行う。

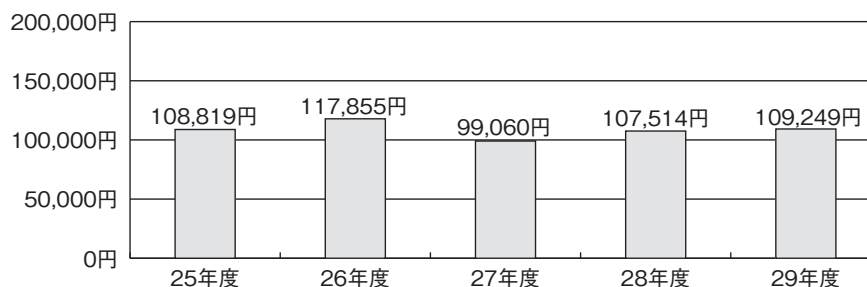
[実績及び成果]

(1) 道路施設等維持管理事業費 379,313,560 円

区 分	平成28年度	平成29年度
道 路 清 掃	138路線 延長 491.7km	138路線 延長 476.0km
道 路 側 溝 清 掃	67か所 〃 5,345m	48か所 〃 5,653m
舗 装 道 路 補 修	くぼみ補修工・舗装復旧工等	くぼみ補修工・舗装復旧工等
道 路 修 繕	市内一円、側溝修繕等	市内一円、側溝修繕等
道路ストック点検調査	路面下点検調査 延長 80km	路面下点検調査 延長 102km

[指 標]

指 標 名：市道1km当たりの維持管理費
 指標説明：直接事業費／市道延長



4 道路等維持改良事業費 326,482,920 円（道路維持課）

[総括]

道路側溝を計画的に整備することにより排水不良の軽減を図り、また、道路改良を実施して安全で快適な通行環境を確保した。今後も地域住民の要望を把握し必要性等を考慮しながら、事業効果を高めていく。

[実績及び成果]

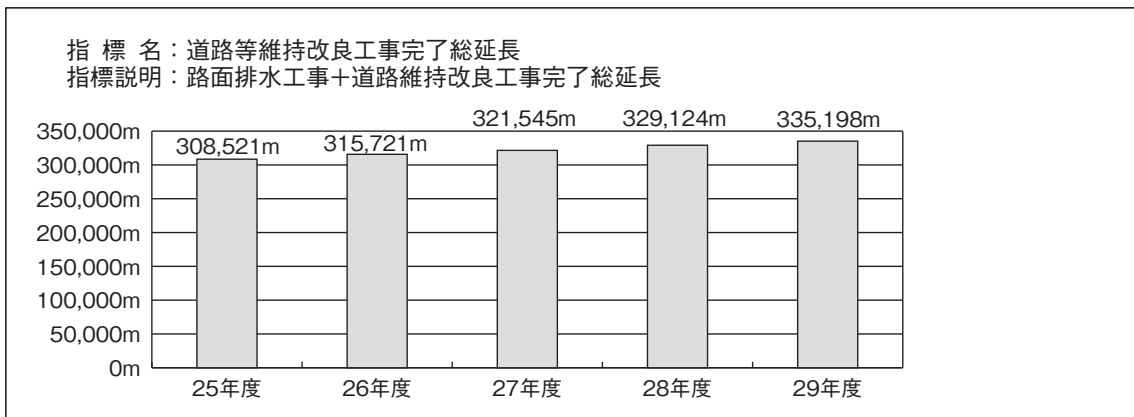
(1) 路面排水整備工事費 296,582,040 円

路面排水	平成28年度		平成29年度	
	市内一円	延長 6,782m	市内一円	延長 5,028m
	市街地	〃 324 雨水浸透型側溝等設置	市街地	〃 727 雨水浸透型側溝等設置

(2) 道路維持改良工事費 29,900,880 円

道路維持改良	平成28年度		平成29年度	
	2件	延長 473m	2件	延長 319m

[指標]



5 道路舗装事業費 436,868,640 円（道路維持課）

[総括]

未舗装区間の解消を図るとともに、既設の舗装道路についても、老朽化の程度、交通安全対策上の観点などから現場調査を実施し、順次改良・修繕を行った。今後も安全性や緊急性などを精査し、安全で快適な生活道路を整備していく。

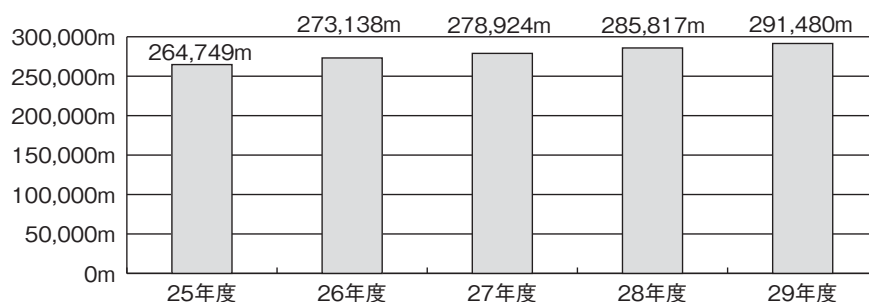
[実績及び成果]

(1) 道路舗装事業費 436,868,640 円

内 容	平成28年度		平成29年度	
	舗装新設	延長 861m	面積 2,443㎡	延長 718m
舗装改良	〃 6,893	〃 40,653	〃 5,663	〃 34,120
舗装修繕		〃 18,615		〃 14,693

[指 標]

指 標 名：舗装改良工事総延長(平成13年度以降)
 指標説明：
 //



6 橋梁整備事業費 326,744,919 円 (道路建設課)

[総 括]

道路法で定められた定期点検を行うとともに、橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕を行った。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

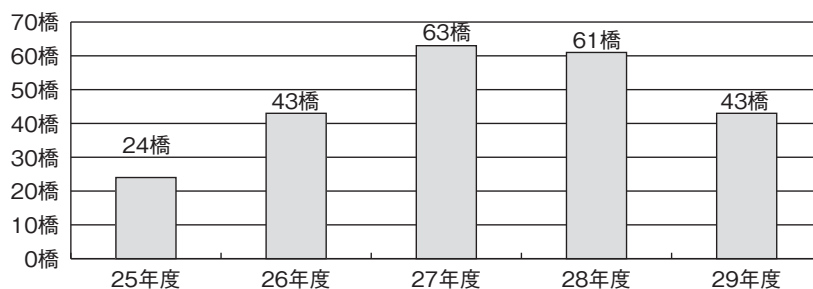
[実績及び成果]

- (1) 橋梁長寿命化事業費 326,744,919 円
 (国庫補助事業 272,763,637 円 市単独事業 53,981,282 円)

内 容	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
計 画	橋梁長寿命化修繕計画改定	—
定 期 点 検	照山橋始め200橋	太陽寺橋始め303橋
補 修 (国 庫 補 助)	浜田橋始め61橋	下安川橋始め43橋
補 修 (市 単 独)	平成橋始め18橋	大脇 6 号橋始め21橋

[指 標]

指 標 名：構造物(橋梁)保全数
 指標説明：
 //



7 道路環境整備事業費

6,549,120 円（道路維持課）

[総括]

歩道修繕を行い、街路樹の根上がりによる段差の解消を図った。今後も歩きにくい歩道の改善に努める。

[実績及び成果]

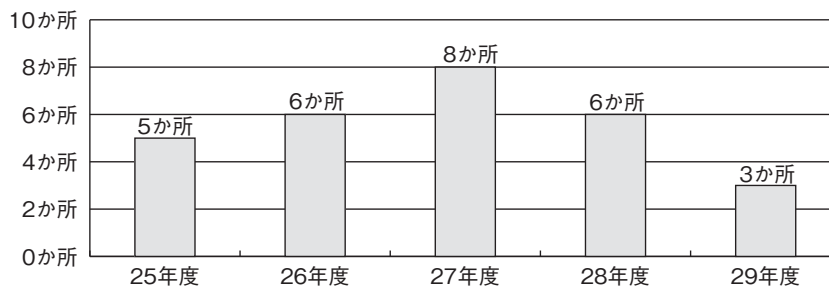
(1) 人にやさしい道づくり事業費 6,549,120 円

歩道修繕	平成28年度	平成29年度
	6か所	3か所

[指標]

指標名：人にやさしい道づくり工事(歩道修繕)か所数

指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 交通安全施設等整備費 <交通安全施設などの整備>	607,009,969	65,556,280	43,300,000	1,209,960	496,943,729

1 交通安全施設整備事業費 151,322,259円 (道路建設課)

[総括]

高塚町・西七根町1号線はじめ5路線において、歩道等の整備を進め道路の安全確保に努めた。また、自転車通行空間整備事業では、豊橋市自転車活用推進計画に定められた優先整備路線において自転車通行空間の整備を行った。今後も道路状況や通学路などの利用状況を考慮し、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

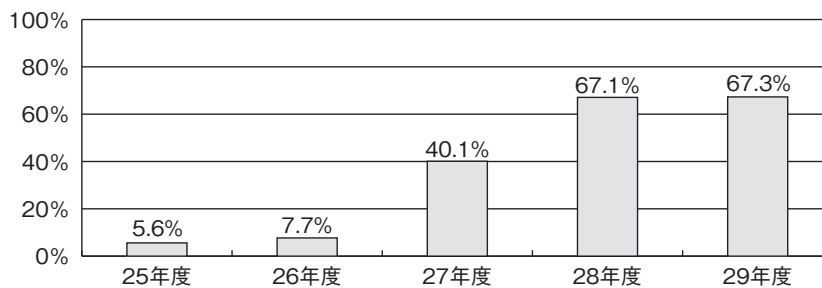
(1) 飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業費 936,875円

(市単独事業 936,875円)

自転車道等設置	平成28年度	平成29年度
	延長 20m 用地 1,111.53㎡ 補償 建物等	物件調査

[指標]

指標名：飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成25年度～32年度)



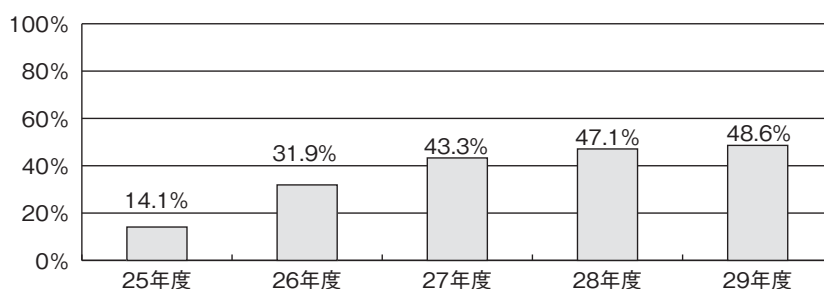
(2) 植田町・大清水町103号線歩道設置事業費 2,804,000円

(国庫補助事業 2,800,000円 市単独事業 4,000円)

歩道設置	平成28年度	平成29年度
	用地 57.11㎡ 補償 —	用地 24.47㎡ 補償 工作物等

[指 標]

指 標 名：植田町・大清水町103号線歩道設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成25年度～31年度）

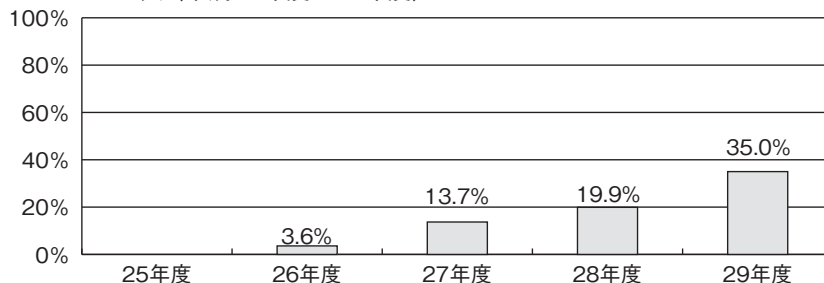


- (3) 自転車通行空間整備事業費 97,896,600 円
 (国庫補助事業 79,035,055 円 市単独事業 18,861,545 円)

内 容	平成28年度	平成29年度
路面標示等 計 画	延 長 850m —	延 長 2,100m 自転車ネットワーク整備計画改定

[指 標]

指 標 名：自転車通行空間整備進捗率
 指標説明：整備済路線延長／平成32年度までに整備する自転車ネットワーク優先整備路線
 延長（平成26年度～32年度）



※社会実験による施工分は指標から除く

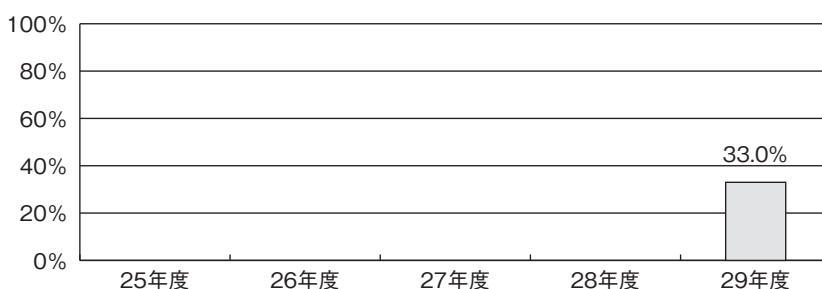
※自転車活用推進計画の中間見直しにより、指標を再計算

- (4) 飯村町・飯村北85号線歩道設置事業費 16,164,183 円
 (国庫補助事業 14,680,000 円 市単独事業 1,484,183 円)

内 容	平成28年度	平成29年度
歩 道 設 置	—	用 地 108.44㎡ 補 償 工作物等

[指 標]

指 標 名：飯村町・飯村北85号線歩道設置進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成29年度～30年度)



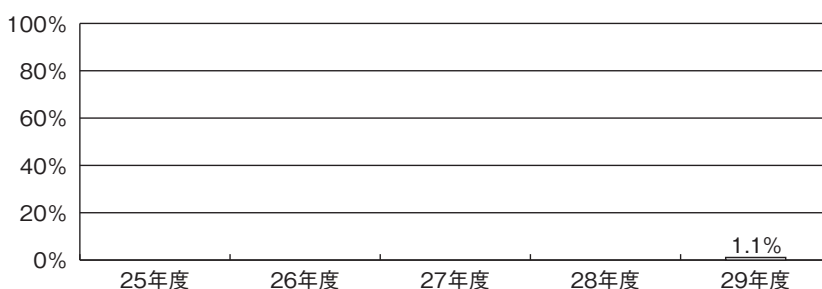
(5) 東七根町 200 号線ほか地下横断通路等整備事業費 6,759,121 円

(国庫補助事業 6,580,000 円 市単独事業 179,121 円)

内 容	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
地下横断通路等整備	—	補 償 工作物等

[指 標]

指 標 名：東七根町200号線ほか地下横断通路等整備進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成29年度～30年度)



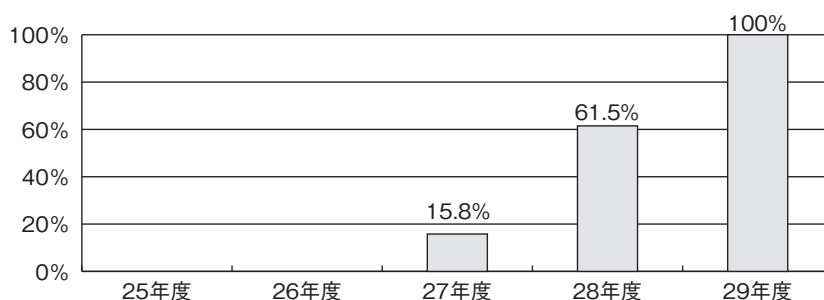
(6) 高塚町・西七根町 1 号線歩道設置事業費 23,815,240 円

(県費補助事業 17,708,000 円 市単独事業 6,107,240 円)

	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
歩 道 設 置	延 長 230m	延 長 210m
	用 地 420.94㎡	用 地 —
	補 償 工作物	補 償 工作物

[指 標]

指 標 名：高塚町・西七根町1号線歩道設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成27年度～29年度）



2 交通安全施設維持改修事業費 455,687,710 円（道路維持課）

[総 括]

道路状況や地元要望等を検討し、道路照明灯、防護柵、道路反射鏡の設置など安全で快適な交通環境の確保に努めた。今後も交通安全施設が適正に機能するよう維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 交通安全施設改修事業費 265,417,180 円

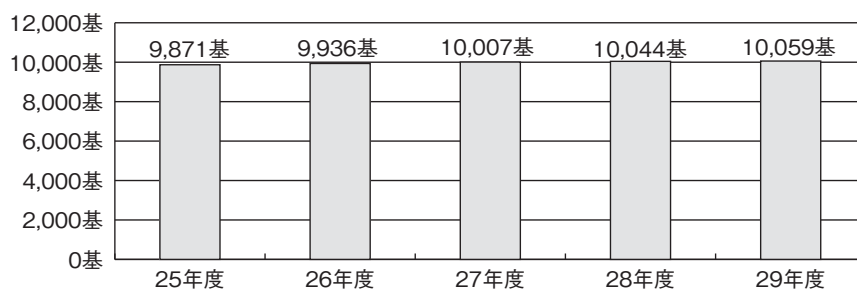
内 容	平成28年度	平成29年度
道路照明灯設置	16～180W 253基	16～180W 269基
交差点等安全カラー標示	17か所	10か所
防護柵設置	延長 1,489m	延長 1,230m
道路反射鏡設置	160基	115基
交通安全施設改修修繕	歩車道境界ブロック等	歩車道境界ブロック等
区画線設置	延長 78,230m	延長 68,717m
横断歩道橋修繕	塗裝修繕等	塗裝修繕等

(2) 交通安全施設維持事業費 190,270,530 円

道路照明灯塗裝修繕	平成28年度	平成29年度
	34基	31基

[指 標]

指 標 名：交通安全施設(道路反射鏡)の総設置基数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 河 川 費	930,814,218	59,189,547	216,300,000	30,099,318	625,225,353
2目 水辺環境保全費 <親しまれる水辺環境の保全>	290,454,907	0	0	0	290,454,907

1 河川水路等維持管理事業費 290,454,907円 (河川課)

[総括]

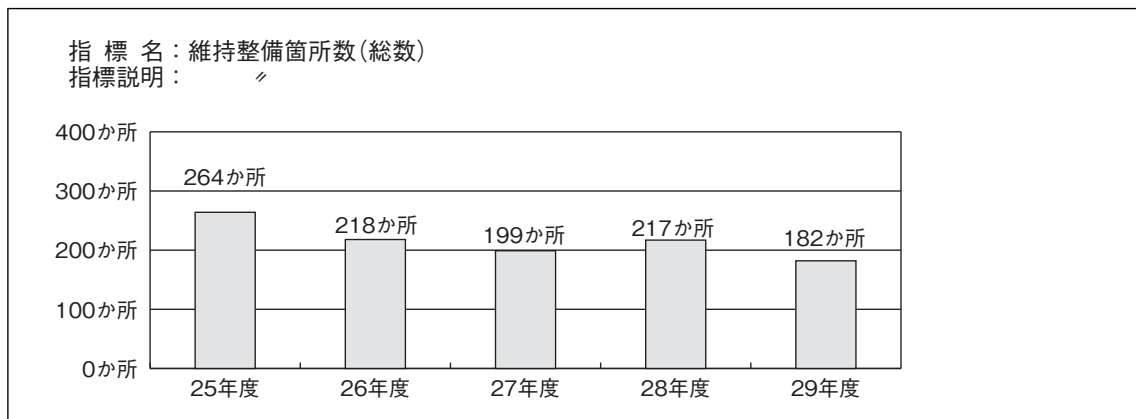
河川を市民の憩う場とし、河川環境を保全するための維持管理を行った。今後も市民や団体による河川愛護活動など、地域住民との協働により親しまれる水辺環境の保全に努めるとともに、河川水路の適切な維持管理に努める。

[実績及び成果]

(1) 維持整備事業費 290,454,907円

内 容	平成28年度		平成29年度	
補 修	91か所		61か所	
除 草	68	52,360㎡	55	47,650㎡
浚 渫	58	4,284㎡	66	2,190㎡

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 浸水対策費 < 浸水対策の推進 >	483,837,126	59,189,547	216,300,000	22,627,688	185,719,891

1 河川施設等維持管理事業費 277,612,194 円 (河川課)

[総括]

浸水被害の防止や軽減、正常な流水機能の維持のため、排水機場、樋門・樋管、除塵機等の河川付属施設の維持管理を行った。今後も施設が正常に機能するように維持管理に努める。

[実績及び成果]

- (1) 排水機場維持管理適正化事業費 37,223,880 円
- (2) 排水機場維持管理事業費 103,742,494 円
- (3) 樋門等操作委託事業費 2,345,547 円
- (4) 河川付属施設維持管理事業費 134,300,273 円

2 河川水路等改良事業費 112,284,372 円 (河川課)

[総括]

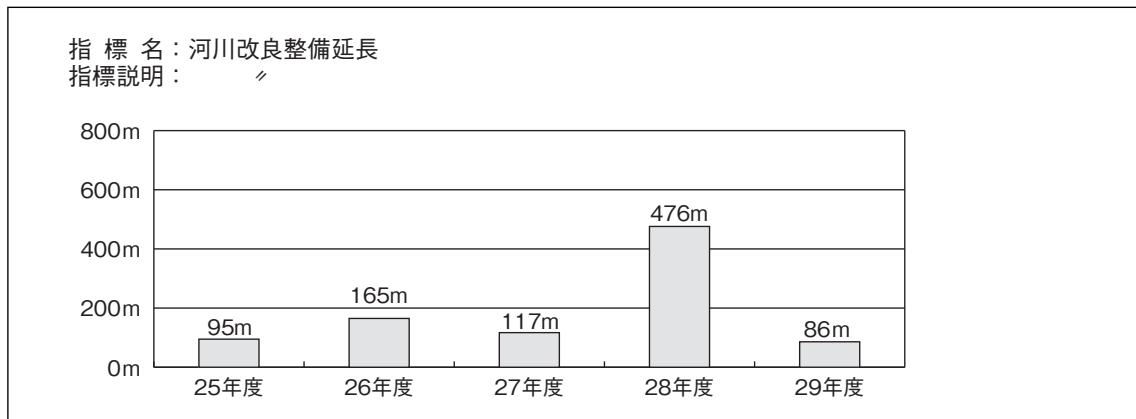
河川・水路等の氾濫による被害から市民の生命・財産を保全するため、流下能力を高める改良工事を行った。今後も氾濫による被害の防止や軽減を図っていく。

[実績及び成果]

- (1) 河川改良事業費 59,115,799 円

河 川 改 良	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度	
		工 事 延 長	476m	工 事 延 長

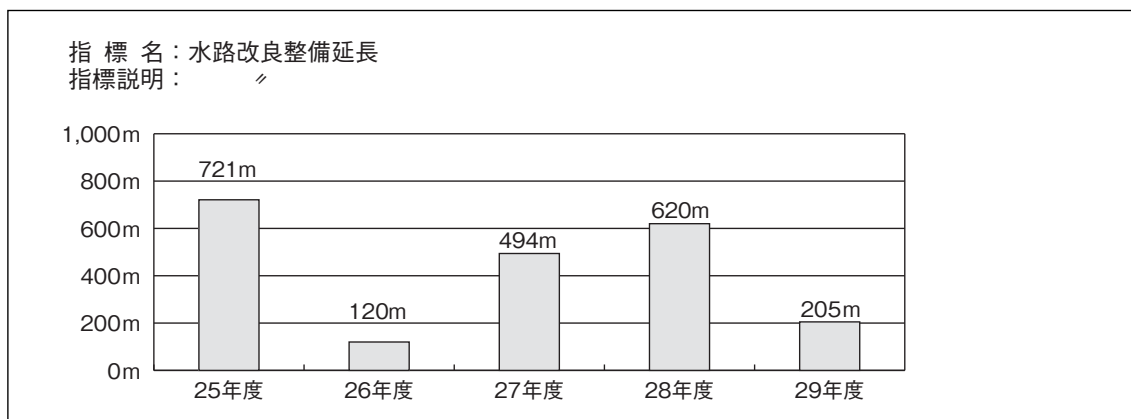
[指 標]



- (2) 水路改良事業費 53,168,573 円

内 容	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度	
	水 路 改 良	工 事 延 長	620m	工 事 延 長

[指 標]



3 大雨浸水対策事業費 93,940,560 円 (河川課)

[総 括]

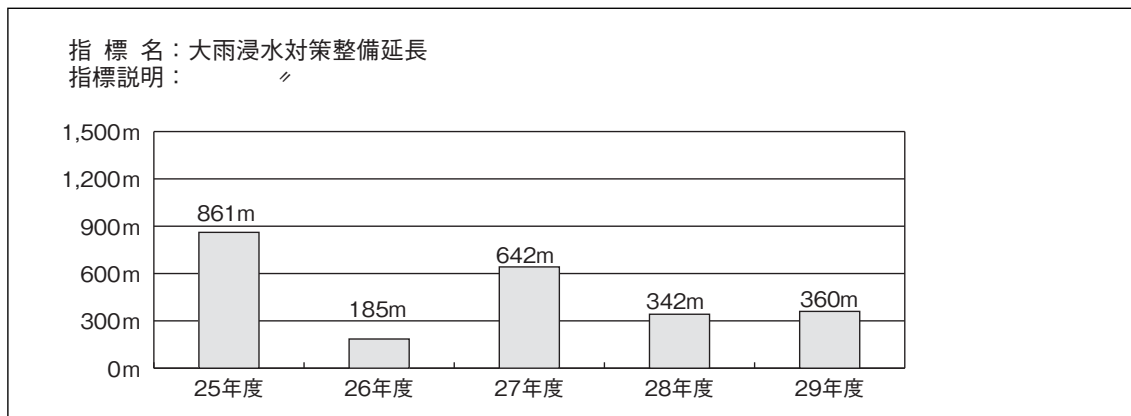
都市化の進展に伴う流域環境の変化による浸水被害に対処するため、水路改良を行った。今後も関連部局との連携により浸水被害の解消を図る。

[実績及び成果]

(1) 大雨浸水対策事業費 93,940,560 円

水 路 改 良	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
	工 事 延 長 342m	工 事 延 長 360m

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 土砂災害対策費 <土砂災害対策の推進>	2,054,400	0	0	0	2,054,400

1 土砂災害対策事業費 2,054,400円 (河川課)

[総括]

土砂災害防止法に基づく土砂災害(特別)警戒区域においてハザードマップを作成し、周辺住民等に配布した。今後も地元住民の要望に基づき、工事の進捗を県に働きかけるとともに、土砂災害に関する情報提供に努める。

[実績及び成果]

(1) 急傾斜地崩壊対策事業負担金 0円

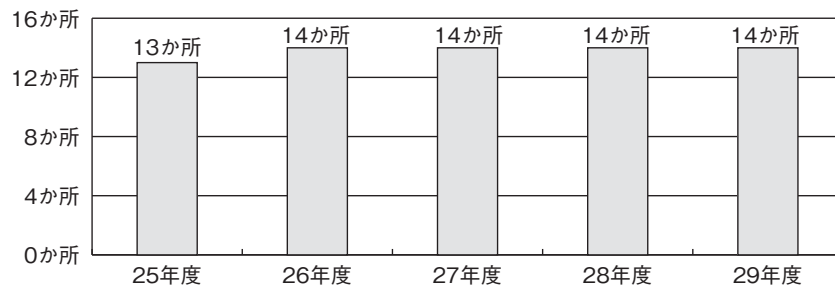
事業主体	区分 地区名	平成28年度		平成29年度	
		事業費	市負担金	事業費	市負担金
愛知県	王ヶ崎町北欠	7,506,000円	750,600円	—	—

(2) 土砂災害ハザードマップ作成事業費 2,054,400円

土 砂 災 害 ハ ザ ー ド マ ッ プ 作 成 箇 所 数	平成28年度	平成29年度
		31か所

[指標]

指標名：急傾斜地崩壊防止施工箇所数(累積)
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 建 築 費	1,785,125,165	523,045,864	472,500,000	430,966,126	358,613,175
2目 人にやさしいまちづくり費 <人にやさしいまちづくりの推進>	951,857	0	0	0	951,857

1 人にやさしいまちづくり推進事業費 931,857円 (建築指導課)

[総括]

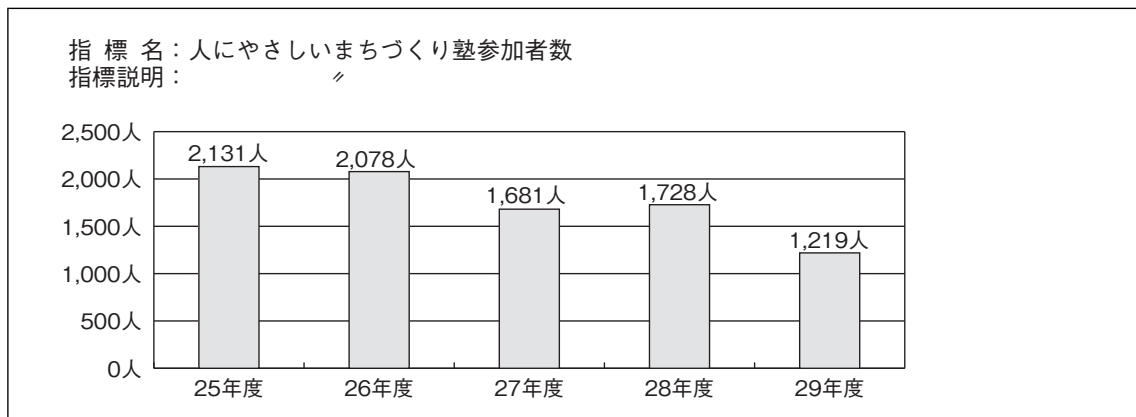
人にやさしいまちづくりを推進するため、ボランティアの協力を得て「人にやさしいまちづくり塾」を市内の小学校、高等学校、企業で開催した。また、より多くの学校等で「人にやさしいまちづくり塾」を開催するために、講師として活躍するボランティアを養成する「人にやさしいまちづくりサポーター養成講座」(全4回)を前年度に引き続き開講した。今後も誰もが暮らしやすいまちをめざし、人にやさしいまちづくりの担い手育成やバリアフリーの必要性等の普及啓発を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 人にやさしいまちづくり推進事業費 931,857円

啓発事業開催回数	平成28年度	平成29年度	比較
		33回	23回

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 居住確保費 <住まいの安定確保>	16,277,330	6,856,000	0	0	9,421,330

1 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 16,112,000円 (住宅課)

[総括]

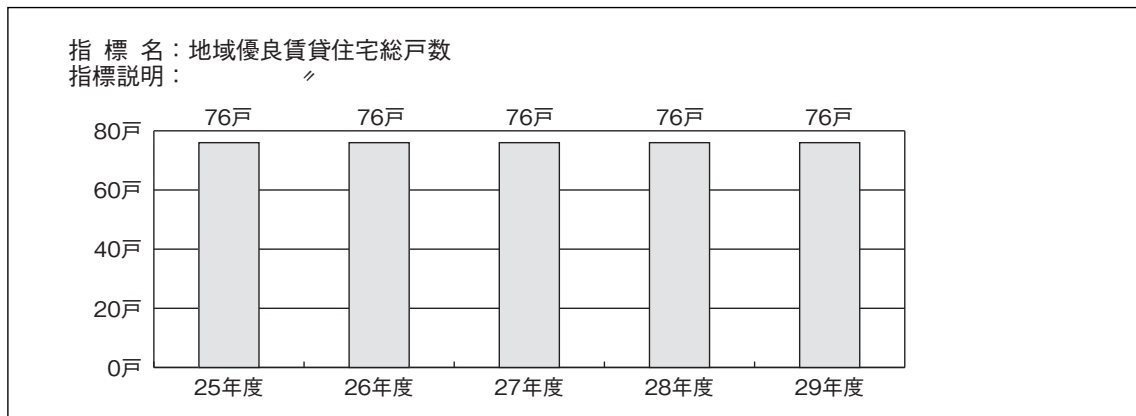
高齢者の住まいの安定確保を図るため、地域優良賃貸住宅（高齢者型）を運営する事業者に対して、家賃補助を実施した。今後も高齢者の住まいの安定確保に努める。

[実績及び成果]

(1) 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 16,112,000円

家賃対策補助金	平成28年度	平成29年度
		16,002,000円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公 営 住 宅 費 <住まいの安定確保>	1,364,165,742	512,799,000	472,500,000	323,677,551	55,189,191

1 住宅維持管理事業費 572,664,391 円 (住宅課)

[総括]

市営住宅を効率的かつ効果的に維持管理するため、計画的な工事、修繕を行った。また、3人以上の子を扶養している世帯を対象に、所得に応じて市営住宅の家賃を10%減免し、子育て世帯の負担軽減を平成28年度に引き続き行った。今後も、入居者へのサービス向上に努める。

[実績及び成果]

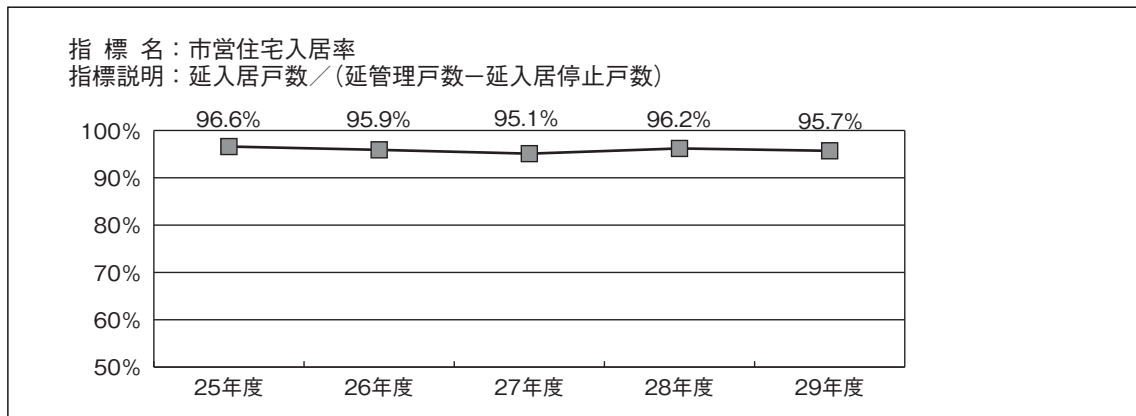
(1) 住宅管理事業費 310,644,511 円

住宅管理戸数 (年度末)	平成28年度	平成29年度
		4,037戸

(2) 住宅維持補修事業費 262,019,880 円

工 事 内 容	平成28年度	平成29年度
屋 上 防 水	西部	栄生、西部
受 水 槽 改 修	栄生	空池、中野、向山
外 壁 改 修	空池	空池、中野
駐 車 場 整 備	西部始め5住宅	—
取 り 壊 し	城山	城山

[指 標]



2 公営住宅建設事業費 785,572,200 円 (住宅課)

[総括]

新植田住宅の住環境向上を目的として、周辺道路整備工事を行った。また、西口住宅建設工事(第1期)に着手した。今後も建替事業の円滑な実施をめざす。

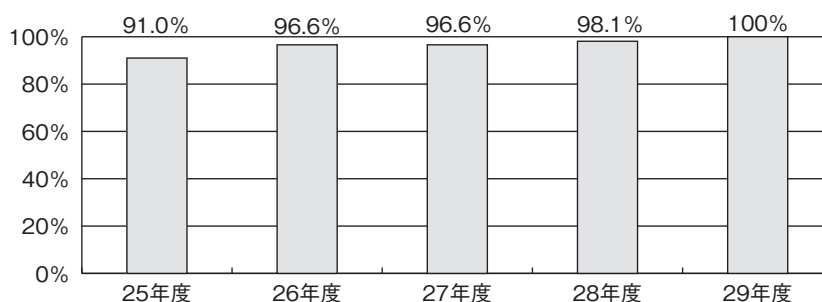
[実績及び成果]

(1) 新植田住宅建替事業費 25,646,400 円

内 容	平成28年度	平成29年度
		路線測量設計ほか

[指 標]

指 標 名：新植田住宅建替事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成19年度～30年度)

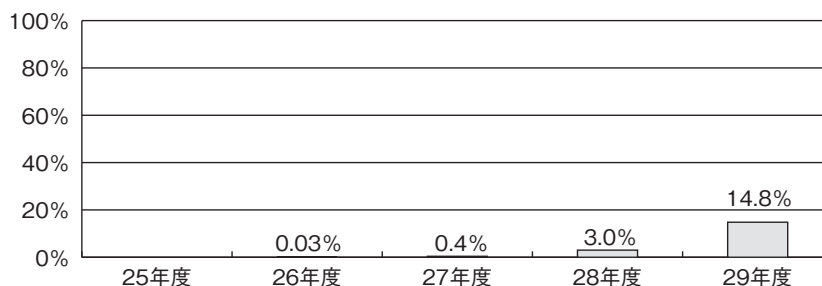


(2) 西口住宅建替事業費 759,925,800 円

内 容	平成28年度	平成29年度
	解体工事(第1期) 実施設計(第1期、第2期) 地質調査 電波障害調査	建設工事(第1期)着工 高層耐火構造 9階建 延床面積 6,714㎡ 建設年度 平成29～30年度 建設戸数 121戸 電波障害対策ほか

[指 標]

指 標 名：西口住宅建替事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成26年度～37年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 空家対策推進費 ＜空家対策の推進＞	5,629,654	3,324,000	0	0	2,305,654

1 空家対策推進事業費 5,629,654 円 (建築物安全推進室・住宅課)

[総括]

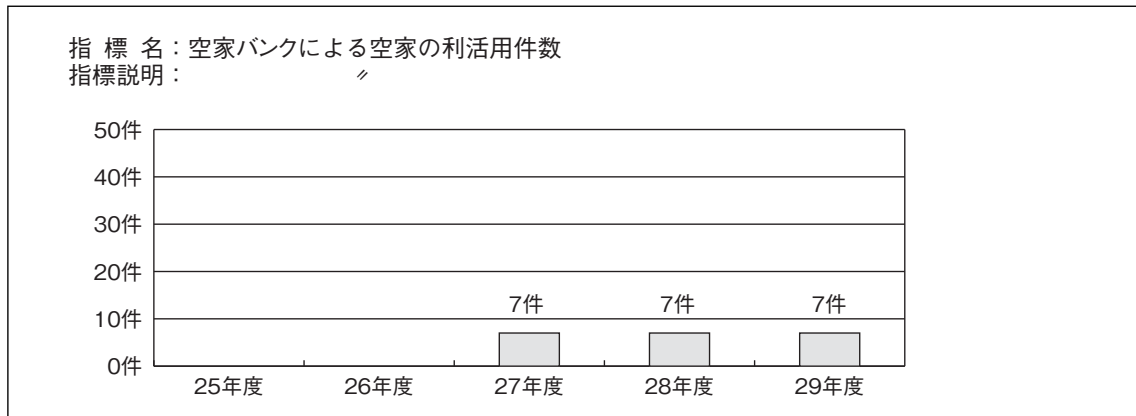
「豊橋市空家等対策計画」に基づき、管理が不適切な空家の所有者に対する助言を行うとともに空家バンクによる空家の利活用を進めるなど、増加する空家への対策に取り組んだ。また、愛知県弁護士会と協定を締結し空家対策の体制強化を行うとともに、新たに出前講座を開始し空家等の発生予防・抑制にも努めた。今後も財産管理人制度の利用等の様々な手段を用い、市民の生活環境の保全及び地域活力の維持・向上を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 空家対策推進事業費 5,629,654 円

区 分	平成28年度	平成29年度	累 計
空家バンクによる空家の利活用件数	7件	7件	21件
空家利活用改修費補助金補助件数	1件	2件	3件
空家解体促進費補助金補助件数	20件	20件	40件

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 建築指導費	8,437,311	0	0	0	8,437,311

1 建築指導事務費 8,437,311円 (建築指導課)

[総括]

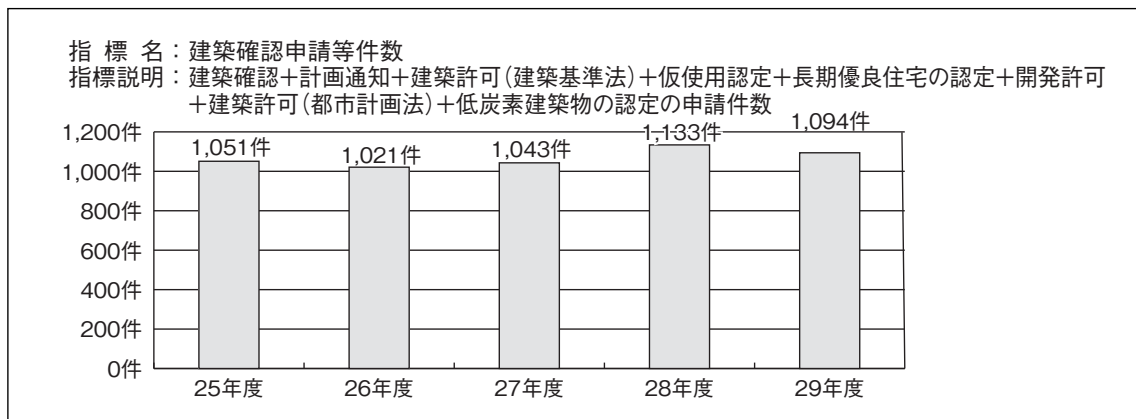
建築基準法による「確認申請」は、民間確認検査機関への申請が定着している中、市内小学校の仮設校舎に係る申請の増加等により件数が増加した。同様の理由により建築基準法による「建築許可申請」も増加した。今後も各申請に対し適切な処理をすることにより、住環境の整備並びに都市の健全な発展と秩序ある市街地の形成に努める。

[実績及び成果]

(1) 建築指導事務費 8,437,311円

種 別	区 分	件 数		比 較
		平成28年度	平成29年度	
建築確認申請等	確認申請	12件	26件	2.2倍
	計画通知	25	24	△ 4.0%
建築基準法による許可申請等	建築許可申請	13	26	2.0倍
	仮使用認定申請	3	8	2.7
長期優良住宅の普及の促進に関する法律	認定申請	789	739	△ 6.3%
都市計画法による許可申請等	開発許可申請	16	18	1.25
	建築許可申請	254	231	△ 9.1
都市の低炭素化の促進に関する法律	認定申請	21	22	4.8

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 都市開発費	103,353,976	140,000	0	840,628	102,373,348
2目 総合物流費 <総合物流機能の強化>	27,957,742	140,000	0	0	27,817,742

1 港湾関連対策事業費 27,957,742円 (みなと振興課)

[総括]

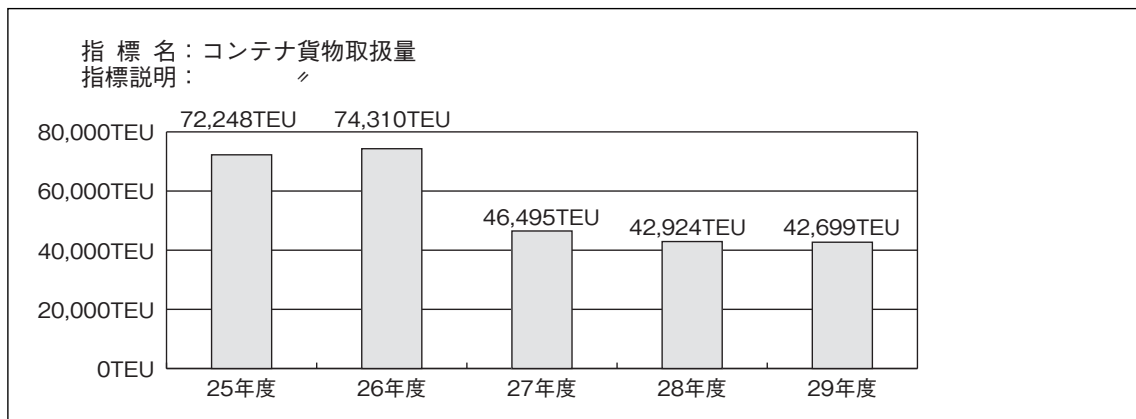
三河港振興会が主体となり、インフラ整備やコンテナターミナルの利用促進活動を行うとともに、国内外のポートセールスなどにより三河港の情報を全国に向け発信した。加えて、三河港を利用する企業に対し助成金制度を実施し、コンテナ及び完成自動車取扱量の維持・増加を図った。その結果、完成輸入自動車の取扱量は平成5年以来25年連続で日本一を記録した。一方、コンテナ貨物の取扱量については、中国航路が廃止となり、前年度を若干下回った。今後は、コンテナ貨物取扱量の増加に向け、助成金制度の拡充やポートセールス活動を強化するとともに、コンテナ貨物から完成自動車までを扱う総合的な物流機能を強化するため、国や県に対して積極的な要望活動を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 港湾関連調整事務費 5,357,742円
- (2) 三河港振興会負担金 22,600,000円

内 容	平成28年度	平成29年度
運 営 費 負 担 金	100,000円	100,000円
コンテナ委員会負担金	7,500,000	7,500,000
自動車港湾委員会負担金	500,000	500,000
三河港自動車流通強化支援事業負担金	18,000,000	14,000,000
三河港活性化可能性調査事業負担金	500,000	500,000

[指 標]



※ TEU : twenty-foot equivalent unit、20 フィートコンテナ換算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3日 港 湾 費 <みなとのにぎわいの創出>	23,349,596	0	0	809,218	22,540,378

1 みなとにぎわい創出事業費 499,695 円 (みなと振興課)

[総括]

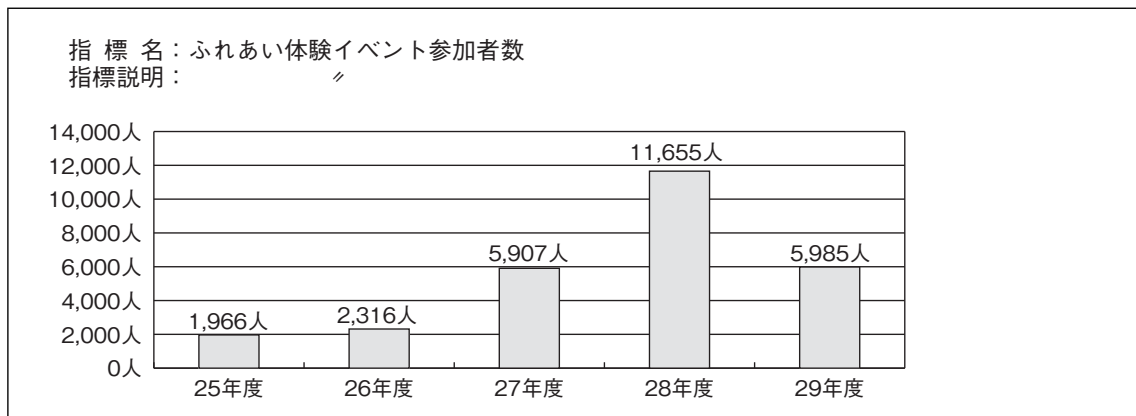
港の重要性や必要性を理解してもらい、港にふれあう機会を提供する場として、三河港船上セミナーや明海地区・田原地区のほか新たに御津地区の工場見学などを行った。平成29年度は三河港モーターショーを三遠ネオフェニックスのホームゲーム開催に合わせて実施したことで、市内外の来場者にも国際自動車港湾である三河港についてPRすることができた。今後は集積するインポーター等との連携により地域のにぎわいへとつながる産業観光への取組みを推進するとともに、イベントの集約と充実により集客力向上につなげていく。

[実績及び成果]

(1) みなとにぎわい創出活動事業費 499,695 円

内 容	平成28年度	平成29年度
イベント開催数	11回	13回
イベント参加者数	11,655人	5,985人

[指標]



※28年度は、海フェスタ東三河開催に合わせてイベントを実施したため参加者が増加した。

2 ポートインフォメーションセンター管理運営費 16,849,901 円 (みなと振興課)

[総括]

この地域における三河港の重要性や必要性の理解を深めてもらうとともに、港を気軽に訪れ、身近に感じてもらうためにポートインフォメーションセンターの適正な維持、管理に努めた。平成29年度は、フロアマップの更新や駐車場の境界線引き、展望室の双眼鏡の更新等による館内設備の充実に努めた。今後も、適切なサービスの提供や展示内容の刷新を図り、利用者に親しまれる施設にしていく。

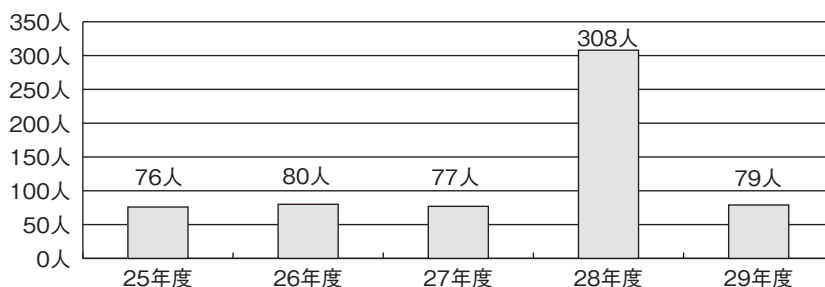
[実績及び成果]

(1) ポートインフォメーションセンター管理運営費 16,849,901 円

区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
開 館 日 数	359日	359日	0.0%
利 用 者 数	延 110,390人	延 28,182人	△74.5

[指 標]

指 標 名：ポートインフォメーションセンター 1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



※平成 28 年度は「海フェスタ東三河」開催年度（H28.7.16～H28.7.31）

3 港イベント事業費 6,000,000 円（みなと振興課）

[総 括]

三河港が地域や日本において、大切な港であることを広く理解してもらい、港への関心と親しみを高めることは三河港の振興にとって重要であるため、港を中心にフェスティバルを開催する豊橋みなとフェスティバル実行委員会へ助成した。平成 29 年度は、前年度に開催された海フェスタ東三河で培った企業や団体、東三河 8 市町村の協力・連携を引き継ぎ、東三河観光物産展や交流ステージを実施したところ、多くの団体が出展した。

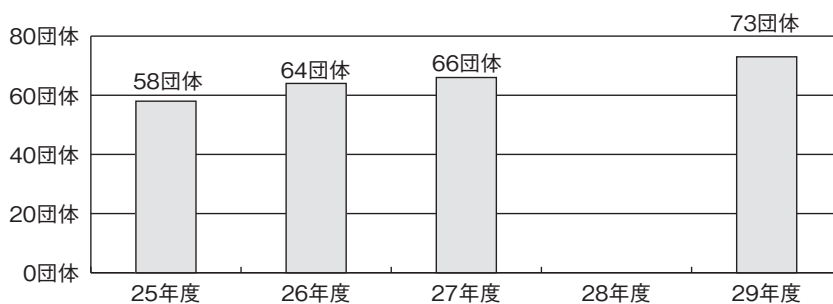
[実績及び成果]

(1) みなとフェスティバル補助金 6,000,000 円

補 助 金	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
	—	6,000,000円

[指 標]

指 標 名：みなとフェスティバル参加団体数
 指標説明：〃



※平成 28 年度は、海フェスタ東三河開催のためみなとフェスティバルの開催無し

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 都市計画費	3,060,516,597	383,697,310	151,100,000	51,997,429	2,473,721,858
2目 公園緑地費 <公園・緑地の充実>	656,828,137	24,512,000	9,000,000	3,865,481	619,450,656

1 公園施設維持管理事業費 511,862,607円 (公園緑地課)

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を確保するため、市内537箇所の公園・緑地・遊園・ちびっこ広場等を適正に管理するとともに、公園施設の安全点検や照明灯・遊具の更新等を行った。今後も公園施設の維持管理を計画的・効率的に行うことによりコストの低減を図る。

[実績及び成果]

(1) 公園維持管理事業費 417,239,087円

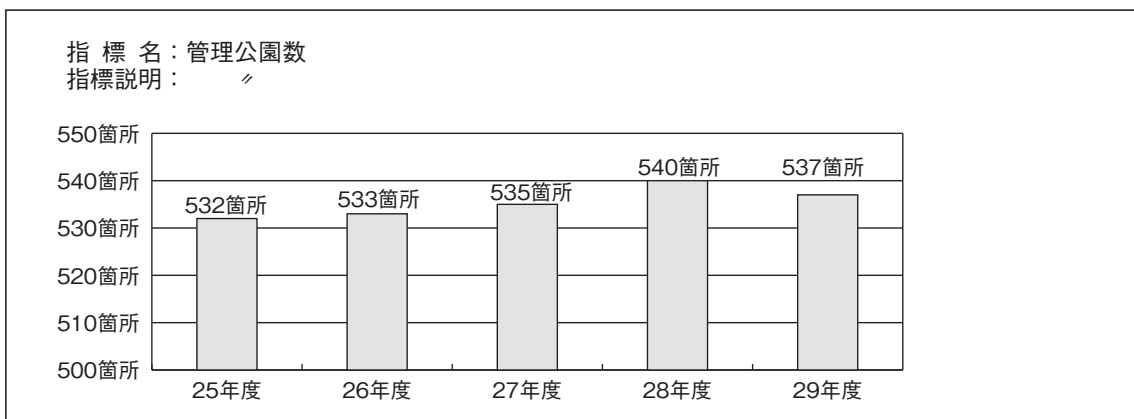
除草清掃・施設管理委託等	平成28年度	平成29年度
		高師緑地始め540箇所

(2) 公園修繕事業費 94,623,520円

(国庫補助事業 29,024,000円 市単独事業 65,599,520円)

内 容	平成28年度	平成29年度
照 明 灯 修 繕	幸公園ほか	花田公園ほか
遊 具 補 修	多米公園ほか	柱七番町公園ほか
諸施設及び塗裝修繕等	岩田運動公園ほか	岩屋緑地ほか
外 柵 修 繕	寺東公園ほか	中沢公園ほか
照 明 灯 更 新	高山緑地ほか	豊橋公園ほか
遊 具 更 新	高師本郷公園ほか	万場緑地ほか

[指 標]



2 公園緑地整備事業費

21,106,440 円（公園緑地課）

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を創出するため、坂津公園の整備を推進した。今後も標準配置に則した公園等の整備を推進する。

[実績及び成果]

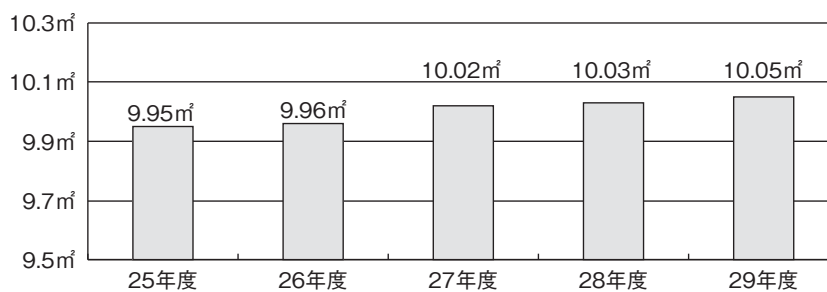
(1) 街区公園等整備事業費 21,106,440 円

(国庫補助事業 20,000,000 円 市単独事業 1,106,440 円)

公園名	平成28年度	平成29年度
坂津公園	多目的広場整備等	遊具広場整備等

[指標]

指標名：市民1人当たりの都市公園面積
 指標説明：都市公園面積／人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 緑化・美化活動費 <緑化・美化活動の推進>	383,155,950	45,184,000	0	2,100,000	335,871,950

1 緑化維持管理事業費 316,992,011 円 (公園緑地課)

[総括]

緑に囲まれた良好なオープンスペースを確保するとともに、地域の景観の維持を図るため、街路樹及び公園樹の剪定、刈り込み、施肥等を行った。今後も市民の安全に配慮した維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等維持管理事業費 194,936,891 円

路 線 名	平成28年度	平成29年度
		菰口町・旭町1号線始め277路線

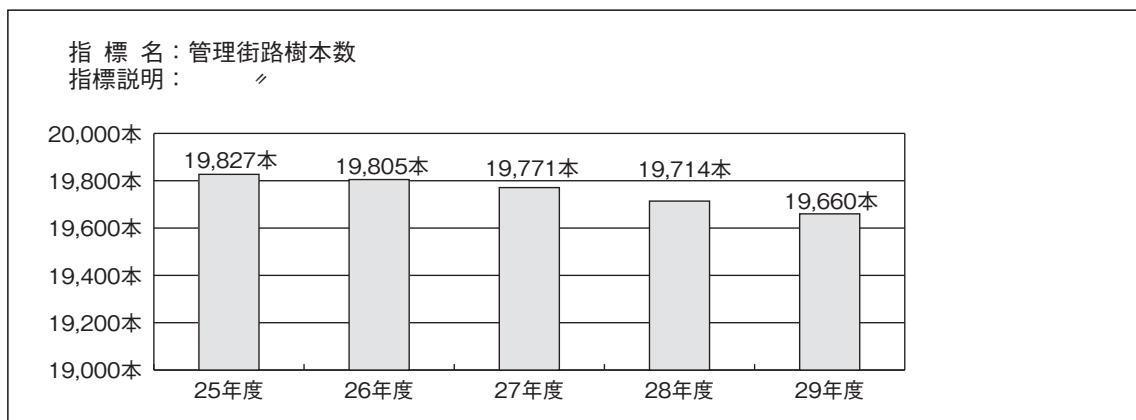
(2) 公園樹等維持管理事業費 116,974,800 円

公 園 名	平成28年度	平成29年度
		牛川遊歩公園始め395公園

(3) 街路樹等維持補修事業費 5,080,320 円

路 線 名	平成28年度	平成29年度
		向山町・つつじが丘48号線ほか

[指 標]



2 緑化推進事業費 50,170,239 円 (公園緑地課)

[総括]

市民参加型の緑化活動を推進するため、花交流フェア等を開催するとともに、都市景観の向上を図るため、路面電車の軌道緑化(中央分離帯の植栽)を行った。今後も緑豊かな景観の創出、都市活動に伴う環境負荷の低減を図るため緑化を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等緑化推進事業費 41,751,880 円

(県費補助事業 41,751,880 円)

内 容	平成28年度	平成29年度
	広小路四丁目・五丁目ほか 高木植栽 ハナミズキほか 79本	往完町・八通町3号線ほか 高木植栽 トキワマンサク 105本 低木植栽 ハイビヤクシン 5,391本

(2) 公園樹等緑化推進事業費 181,230 円

植栽及び更新工事	平成28年度	平成29年度
	桜ヶ丘公園ほか 中低木植栽 サザンカほか 52本	

(3) 民有地緑化推進事業補助金 0 円

内 容	平成28年度	平成29年度
	3件 285㎡	0件

(4) とよはし緑の日事業費 2,757,400 円

(県費補助事業 2,757,400 円)

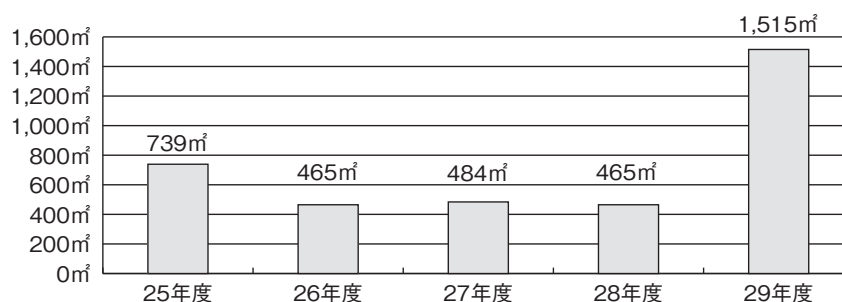
参加者数	平成28年度	平成29年度
	150人	270人

(5) 軌道緑化整備事業費 5,479,729 円

内 容	平成28年度	平成29年度
	軌道敷の芝生植栽 329㎡	中央分離帯の地被類植栽 80㎡

[指 標]

指 標 名：街路・公園に植栽した緑被及び花壇の面積
 指標説明： /



3 公園等維持管理事業費 14,860,208 円（公園緑地課）

[総括]

市民の公園及び街路樹への愛着心や美化意識の向上を図るため、市民協働で公園や街路樹周辺の美化活動を行うとともに、市制施行 111 周年への継承事業としてペDESTリアンデッキで花壇を整備した。今後も市民、事業者、行政の協働によって美化活動を推進する。

[実績及び成果]

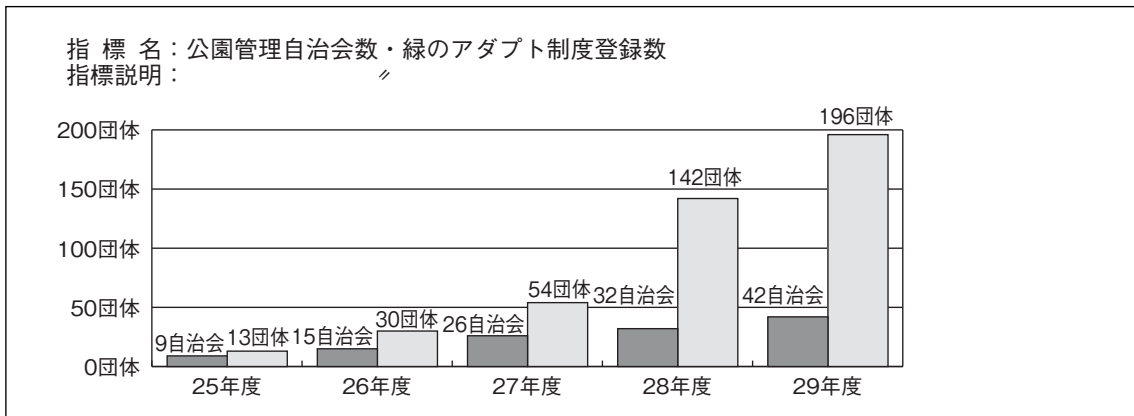
- (1) 公園等美化活動事業費 14,860,208 円
 (県費補助事業 952,616 円 市単独事業 13,907,592 円)

区 分	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
公園管理自治会数	32自治会	42自治会
緑のアダプト制度登録数	142団体	196団体

市制施行 111 周年への継承事業

イベント名	イベント内容	参加者数
ペDESTリアンデッキ 花壇整備事業	ペDESTリアンデッキにおいて、市民協働により愛知県産の花の植栽イベントを年2回実施し、花壇を整備した。	106名

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 スポーツ公園整備費 <公園・緑地の充実>	105,348,158	33,984,840	57,400,000	1,551,059	12,412,259

1 総合スポーツ公園整備事業費 105,348,158円 (公園緑地課)

[総括]

幅広い世代の市民がスポーツやレクリエーションに親しめる公園として整備するため、C地区の未買収用地の取得及びサッカー場実施設計を行った。今後は、C地区サッカー場の整備を進めるとともに、暫定供用中のB地区整備方針の検討を進めるなど、スポーツ施設及び災害時の広域防災活動拠点としての機能の更なる充実を図る。

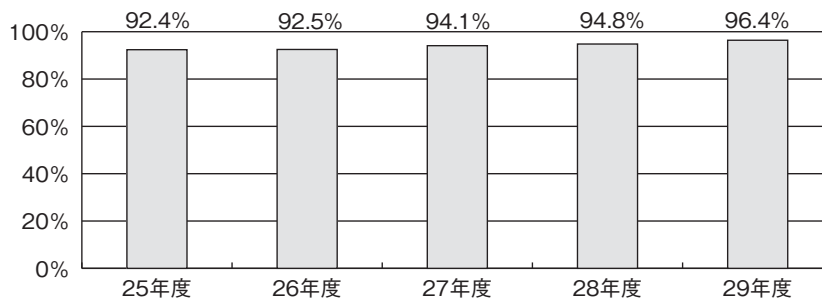
[実績及び成果]

- (1) 総合スポーツ公園整備事業費 105,348,158円
(国庫補助事業 98,074,520円 市単独事業 7,273,638円)

内 容	平成28年度	平成29年度
	用地 5,315.73㎡	用地 3,377.82㎡ サッカー場実施設計

[指標]

指標名：総合スポーツ公園整備事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成10年度～32年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 都市計画推進費 <コンパクトなまちづくりの推進>	104,246,499	2,002,000	0	0	102,244,499

1 都市計画推進事業費 104,246,499円 (都市計画課)

[総括]

コンパクトで暮らしやすいまちを実現するため、将来的な都市構造の見通し等を踏まえ、立地適正化計画の作成において、平成28年度に定めた「都市機能誘導区域」に引き続き、「居住誘導区域」及び「歩いて暮らせるまち区域(本市独自)」の検討を行い、全体計画の作成を進めた。また、「都市機能誘導区域」に位置付けている南栄駅周辺地区の都市計画道路構造及びその事業手法等について、調査検討を行った。

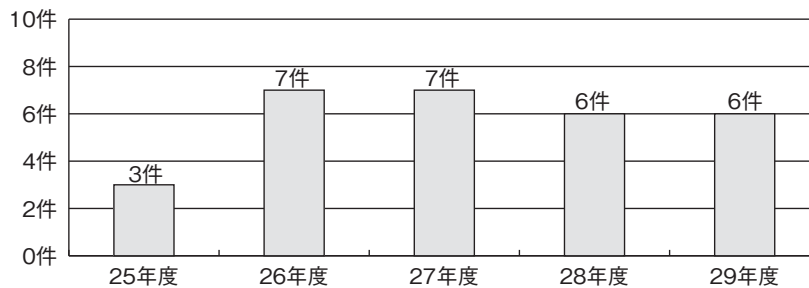
[実績及び成果]

(1) 都市計画事務費 29,213,444円

内 容	平成28年度	平成29年度
	豊橋市立地適正化計画作成業務 南栄駅周辺まちづくり検討調査業務	豊橋市立地適正化計画作成業務 南栄駅周辺まちづくり検討調査業務

[指標]

指標名：都市計画審議会において議決・報告された都市計画決定・変更等の件数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 中心市街地再開発費 <魅力ある中心市街地の整備>	401,228,416	246,380,000	84,700,000	25,347,805	44,800,611

1 再開発推進事業費 429,790円 (まちなか活性化課)

[総括]

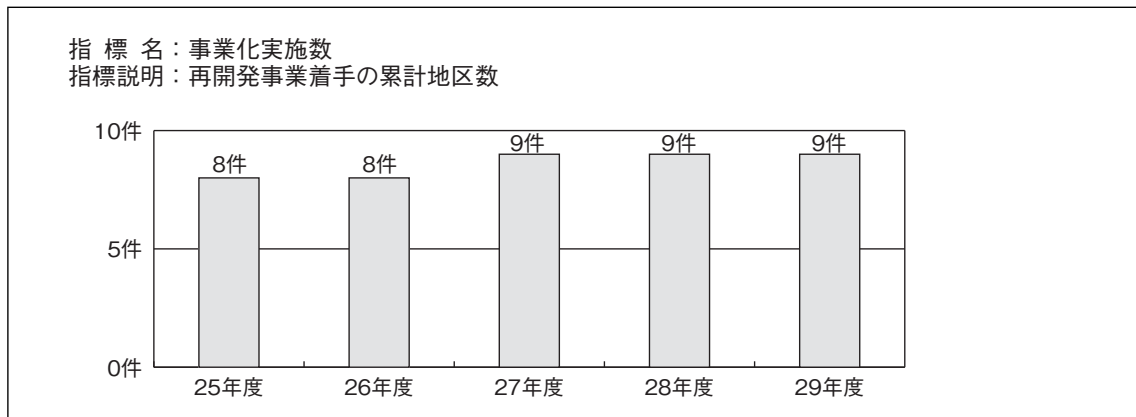
駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業において、事業主体となる再開発組合に支援、指導を行った。今後も同事業の進捗を図るほか、老朽化した街区の更新を検討している地区に対して、事業化に向けた調整を行っている。

[実績及び成果]

(1) 再開発推進事務費 429,790円

事業費	平成28年度	平成29年度
		425,191円

[指標]



2 市街地再開発等事業費 330,100,000円 (まちなか活性化課)

[総括]

都心居住の促進や集客施設の整備を図り、中心市街地の活性化に繋げるため、駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業の権利変換計画の作成及び東街区の建築物除却に対し、助成等を行った。

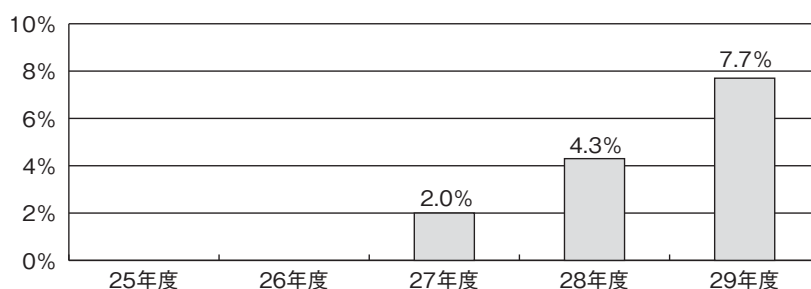
[実績及び成果]

(1) 駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業費 330,100,000円

	平成28年度	平成29年度
補助金	225,000,000円	328,800,000円
負担金	0	1,300,000

[指標]

指標名：駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業進捗率
 指標説明：累計額／総額(補助額ベース)



3 まちなか図書館（仮称）整備事業費 37,522,428 円（まちなか図書館整備推進室）

[総括]

駅前大通二丁目地区の市街地再開発事業により整備される再開発ビル内へ導入するまちなか図書館（仮称）について、再開発ビルの形状変更に合わせて実施計画の見直しを行ったほか、内装工事基本設計を行った。また、整備状況に関する市民説明会の開催や地域連携等促進事業の実施により、市民への周知や理解の促進を図った。

[実績及び成果]

(1) まちなか図書館（仮称）整備事業費 37,522,428 円

内 容	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
	再開発ビル実施設計との調整、 地域連携等促進事業の実施	内装工事基本設計等、 地域連携等促進事業の実施

4 中心市街地環境整備事業費 22,085,213 円（まちなか活性課）

[総括]

豊橋駅西口駅前地区において、前年度行った活性化可能性調査の結果や周辺の開発等の動向を踏まえ、企業・団体に対し、今後の当地区への進出意欲などについてヒアリングなどの調査を行った。また、中心市街地に「歩く楽しみ」という新たな魅力を加えるストリートデザイン事業において、対象路線の萱町通り、水上ビルの沿線住民や商店主等を行ったワークショップの結果を踏まえた実施設計を行った。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅西口駅前地区活性化推進事業費 2,179,333 円

内 容	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
	豊橋駅西口駅前地区活性化可能性調査	豊橋駅西口駅前地区活性化導入機能 可能性調査

(2) ストリートデザイン事業費 19,905,880 円

内 容	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
	基本計画の策定（萱町通り・水上ビル通り）	実施設計（萱町通り・水上ビル通り）

5 中心市街地活性化推進事務費 974,739 円（まちなか活性課）

[総括]

中心市街地活性化のため、「第2期豊橋市中心市街地活性化基本計画」の進捗状況を確認する通行量調査を実施した。今後も計画のフォローアップを行い、中心市街地の活性化に向けた取組みを着実に推進していく。

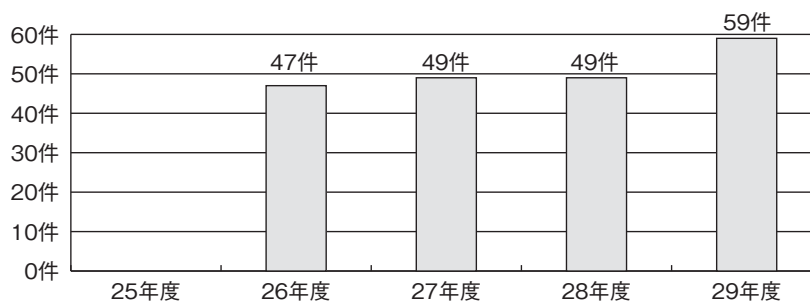
[実績及び成果]

(1) 中心市街地活性化推進事務費 974,739 円

内 容	平成28年度	平成29年度
	中心市街地通行量調査	中心市街地通行量調査

[指標]

指標名：計画の取組事業数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 まちづくり景観形成費 <調和のとれた景観の形成>	9,570,908	0	0	832,593	8,738,315

1 まちづくり景観推進事業費 9,570,908円 (都市計画課)

[総括]

豊橋らしい美しいまちをつくるため、二川宿景観形成地区の住民団体への支援や良好な建築行為に対する助成などを行った。また、景観法に基づく景観計画策定の基礎調査を行った。今後も調和のとれた景観形成の取組みを進めていく。

[実績及び成果]

(1) 都市景観推進事業費 5,701,315円

区 分	平成28年度	平成29年度
助 成 金	1件 300,000円	1件 300,000円
計 画 策 定	—	豊橋市景観計画策定基礎調査業務

(2) まちづくり景観形成助成金 3,037,000円

(ア) まちづくり景観形成整備事業助成金 3,037,000円

助 成 金	平成28年度	平成29年度
	4件 2,504,000円	5件 3,037,000円

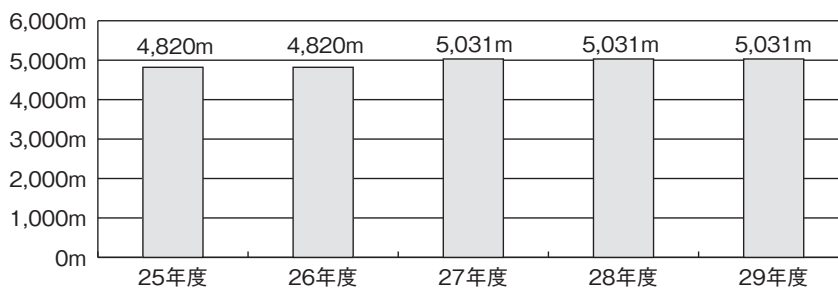
(3) 屋外広告物対策事業費 832,593円

区 分	平成28年度	平成29年度
許 可 件 数	659件	648件
違反屋外広告物撤去件数	226	119

[指 標]

指 標 名：景観形成地区内道路延長

指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 公共交通活性化費 <公共交通の利便性向上>	26,144,872	0	0	379,221	25,765,651

1 公共交通活性化事業費 22,538,295 円 (都市交通課)

[総括]

平成29年3月に制定した「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」に基づき、「豊橋市都市交通計画2016-2025」の基本理念である「多様な交通手段を誰もが使い、過度に自家用車に頼ることなく生活・交流ができる都市交通体系の構築」をめざすため、路面電車停留場のバリアフリー化の支援など、幹線的な公共交通の強化を図った。今後も市民等の公共交通に対する意識変革を促すとともに、公共交通の利便性の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 都市交通計画推進事業費 22,488,295 円

(ア) 渥美線南栄駅バリアフリー化補助金 2,358,833 円

内 容	平成28年度	平成29年度
		—

(イ) 路面電車停留場バリアフリー化補助金 13,655,611 円

内 容	平成28年度	平成29年度
		前畑停留場バリアフリー化実施設計

(ウ) 路線バス利用促進事業費 3,751,781 円

[幹線バス終バス延長実施事業]

幹線バスの終バスを 延長した路線数	平成28年度	平成29年度
		3路線

[高齢者路線バス利用促進事業]

元気バスの助成者数	平成28年度	平成29年度
		875人

(エ) 駐輪場整備補助金 270,000 円

内 容	平成28年度	平成29年度
		—

(オ) カーフリーデー事業費 532,996 円

(カ) モビリティマネジメント推進費等 1,019,074 円

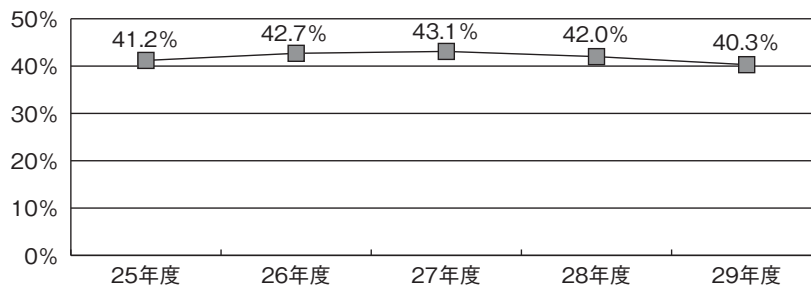
(キ) ユニバーサルデザインタクシー購入補助金 900,000 円

補 助 台 数	平成28年度	平成29年度
		—

[指 標]

指 標 名：「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 公共交通対策費 <公共交通の維持と利用促進>	105,005,129	0	0	6,050,576	98,954,553

1 公共交通対策事業費 105,005,129円 (都市交通課)

[総括]

利用しやすく持続可能な公共交通とするため、交通施設の改修に必要な支援を行った。また、公共交通空白地域においては、日常の移動手段を確保するため、地域住民が主体となり、「地域生活」バス・タクシーの実証運行を川北地区で実施するとともに、東部地区等の4地区において本格運行事業を実施した。今後も地域住民とともに、「地域生活」バス・タクシー運行事業を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 公共交通対策事業費 105,005,129円

(ア) 路面電車軌道敷整備補助金 20,972,865円

実 施 箇 所	平成28年度	平成29年度
	東田交差点	

(イ) バス運行対策費補助金 47,310,000円

補 助 路 線 数	平成28年度	平成29年度
		10路線

(ウ) 「地域生活」バス・タクシー運行事業費 7,401,260円

実 証 運 行 地 区	平成28年度	平成29年度
	川北地区	

(エ) 「地域生活」バス・タクシー運行事業補助金 26,813,634円

本 格 運 行 地 区	平成28年度	平成29年度
	東部地区、北部地区 南部地区、前芝地区	

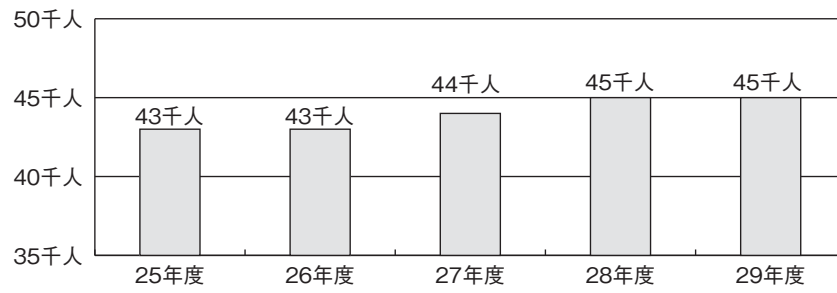
(オ) 「地域生活」バス・タクシー運営経費補助金 777,529円

運 営 団 体 数	平成28年度	平成29年度
		7団体

[指 標]

指 標 名：公共交通の1日当たりの利用者数

指標説明：渥美線、路面電車、路線バス、「地域生活」バス・タクシーの利用者数／運行日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 自転車活用推進費 <自転車活用の推進>	238,043	0	0	0	238,043

1 自転車活用推進事業費 238,043 円 (都市交通課)

[総括]

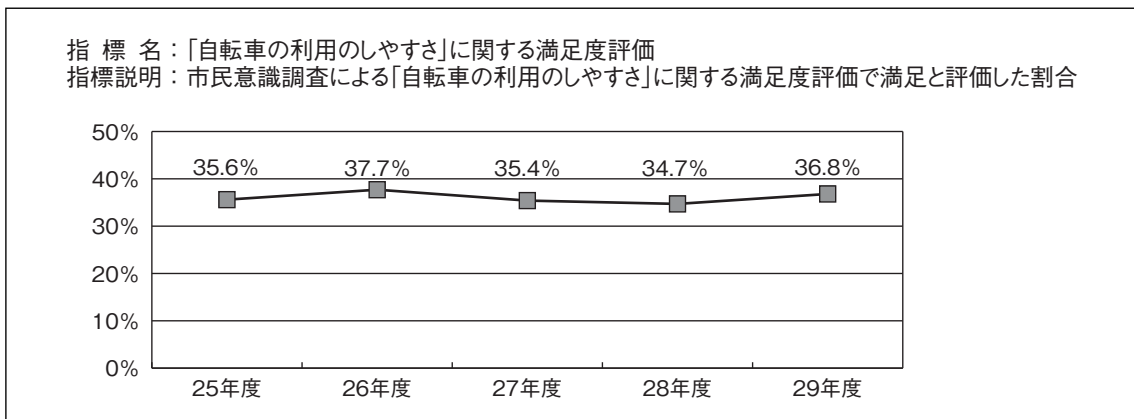
平成26年3月に策定した「豊橋市自転車活用推進計画」の中間見直しを行い、計画後期に向けた各指標の目標値等を新たに追加した。今後も国、県、各種関係団体等との連携・協働のもと、自転車の利用環境の整備や利用啓発活動等の取組みを進める。

[実績及び成果]

(1) 自転車活用推進事業費 238,043 円

内 容	平成28年度	平成29年度
	自転車活用推進委員会等の開催(2回) まちなか駐輪環境基礎調査	

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 区 画 整 理 費	1,747,103,418	419,599,913	718,300,000	41,481,325	567,722,180
2目 市 街 地 整 備 費 <コンパクトなまちづくりの推進>	1,575,570,342	419,599,913	718,300,000	41,441,925	396,228,504

1 牟呂坂津土地区画整理事業費 528,102,342 円 (区画整理課)

[総括]

道路築造工事及び宅地造成工事を施工するとともに、建物、工作物、電柱、水道管等の移転・移設補償を行った。今後も地権者の理解を得ながら、事業の早期完了に向けて、建物等移転補償、道路築造、宅地造成等を計画的に進め、事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 牟呂坂津土地区画整理事業費 528,102,342 円
(国庫補助事業 398,570,282 円 市単独事業 129,532,060 円)

(ア) 道路築造費 42,031,990 円

内 容	平成28年度	平成29年度
	延長 823m	延長 683m

(イ) 宅地造成費 13,851,000 円

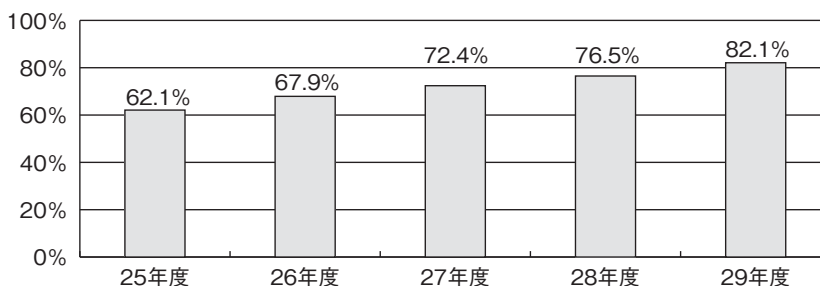
内 容	平成28年度	平成29年度
	面積 3,651㎡	面積 7,067㎡

(ウ) 補償費 399,554,108 円

内 容	平成28年度	平成29年度
	建物 11戸 工作物、電柱 水道管移設 326m	建物 13戸 工作物、電柱 水道管移設 587m

[指標]

指標名：牟呂坂津土地区画整理事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成13年度～35年度)



2 組合土地区画整理推進事業費 1,044,468,000 円（区画整理課）

[総括]

土地区画整理事業の円滑な推進を図るため、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合に対し指導・監督を行うとともに、助成した。また、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合が行った事業に対し負担金を支出した。今後も各組合に対して指導を行い、早期に事業が完了するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 牛川西部土地区画整理推進事業費 346,473,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 332,973,000 円

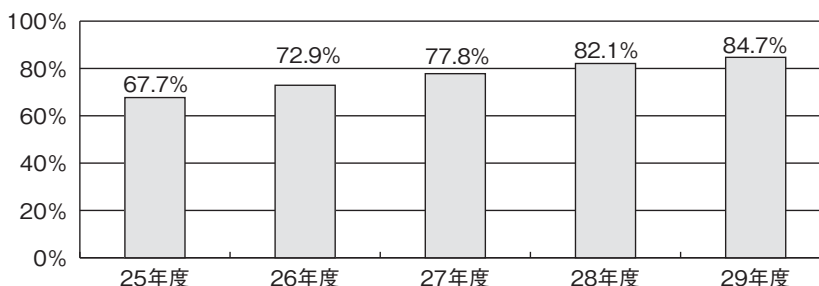
補助金	平成28年度	平成29年度
	559,727,000円	332,973,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 13,500,000 円

負担金	平成28年度	平成29年度
	36,067,500円	13,500,000円

[指標]

指標名：牛川西部土地区画整理事業進捗率
 指標説明：累積事業費／全体事業費(平成7年度～35年度)



※平成29年度の事業計画変更による全体事業費にて再算定

(2) 柳生川南部土地区画整理推進事業費 697,995,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 665,910,000 円

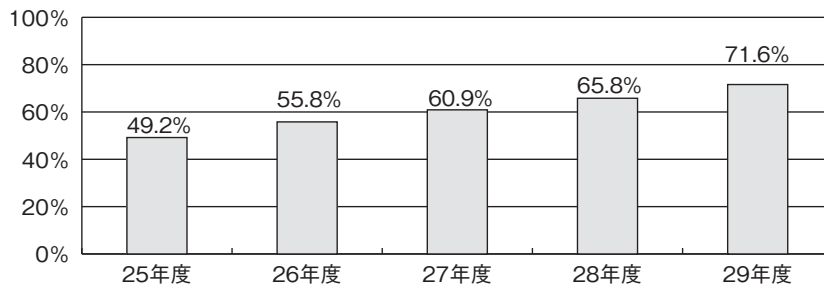
補助金	平成28年度	平成29年度
	544,020,000円	665,910,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 32,085,000 円

負担金	平成28年度	平成29年度
	61,942,500円	32,085,000円

[指 標]

指 標 名：柳生川南部土地区画整理事業進捗率
指 標 説 明：累積事業費／全体事業費(平成14年度～33年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9 款 消 防 費	3,404,919,082	46,813,000	140,500,000	77,431,390	3,140,174,692
1 項 消 防 費	3,404,919,082	46,813,000	140,500,000	77,431,390	3,140,174,692
2 目 消 防 費 < 消防体制の充実 >	618,501,595	46,813,000	140,500,000	65,835,640	365,352,955

1 通信指令事業費 56,404,060 円 (通信指令課)

[総括]

複雑多様化する災害から地域住民を守るため、高機能消防通信指令システムを活用して、効率的に災害発生場所を特定し、迅速な対応を図ることで被害の軽減に努めた。また、通報内容に応じて応急手当ての口頭指導を行い、傷病者の救命効果の向上に努めるとともに、予告指令の導入による部隊出動の迅速化を図った。今後も、119番通報の集中する大規模広域災害を想定した訓練を実施していくことで、東三河地域の災害対応力の強化を図る。

[実績及び成果]

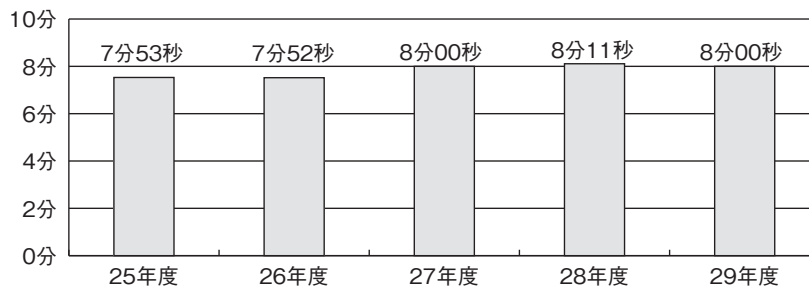
(1) 通信指令事業費 56,404,060 円

[受信内訳]

内 容	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	比 較
119 番 通 報 件 数	19,405件	20,310件	4.7%
固 定 電 話	7,233	7,330	1.3
携 帯 電 話	8,470	9,065	7.0
I P 電 話	3,702	3,915	5.8

[指 標]

指 標 名 : 119番(火災・救急・救助等)受信から現場到着時間
 指標説明 : //



2 警防活動費 12,462,412 円 (消防救急課)

[総括]

市民の生命、身体及び財産を火災から守り、被害を最小限に抑えるため、消防機械器具の整備や消防隊員の知識、技術の向上に努めた。特に、若年層消防隊員の知識・技術の向上を図るため、計画的に訓練を実施し、消防活動体制の強化に努めた。また、発生が危惧される地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、今後も各種災害想定訓練を実施していく。

[実績及び成果]

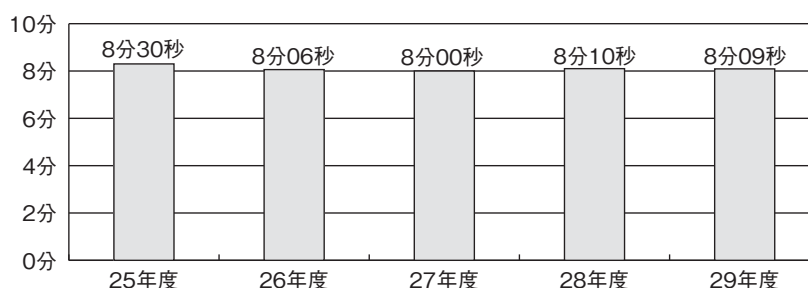
(1) 警防活動費 12,462,412 円

[火災発生状況]

区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
出 火 件 数	83件	132件	59.0%
り 災 棟 数	49棟	68棟	38.8
り 災 世 帯	17世帯	44世帯	2.6倍
り 災 人 員	57人	109人	91.2%
焼 損 面 積 (建物)	2,497㎡	1,379㎡	△44.8
損 害 額	121,330千円	192,581千円	58.7

[指 標]

指 標 名：火災出動から放水開始までの時間
 指標説明：火災出動から先着隊の放水開始までの時間



3 消防団活動事業費 145,843,332 円 ((消) 総務課)

[総 括]

消防団員の安全確保のための装備品と活動用資機材の充実を図るとともに、消防署との合同訓練や災害時活動マニュアル研修会を実施し、災害対応能力の向上に努めた。

また、市民に消防団の必要性について正しく理解してもらうために、各種イベントにおいて消防団員を中心に消防団PR事業を展開し、消防団に対する理解の促進を図った。各地域の分団においては、「シャッターアートプロジェクト」などの活動を通じて、自治会や地域住民との繋がりを持ち、消防団員の確保に努めた。

消防団員の福利厚生事業の更なる充実のため、東三河地域で連携している消防団応援事業を、愛知県が開始した「あいち消防団応援の店」事業と連携、拡大し、団員や団員の家族が利用しやすい事業とした。

[実績及び成果]

(1) 消防団員管理事業費 137,243,132 円

[災害・公務出動人数]

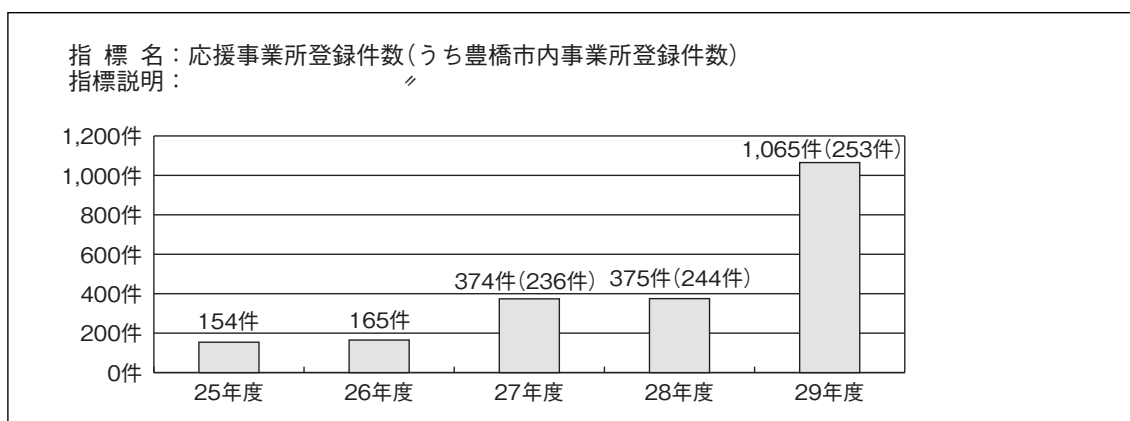
区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
災 害 出 動	2,627人	4,071人	55.0%
公 務 出 動	10,698	10,574	△ 1.2

(2) 消防団交付金 8,600,200 円

[交付金内訳]

区 分	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
消 防 団 交 付 金	800,000円	800,000円
方 面 隊 交 付 金	688,000	688,000
分 団 交 付 金	6,814,000	6,812,200
消防はしご登り保存会交付金	300,000	300,000
計	8,602,000	8,600,200

[指 標]



※ 25 年度～ 26 年度「ええじゃないか消防団・消防団応援事業所」の登録件数

※ 27 年度～ 28 年度「ほの国消防団・消防団応援事業所」の登録件数

※ 29 年度～ 「あいち消防団応援の店」の登録件数

4 前芝出張所施設整備事業費 18,360,000 円 ((消) 総務課)

[総 括]

消防防災活動拠点の強化を図るため、中消防署前芝出張所の移転・建替えに向け、実施設計を実施した。

[実績及び成果]

(1) 前芝出張所施設整備事業費 18,360,000 円

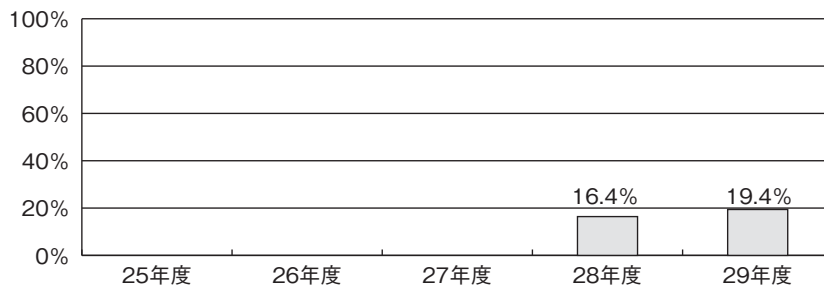
[施設整備]

内 容	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
	建設用地取得 用地測量 地質調査 基本設計	

[指 標]

指 標 名：前芝出張所施設整備事業進捗率

指標説明：累積実施事業費／総事業費(平成28年度～32年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 救急救命費 <救急救命体制の充実>	22,944,008	0	0	1,100,000	21,844,008

1 救急事業費 20,447,274 円 (消防救急課)

[総括]

救命率の向上を図るため、救急救命士の養成や処置範囲の拡大への対応、また、医療機関との連携強化など救急救命体制の充実に努めるとともに、市民や事業所と協働した救命講習を実施し応急手当の普及啓発に努めた。今後、救急の高度化と応急手当の普及啓発を推進し救急救命体制の充実強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 救急高度化事業費 18,937,185 円

研修派遣内訳		平成28年度	平成29年度
救 急 救 命 士	救急救命士養成	1人	2人
	包括運用教育講習	4	3
	気管挿管運用試験	2	2
	薬剤投与運用試験	4	4
	処置範囲拡大追加講習	5	3
救急隊員資格取得		21	20

(2) 応急手当普及啓発事業費 1,357,838 円

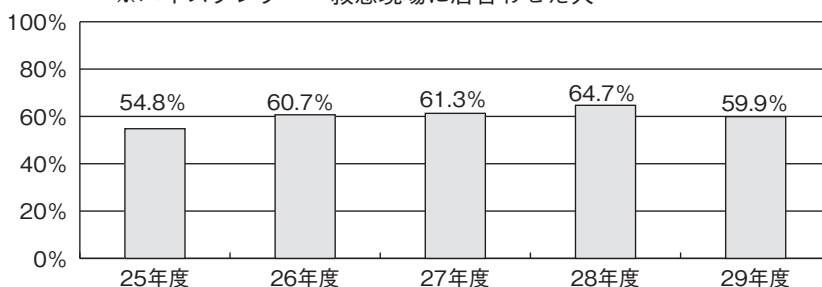
救命講習内訳		平成28年度	平成29年度	比較
応急手当指導員		32人	40人	25.0%
応急手当普及員		51	62	21.6
普通救命		3,981	3,771	△ 5.3
上級救命		51	57	11.8
その他講習		5,658	6,438	13.8
救命入門コース		1,437	1,503	4.6
計		11,210	11,871	5.9

(3) 救急活動費 152,251 円

救急発生状況内訳		平成28年度	平成29年度	比較
急	病	9,465件	9,899件	4.6%
一	般 負 傷	1,841	1,877	2.0
交	通 事 故	1,305	1,309	0.3
労	働 災 害	124	138	11.3
運	動 競 技	91	124	36.3
加	害	64	56	△12.5
そ の 他		1,733	1,930	11.4
計		14,623	15,333	4.9

[指 標]

指 標 名：心肺停止傷病者に対するバイスタンダーの処置率(胸骨圧迫)
 指標説明：通報時、心肺停止状態の傷病者に対しバイスタンダーが応急処置を施した割合
 ※バイスタンダー…救急現場に居合わせた人



2 救助事業費 2,496,734 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を災害から守るため、救助隊員の知識、技術の向上に努めた。今後も、発生が危惧される地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、救助隊員の育成と救助活動の充実強化を図る。

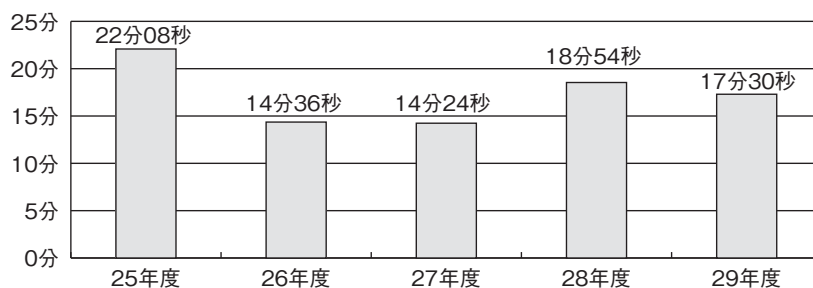
[実績及び成果]

(1) 救助事業費 2,496,734 円

救助発生状況内訳		平成28年度	平成29年度	比 較
火 災	建 物	24件	41件	70.8%
	建 物 以 外	7	10	42.9
火災以外の事故	交 通	53	67	26.4
	水 難	3	3	0.0
	自 然 災 害	0	1	皆増
	機 械 に よ る	5	4	△ 20.0
	建 物 等 に よ る	29	32	10.3
	ガ ス 及 び 酸 欠	1	3	3倍
	破 裂	0	0	—
	そ の 他	34	38	11.8%
計		156	199	27.6

[指 標]

指 標 名：現場到着から救助完了までの時間
 指標説明：救助隊の現場到着から救助完了までの時間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 火災予防費 <火災予防対策の推進>	10,806,657	0	0	1,000,000	9,806,657

1 火災予防対策事業費 10,806,657円 (予防課)

[総括]

火災予防対策の推進及び防火意識の高揚を図るため、各種研修会、秋・春の火災予防運動及び防火教室等を実施した。また、豊橋まつり等でキャンペーンを実施し、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進に努めた。

今後も、引き続き火災予防対策を推進するとともに、防火対象物の違反是正に向けた査察体制の強化及び街頭消火器の未整備地域への設置を促進する。

[実績及び成果]

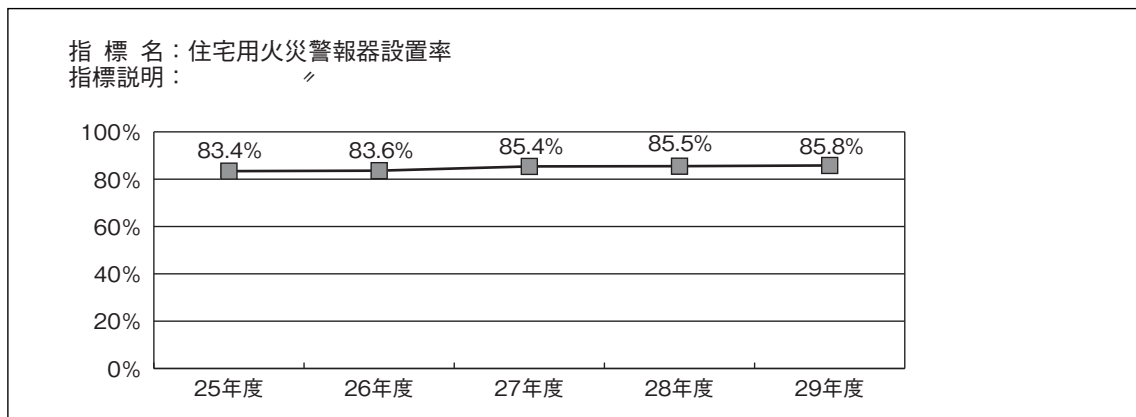
(1) 火災予防啓発事業費 4,366,857円

啓 発 区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
啓 発 イ ベ ン ト	7回	6回	△14.3%
講 習 会	9	10	11.1
老人クラブ防火教室等	12	16	33.3
女性防火クラブ研修等	13	11	△15.4
少年消防クラブ防火教室等	30	26	△13.3
計	71	69	△2.8

(2) 街頭消火器設置費等補助金 6,439,800円

補 助 内 訳	平成28年度	平成29年度	比 較
消 火 器 更 新	867件	853件	△1.6%
収 納 箱 更 新	381	352	△7.6
薬 剤 更 新	4	5	25.0
消 火 器 新 規 設 置	50	50	0.0
火災使用薬剤詰替(街頭消火器)	10	7	△30.0
火災使用薬剤詰替(一般消火器)	12	21	75.0
計	1,324	1,288	△2.7

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10款 教 育 費	13,828,281,095	1,178,286,023	3,184,900,000	1,792,575,206	7,672,519,866
1 項 教 育 総 務 費	2,162,768,070	29,653,423	0	103,020,089	2,030,094,558
3 目 教 育 活 動 推 進 費 <「この子の輝く学び」の創造>	743,883,230	22,985,219	0	6,615,803	714,282,208

1 教育相談事業費 149,511,837 円 (学校教育課)

[総括]

外国人児童生徒教育相談員等による教育相談や学校生活適応指導など、外国人児童生徒や保護者に対する支援の充実に努めた。また、児童生徒の教育にかかわる問題について、教育相談員や臨床心理士等がそれぞれの専門的立場で連携して教育相談を実施するとともに、スクールソーシャルワーカーが関係機関や関係者と連携し、児童生徒や保護者が置かれた環境に働きかけた。その他、心理判定員による発達検査に基づいた就学相談を実施するとともに、生活サポート非常勤講師の配置や適応指導教室の運営を通して、不登校傾向にある児童生徒の早期発見、対応及び学校復帰に向けた支援を行った。今後も学校や関係機関と連携をとりながら、児童生徒の支援のため効果的な教育相談活動に努める。

[実績及び成果]

(1) 外国人児童生徒教育相談事業費 72,240,396 円

区 分	平成28年度	平成29年度
外国人児童生徒教育相談コーディネーター	相談件数 1,768件	相談件数 1,487件
外国人児童生徒教育相談員	学校常駐 5人 学校巡回 11	学校常駐 5人 学校巡回 11
外国人児童生徒対応スクールアシスタント	延 4,013時間	延 4,061時間
登録バイリンガルボランティア	延 1,904	延 2,213.5

(2) 教育相談活動事業費 37,221,410 円

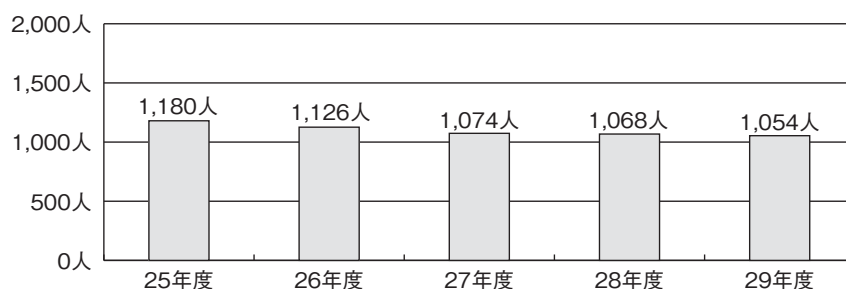
区 分	平成28年度	平成29年度
スクールソーシャルワーカー (平成28年度教育支援コーディネーター)	相談件数 380件	相談件数 720件
教 育 相 談 員 (学校訪問、にじの子相談等)	〃 3,727	〃 4,158
心 理 カ ウ ン セ ラ ー	〃 941	〃 968
心 理 判 定 員	〃 140	〃 74
メンタルフレンド	派遣回数 69回	派遣回数 98回

(3) 不登校対策支援事業費 40,050,031 円

区 分	平成28年度	平成29年度
適応指導教室活動事業費	2 か所 184日 延 1,983人	2 か所 183日 延 1,990人
生活サポート支援事業費	非常勤講師 12	非常勤講師 12
不登校対策推進協議会補助金	担当者学習会 8月 2回	担当者学習会 8月 2回
	補助金 108,504円	補助金 107,889円

[指標]

指標名：教育相談員1人当たりの児童生徒数
 指標説明：市立小中学校児童生徒数 / (外国人児童生徒教育相談員数 + 教育相談員数)



2 生徒指導対策事業費 3,795,324 円 (学校教育課)

[総括]

生徒指導担当者の情報交換会や管理職対象の研修会において、いじめを見逃さず、早期に対応するために、教職員一人ひとりがいじめを認知していくことと、いじめを一つひとつ解消していく組織的な対応の重要性について啓発を行った。進路指導では、キャリア教育と連携しながら、生徒が将来の目標を定め、最適な進路選択ができるよう支援を行った。今後もいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動を未然に防ぐため、自己存在感や自己有用感を高め、共感的人間関係を育むための支援を行っていく。

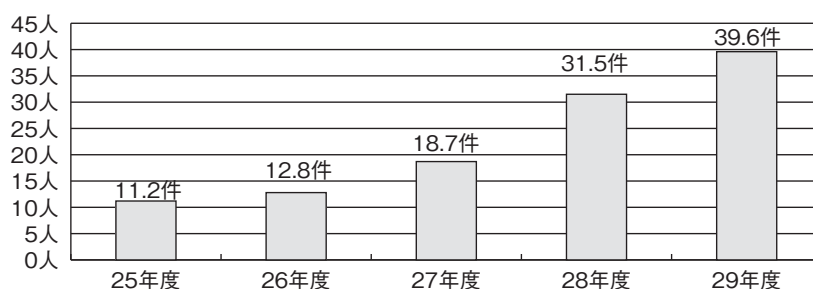
[実績及び成果]

(1) 生徒指導対策事業費 3,706,884 円

区分	平成28年度	平成29年度
生徒指導	夏季教員研修会 8月 1回	夏季教員研修会 8月 1回
	夏季生徒会研修会 8 1	夏季生徒会研修会 8 1
進路指導	進路のてびきの発行	進路のてびきの発行

[指標]

指標名：1校当たりのいじめ、暴力行為の発生件数
 指標説明：いじめ、暴力行為の発生件数 / 小中学校数 (74校)



3 教育諸活動支援事業費 143,616,815 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

次代を担う子どもたちの感性を磨き、豊かな心を醸成するため、創造力や豊かな感性・表現力を高める活動、子どもたちの科学技術に対する夢と情熱を育む活動、体力・競技力の向上を図る活動など、様々な教育活動の支援を行ったほか、多彩で優れた芸術の鑑賞・体験の機会を提供した。平成 29 年度は子ども造形パラダイス 60 周年記念事業として、造形作品の展示に加え、スタンプラリーを実施した。また、中学校の部活動に外部指導者を派遣することで、部活動の一層の充実と担当教員の指導力向上に取り組んだ。今後も児童生徒がいきいきと学ぶことができるよう、各事業内容の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 行事開催事業費 8,772,772 円

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度
子ども造形パラダイス補助金	開催日 28.10.15~16	開催日 29.10.21
	補助金 4,326,760円	補助金 4,385,394円
小学生のコンサート補助金	開催日 28.7.31	開催日 29.7.30
	補助金 2,178,089円	補助金 2,418,802円
中学校合唱フェスティバル補助金	開催日 28.11.5	開催日 29.11.4
	補助金 843,150円	補助金 670,900円
子どものための科学展開催費補助金	開催日 28.10.15~16	開催日 29.10.21
	来場者数 6,259人	来場者数 2,928人
	補助金 755,227円	補助金 891,859円
小柴記念賞補助金	応募点数 334点	応募点数 3,280点
	補助金 490,592円	補助金 405,817円

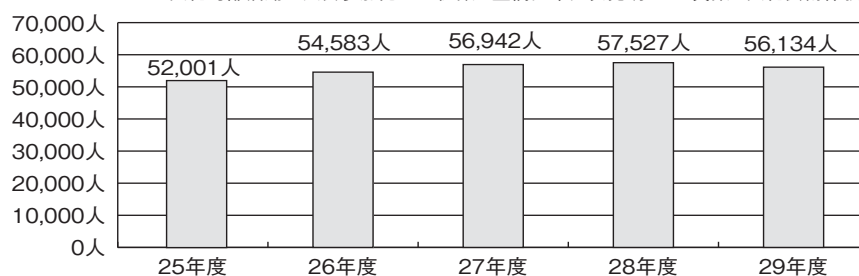
(2) 教育活動支援事業費 134,844,043 円

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度
新入学児童学級対応等支援事業費	支援員 63人	支援員 63人
体育的部活動支援事業費	22,979,800円	26,145,626円
学校体育連盟補助金	1 団体 21,524,720	1 団体 22,824,956
中学校東海・全国大会出場補助金	17校(119人) 1,455,080	16校(122人) 3,320,670
文化的部活動支援事業費	28 5,530,258	27 5,426,113
少年少女発明クラブ補助金	クラブ員 82人 400,000	クラブ員 85人 400,000
郷土学習推進事業費	「郷土の遺構」編集・発行 340,660	郷土学習研修会による企画運営 72,000
文化芸術体験推進事業費	参加児童生徒8,819人 4,778,620	参加児童生徒7,705人 3,529,900
中学校部活動指導者派遣事業費	—	部活動指導者4 819,800

[指標]

指標名：教育諸活動支援事業参加者数

指標説明：子ども造形パラダイス出品児童生徒数+小学生のコンサート参加児童数+中学校合唱フェスティバル参加生徒数+子どものための科学展来場者数+小柴記念賞応募点数+市内体育大会参加児童生徒数+中学校東海・全国大会出場者数+文化的部活動の大会参加児童生徒数+豊橋少年少女発明クラブ員数+文化芸術体験推進事業参加児童生徒数



4 授業・学習支援事業費 38,219,559 円（学校教育課）

[総括]

児童生徒への効果的な学習支援を行うため、「授業・学習支援センター」において、コーディネーター1名と選書スタッフ2名が連携し、子どもの調べ学習や教員の授業づくりの支援を行った。また、27名の学校図書館司書を小中学校へ配置するとともに、学校図書館司書への研修を実施し、学校図書館機能の充実に努めた。今後も児童生徒の豊かな学習環境の充実のため、教員のニーズを把握し、センターの機能を有効に活用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 授業・学習支援センター推進事業費 10,149,326 円

学校貸出冊数	平成28年度	平成29年度
	14,636冊	14,935冊

(2) 学校図書館活動推進事業費 22,882,530 円

司書配置	平成28年度	平成29年度
	27名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当20名、2校担当7名)	27名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当20名、2校担当7名)

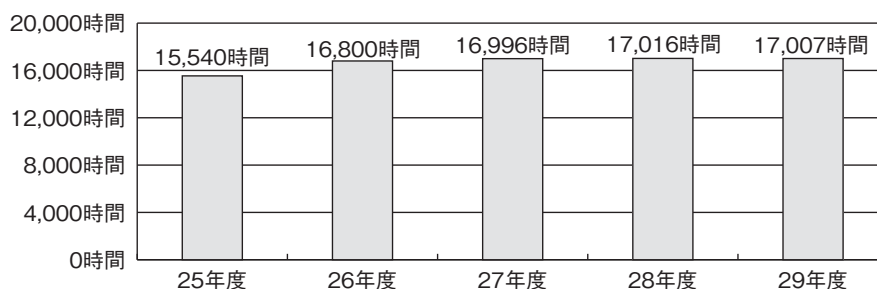
(3) 小・中学校読書活動推進事業費 5,187,703 円

図書購入	平成28年度	平成29年度
	69冊	63冊

[指標]

指標名：学校図書館司書活動時間数

指標説明：〃



5 学力向上推進事業費

23,747,932 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、全国の小中一貫教育の事例研究及び情報収集を行った。また、小学校の高学年において教科担任制を実施し、子どもの発達段階に応じ、専門性を活かしたより質の高い授業を提供した。

[実績及び成果]

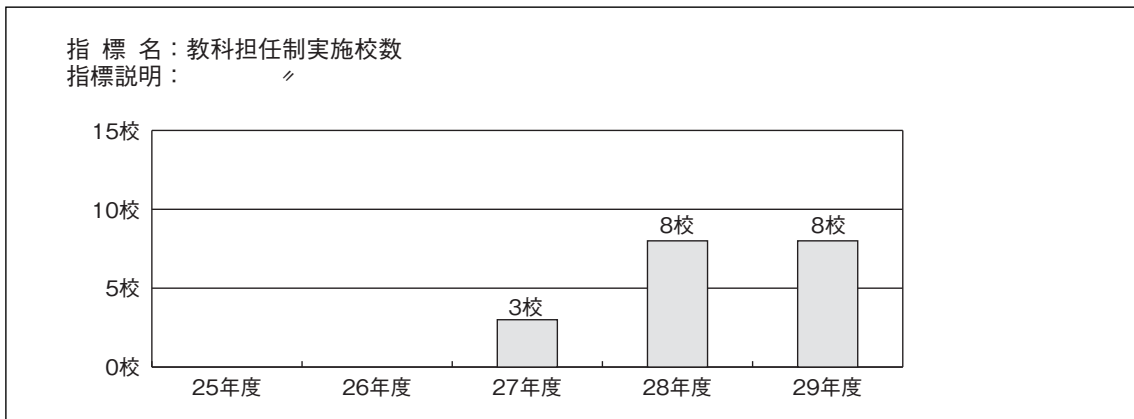
- (1) 学力向上支援事業費 23,460,608 円

教科担任の 非常勤講師人数	平成28年度	平成29年度
	5人	5人

- (2) 小中一貫教育推進事業費 287,324 円

小中一貫教育 実施校数	平成28年度	平成29年度
	6校	6校

[指標]



6 国際理解教育推進事業費

130,565,179 円（学校教育課）

[総括]

「英会話」の授業への人的支援として、英語スクールアシスタント（S A）や外国人英語指導員（A L T）を派遣した。小学校では学級ごとに、3・4年生はS Aと年間20時間、5・6年生はA L Tと年間30時間の協働学習を行った。中学校では学級ごとに、A L Tと年間35時間の協働学習を行い、子どもたちの英語への関心・意欲を高めることができた。さらに体育・家庭科などの授業を英語で行う「英語で学ぶ」事業のモデル校を設け、子どもたちが生きた英語に触れる機会を拡充した。また、夏休みを利用した英語活動として、トリードスーパーイングリッシュキャンプを実施し、子どもたちの海外への興味を喚起する機会とした。今後も引き続き英語教育の充実を図るため、小・中学校での連携を進める。

[実績及び成果]

- (1) 英会話のできる豊橋っ子育て事業費 130,565,179 円

- (ア) 小・中学校外国人英語指導員活動費

外国人英語指導員 コーディネーター及び 外国人英語指導員の配置	平成28年度	平成29年度
	74校 23人	74校 26人

- (イ) 小学校英語スクールアシスタント

内 容	平成28年度	平成29年度
	52校 延 4,493時間	52校 延 4,602時間

(ウ) 夏休み小学生英語活動費

内 容	平成28年度		平成29年度	
		12日間	480人	12日間

(エ) 夏休み中学生英語活動費

内 容	平成28年度		平成29年度	
		10日間	72人	10日間

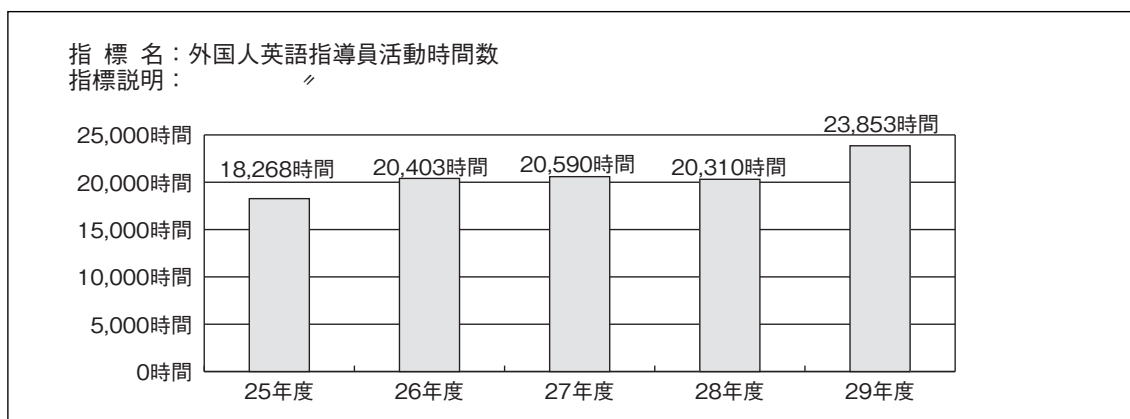
(オ) 土曜英会話チャレンジ費

内 容	平成28年度		平成29年度	
		5日間	59人	5日間

(カ) トリード スーパーイングリッシュキャンプ費

内 容	平成28年度		平成29年度	
		5日間	19人	5日間

[指 標]



7 情報教育推進事業費 211,269,816 円 (学校教育課)

[総 括]

情報・通信の技術を積極的に活用していくことが求められるなか、情報教育を通じて子どもたちにコンピュータの技能を身につけさせたり、情報モラルやセキュリティに関する意識を高めさせることができた。また、子どもたちの論理的思考を育むためのプログラミング教育の導入に向けて、高山小学校及び章南中学校で実践研究を行い、教材の効果的な活用方法や指導方法を検証することができた。今後も教育の情報化に対応した実践を進める。

[実績及び成果]

(1) コンピュータ活用事業費 210,269,820 円

(ア) 小学校コンピュータ活用事業費 127,167,960 円

区 分	平成28年度		平成29年度	
	学習用コンピュータ費	1,980台	94,292,892円	1,980台
コンピュータネットワークシステム費		22,303,572		22,687,944
学校図書館管理用コンピュータ費	52	10,187,124	52	10,187,124
タブレット型コンピュータ費		99,144		0

(イ) 中学校コンピュータ活用事業費 83,101,860 円

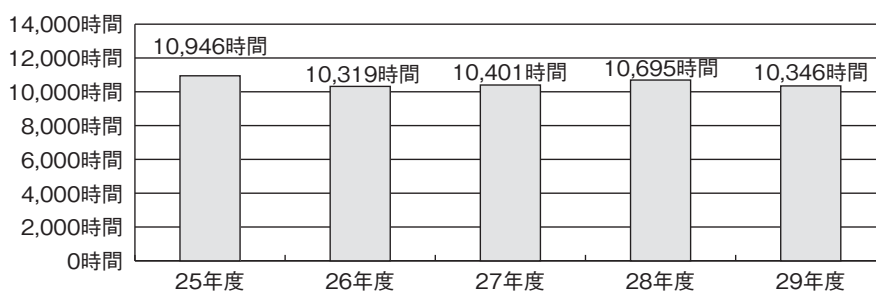
区 分	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度	
学習用コンピュータ費	908台	64,963,814円	908台	70,035,180円
コンピュータネットワークシステム費		8,608,401		8,756,748
学校図書館管理用コンピュータ費	22	4,309,932	22	4,309,932
タブレット型コンピュータ費		158,760		0

(2) プログラミング教育推進事業費 999,996 円

	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
研究の観点項目	—	教員の指導方法 発達段階に即した授業づくり 教科指導における教材の効果的な活用方法

[指 標]

指 標 名：小・中学校学習用コンピュータ利用時間数
 指標説明： /



8 体力向上推進事業費 5,137,032 円 (教育政策課)

[総 括]

未来の豊橋を担う子どもたちが健康的でたくましく成長できるよう、児童生徒の体力向上に向けた様々な取り組みを実施した。平成 29 年度は、全小学校における「スポーツ鬼ごっこ」への取り組みや「三遠ネオフェニックス」の出張授業の実施などにより、子どもたちが体を動かしたくなる仕掛けづくりを行った。また、小規模校において体育の合同授業を実施したほか、教員向けのトレーナークリニックの開催などにより、体育授業の質の向上に取り組んだ。今後も、子どもたちの体力向上に向け、運動することの楽しさを十分理解し、運動する習慣を身に付けた子どもたちの育成に継続的に取り組んでいく。

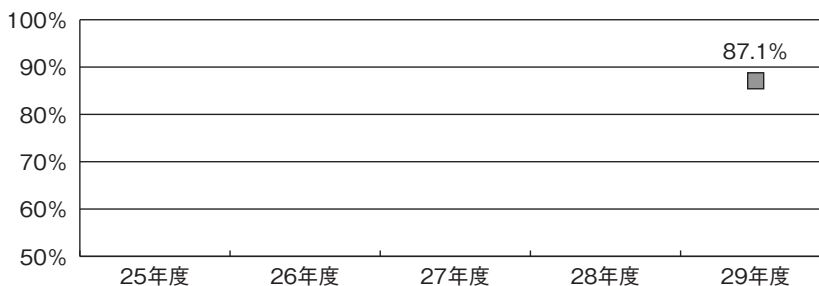
[実績及び成果]

(1) 体力向上支援事業費 5,137,032 円

内 容	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
	—	全小学校での「スポーツ鬼ごっこ」への取組み 小規模校における体育の合同授業の実施 「三遠ネオフェニックス」と連携した出張授業、トレーナークリニックの実施 体育指導 DVD、低学年向けダンス DVD の作成

[指 標]

指 標 名：運動が好きな児童の割合
 指標説明：運動やスポーツをすることが「好き」、「やや好き」と答えた小学5年生児童の割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 教職員研修費 <教職員の力量向上>	100,911,233	123,400	0	504,000	100,283,833

1 現職研修事業費 6,749,458円 (学校教育課)

[総括]

小中学校における今日的課題や将来にわたる課題の解決に向けて研究し成果を公開発表する研究指定校や、各校それぞれの課題について組織的・計画的に実施する現職研修に対して支援を行い、教育活動に活かすとともに、教職員の力量向上を図った。今後もより良い教育活動の展開のため、研究や研修への支援を行っていく。

[実績及び成果]

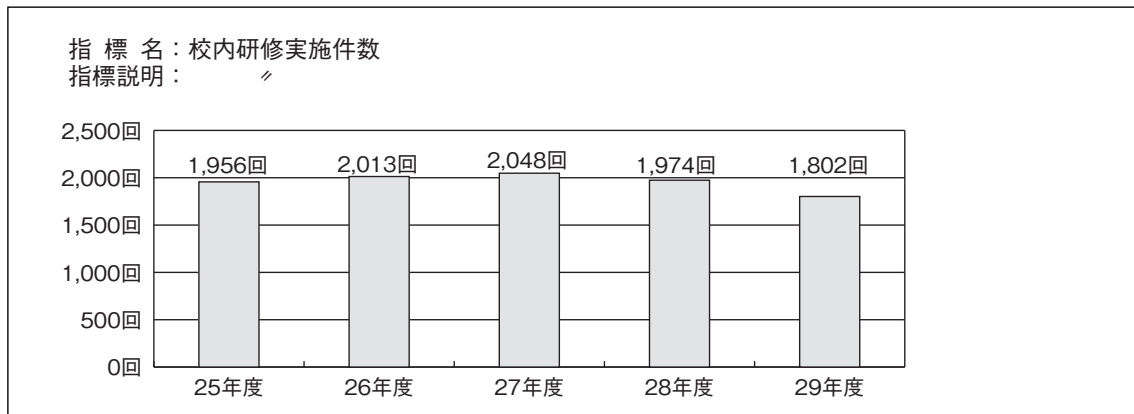
(1) 指定校研究費補助金 1,398,184円

区 分	平成28年度	平成29年度
指 定 校	10校	10校
補 助 金	1,298,313円	1,398,184円

(2) 現職研修委員会補助金 5,227,874円

区 分	平成28年度	平成29年度
校 内 研 修	1,940人	1,947人
ブ ロ ッ ク 研 修	12ブロック	12ブロック
研 究 部 等 研 修	36研究部	37研究部
基 本 研 修	353人	298人
特 別 研 修	海外派遣 2	海外派遣 1
補 助 金	6,855,327円	5,227,874円

[指 標]



2 教育会館管理運営事業費 94,161,775円 (学校教育課)

[総括]

教職員の研修、教育情報の収集、教育機器・教材の提供及び情報教育の場としての機能を果たすとともに、教育相談や就学相談を行い学校や家庭での問題に対応した。また、教員免許状更新講習を引き続き実施し、教育の実情に即した講習内容とすることにより教員の資質の向上を図るとともに、受講者の事務手続等の負担軽減を行った。今後も教職員のニーズを的確に把握し、施設を有効に利用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理等運営事業費 13,115,734 円

[利用状況]

区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
開 館 日 数	359日	359日	0.0%
教 職 員 施 設 利 用 者 数	延 24,031人	延 21,829人	△ 9.2
一 般 施 設 利 用 者 数	延 12,910	延 11,921	△ 7.7
計	延 36,941	延 33,750	△ 8.6

[各種活動]

区 分	平成28年度	平成29年度
コ ン ピ ュ ー タ 研 修	162時間 参加人員 543人	156時間 参加人員 872人
視 聴 覚 教 育 研 究	研究活動、教材・資料の作成	研究活動、教材・資料の作成
教 材 等 貸 出 利 用	映像教材貸出 327本	映像教材貸出 343本

(2) 教職員研修事業費 4,621,755 円

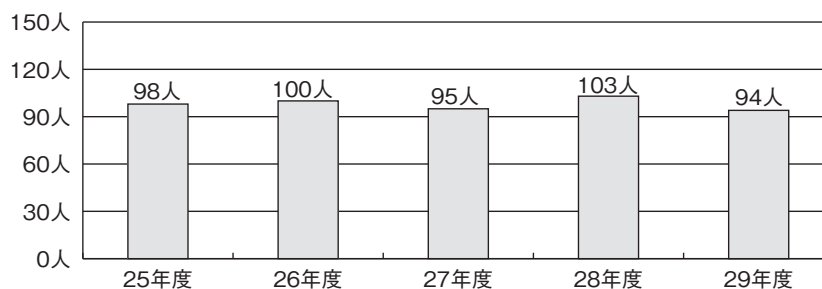
区 分	平成28年度	平成29年度
基 本 研 修	101回 参加人員 2,795人	100回 参加人員 2,839人
職 務 研 修	67 〃 2,440	64 〃 2,154
課 題 ・ 専 門 研 修	96 〃 4,169	90 〃 3,791
社 会 体 験 研 修 等	51か所 〃 54	57か所 〃 57

(3) 教員免許状更新講習事業費 449,938 円

内 容	平成28年度	平成29年度
	46講座 受講人員 195人	45講座 受講人員 168人

[指 標]

指 標 名：教育会館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 特色ある学校推進費 <特色ある学校づくりの推進>	9,755,859	0	0	0	9,755,859

1 学校づくり推進事業費 9,587,849円 (学校教育課)

[総括]

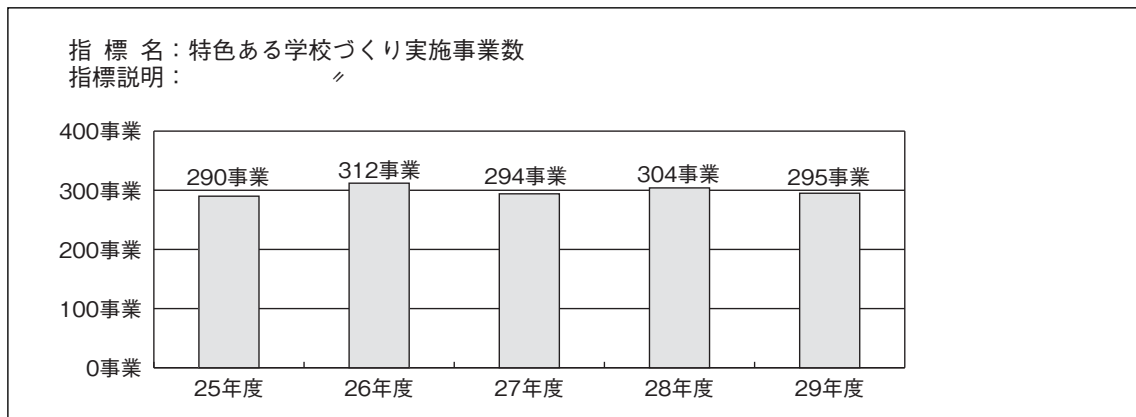
各学校が「生きる力」を育む特色ある学校づくりを主体的に推進し、豊かな心と実践力のある児童生徒を育成するため、学校行事や総合的な学習の時間等への支援を行った。平成29年度は市内の全小中学校が取り組むESD活動について全国に広く発信するために、ユネスコスクール豊橋大会を開催した。また、市内を流れる川の総称を「母なる豊川」とし、児童生徒や地域の人々が川の自然、川と人の関わりについて考え、川を大切にするための教育活動を実施した。今後も各学校の事業企画内容を評価・検討し、充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校づくり推進事業費 9,587,849円

区 分	平成28年度		平成29年度	
母なる豊川活用事業費	参加校	33校	参加校	25校
特色ある学校づくり推進事業費補助金	74校	9,845,880円	74校	8,800,473円
ユネスコスクール豊橋大会	—		参加人数	1,010人

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 教育環境充実費 <教育環境の整備・充実>	245,433,622	5,148,000	0	1,500,000	238,785,622

1 私学振興事業費 45,738,800円 (教育政策課)

[総括]

私立学校等の運営の円滑化及び教育環境の向上をめざし、学校規模に応じた運営費の補助を行った。また、私立学校に在籍する生徒の保護者負担を軽減するため、授業料に対して助成を行った。今後もこれらの施策の実施においては、国、県の動向を踏まえ、私立学校の教育的意義などを考慮した対応を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 私学運営費補助金 9,532,000円

区 分	平成28年度		平成29年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
私立高等学校(3校)	3,589人	6,184,460円	3,680人	6,680,000円
外国人学校(3校)	348	3,313,200	352	2,852,000
計	3,937	9,497,660	4,032	9,532,000

(2) 私立高等学校授業料補助金 34,136,100円

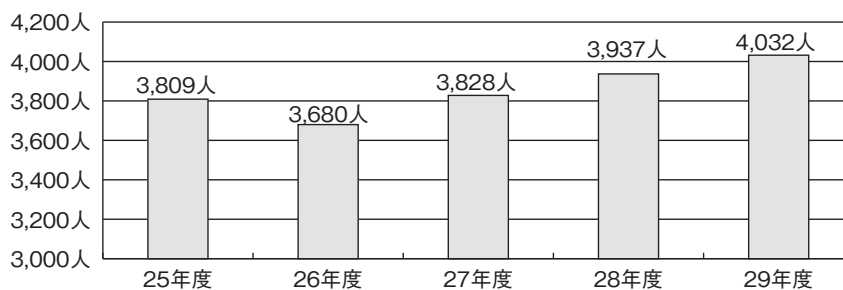
内 容	平成28年度		平成29年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	2,209人	34,076,750円	2,300人	34,136,100円

(3) 私立専修学校等授業料補助金 2,070,700円

内 容	平成28年度		平成29年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	159人	1,996,300円	162人	2,070,700円

[指標]

指標名：私立高等学校、外国人学校在籍者数
 指標説明：〃



4 奨学支援事業費

3,119,343 円（教育政策課）

[総括]

経済的に困難を抱えながらも夢の実現に向けて努力する学生を応援するため、返済不要の奨学金「豊橋未来応援奨学金」を創設した。初年度となる平成 29 年度は、新たに大学等へ進学した 10 人に対して奨学金の給付を開始し、将来を担う若者の進学を後押しした。

[実績及び成果]

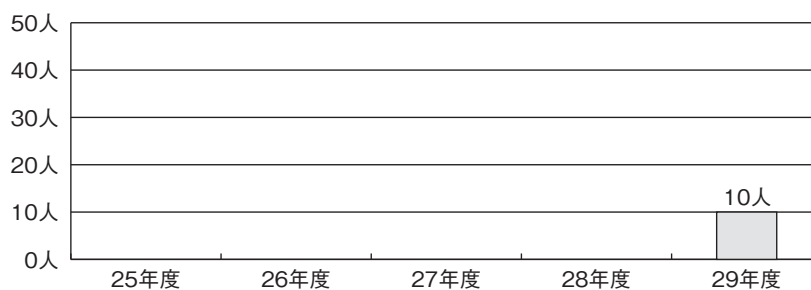
(1) 奨学金給付事業費

3,119,343 円

新規給付決定者数	平成 28 年度	平成 29 年度
	—	10人

[指標]

指標名：豊橋市未来応援奨学金の受給者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 市立学校教育活動推進費 ＜市立の強みを活かした教育の推進＞	388,099,261	1,396,804	0	78,080,319	308,622,138

1 くすのき特別支援学校教育推進事業費 173,721,932円 (教育政策課)

[総括]

きめ細やかな特別支援教育を実施するため、平成27年4月にくすのき特別支援学校を開校した。3年目となる29年度は、ハローワークをはじめとした関係機関との連携を強化するとともに、学校内に整備した農業実習施設「和(なごみ)ハウス」での農作業実習を行うなど、就労支援体制の充実を図ったことにより、職業コースの卒業生全員が一般就労することができた。また、豊橋市・田原市における特別支援教育のセンター的機能として設置した「くすのき相談センター」では、関係機関と連携しながら相談事業を進めており、相談件数は着実に増加している。今後も、すべての子どもたちが自立し、地域社会でたくましく生きることができるよう、教育環境の向上とともに、就労支援に重点を置いた学校づくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 101,439,647円 (5月1日現在)

区 分	平成28年度	平成29年度
学 級 数	44学級	48学級
児 童 ・ 生 徒 数	221人	243人

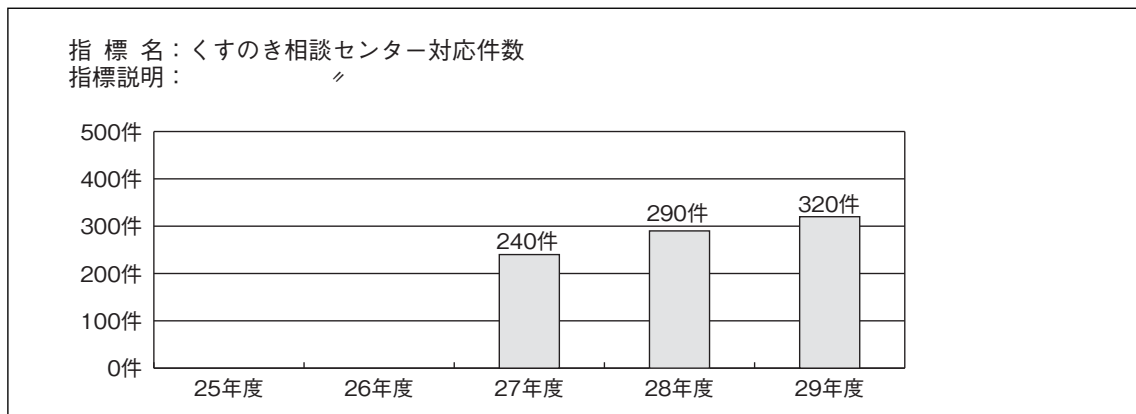
[施設整備]

内 容	平成28年度	平成29年度
	一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 60,415,672円

区 分	平成28年度	平成29年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	748冊	1,286冊
校務・学習・図書管理用コンピュータ費	116台 9,710,280円	120台 10,114,200円
企業向け学校見学会実施回数	3回	6回
専門分野における高等学校との共同学習実施回数	5	6
就労支援におけるサテライト実習実施回数	17	15

[指 標]



2 市立高等学校教育推進事業費 126,166,103 円（教育政策課）

〔総括〕

働きながら学ぶことができる学校としての教育環境づくりを進めた。特に、発達障害や不登校の生徒に対応するため、心理カウンセラーによる心のケアの充実を図ったほか、進学、就職に向けてキャリア教育を実施した。また、転落防止手摺設置工事を実施し、生徒の安全対策を講ずるとともに、寄附金を活用して ICT 機器等を整備し、教育環境の充実を図った。今後も、生徒一人ひとりの個性を伸ばすとともに、自ら学ぶ主体性を確立させるなど特色ある教育内容の充実を図り、東三河の定時制高校の中心的役割を果たしていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 10,954,268 円 (5月1日現在)

区 分	平成28年度	平成29年度
学 級 数	22学級	22学級
生 徒 数	691人	686人

〔施設整備〕

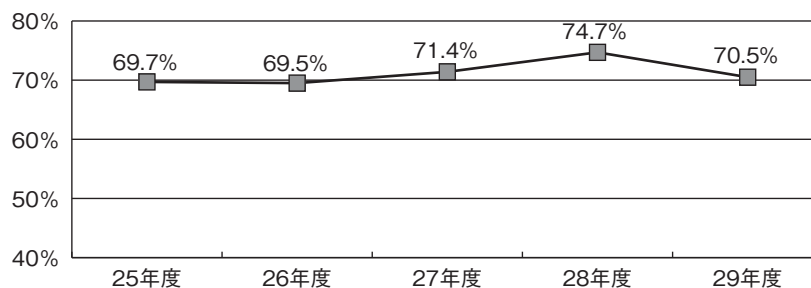
内 容	平成28年度	平成29年度
	校舎転落防止手摺設置工事 一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 72,952,000 円

区 分	平成28年度		平成29年度	
学校図書館蔵書数	7,003冊		7,268冊	
定時制教育教科書給与費	16人	68,215円	9人	43,640円
学習用コンピュータ費	42台	3,022,650	42台	2,716,416
心理カウンセラー相談開催日数	65日		65日	
キャリア教育研修開催回数	8回		10回	
外国人生徒教育支援日数	211日		213日	
ICT機器等購入費	—		10,002,508円	

〔指標〕

指標名：市立高等学校卒業資格取得率
 指標説明：卒業生数／入学者数



3 家政高等専修学校教育推進事業費 88,211,226 円（教育政策課）

[総括]

服飾・調理に関する専門的な知識・技能の習得や、生涯を通じて必要な教養を深めることをめざした教育活動を展開した。進路指導においては、生徒一人ひとりの個性や将来に対する夢を尊重したきめ細かい支援を行い、就職・進学率の向上を図った。とりわけ、キャリア教育研修においては、体験活動を伴う実地見学や講師を招いた実践的な講座に力を入れた。また、心理カウンセラーを活用した専門的な見地からの支援にも取り組み、学校生活や進路選択での不安や悩みへの対処のみならず、自己理解やコミュニケーションスキルの向上に取り組んだ。今後も次代を担う人材育成のため、教育環境の向上や教育内容の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 11,176,898 円 (5月1日現在)

区 分	平成28年度	平成29年度
学 級 数	3学級	3学級
生 徒 数	103人	101人

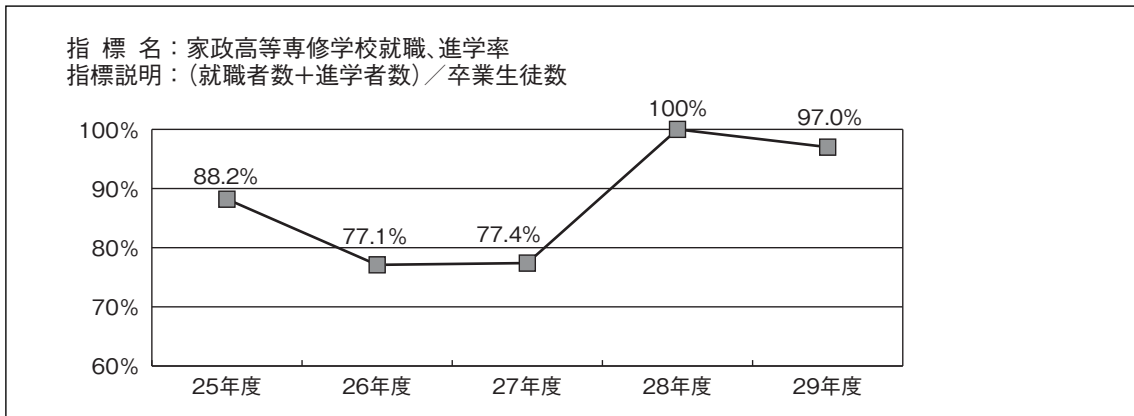
[施設整備]

内 容	平成28年度	平成29年度
	一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 24,739,465 円

区 分	平成28年度	平成29年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	2,556冊	2,585冊
学 習 用 コ ン ピ ュ ー タ 費	41台 2,199,960円	41台 2,199,960円
心 理 カ ウ ン セ ラ ー 相 談 開 催 日 数	20日	20日
キ ャ リ ア 教 育 研 修 開 催 回 数	10回	10回

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 科学教育施設費 <科学教育環境の充実>	212,235,782	0	0	775,863	211,459,919

1 自然史博物館施設管理事業費 141,260,010 円 (自然史博物館)

[総括]

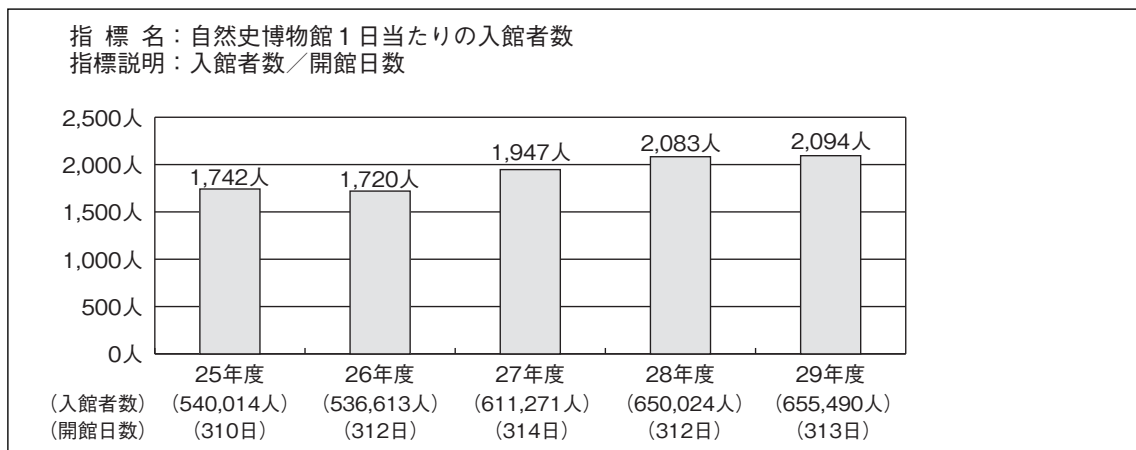
開館より29年経過した施設・設備の機能を計画的に維持・充実するため、屋上防水等改修工事、事務室及び学習室1空調設備取替修繕、中生代展示室恐竜CG演出用機器取替修繕、エレベータ1号機及び2号機修繕、ピカイアチェックラリースerverハードディスク取替修繕などを行い、入館者の安全性・利便性・快適性の向上を図った。今後も来館者サービスの向上のため、設備・展示物等の更新を含め適正な施設管理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 52,458,697 円

区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
開 館 日 数	312日	313日	0.3%
入 館 者 数	延 650,024人	延 655,490人	0.8

[指 標]



2 石巻自然科学資料館運営事業費 465,242 円 (自然史博物館)

[総括]

石巻山周辺の自然を観察するためのビジターセンターとして、この地域で観察できる地質と動植物等を紹介している。また、「石巻山自然観察路マップ」を配布し、利用者の利便性の向上を図った。今後も広範囲な利用者の確保と施設のPR活動に努めていく。

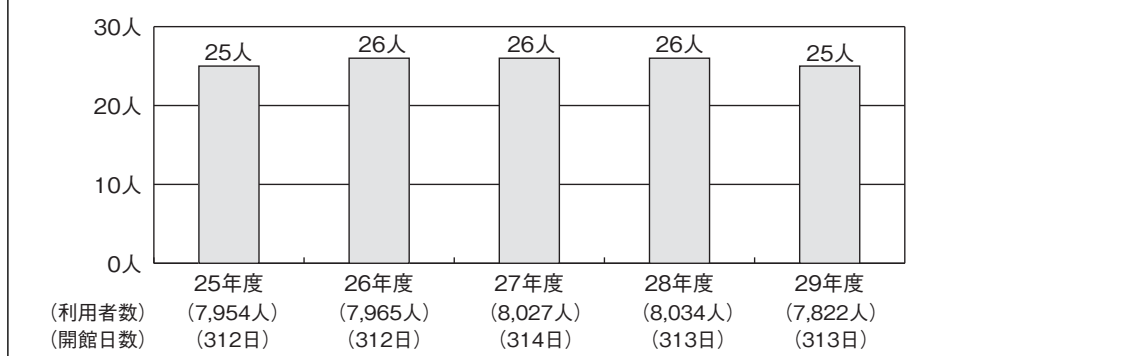
[実績及び成果]

(1) 石巻自然科学資料館運営事業費 465,242 円

区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
開 館 日 数	313日	313日	0.0%
利 用 者 数	延 8,034人	延 7,822人	△ 2.6

[指標]

指標名：石巻自然科学資料館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



3 科学教育センター施設管理事業費 70,510,530 円 (科学教育センター)

[総括]

視聴覚教育センター及び地下資源館の適正な管理運営に努めるとともに、老朽化した施設・設備等の維持補修を行った。また、視聴覚教育センターでは照明器具のLED化を進めるとともに、プラネタリウム室内の床面や駐車場の歩道を整備し、来館者の利便性及び安全性を高めた。地下資源館では、冷房設備用冷却水ポンプを取り替え来館者の快適性向上に努めた。今後も教育環境の計画的な整備を行い、両施設の利用促進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 視聴覚教育センター施設管理事業費 19,112,677 円

[利用状況]

区分	平成28年度	平成29年度	比較
開館日数	311日	311日	0.0%
入館者数	延 87,711人	延 82,180人	△ 6.3

[施設整備]

内容	平成28年度	平成29年度
	施設内照明器具のLED化 公衆無線LAN環境の整備	施設内照明器具のLED化 駐車場歩道の整備等

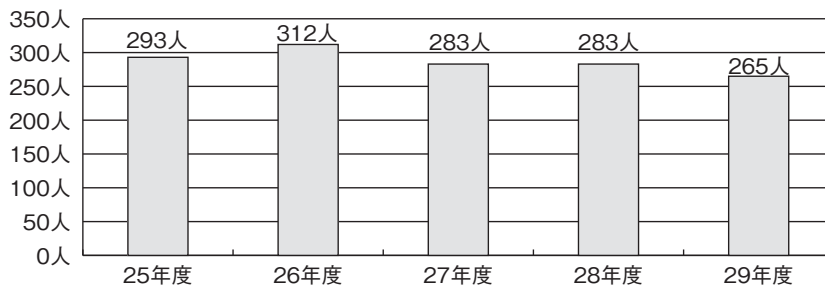
(2) 地下資源館施設管理事業費 14,030,556 円

[施設整備]

内容	平成28年度	平成29年度
	—	冷房設備用冷却水ポンプ取替修繕

[指 標]

指 標 名：視聴覚教育センター1日当たりの入館者数
指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 科学教育推進費 ＜自然科学を学ぶ機会の充実＞	54,288,136	0	0	15,235,760	39,052,376

1 自然史博物館事業費 34,658,275 円 (自然史博物館)

[総括]

自然に親しみ、正しい知識を深め、大切にすることを目的に、自然科学に関する常設展示に加え、資料収集、調査研究活動に取り組んだほか、特別企画展「武器甲虫－クワガタ、カブトの進化を探る－」を開催した。また、大型映像システムによる「ガラパゴス」、「ティラノサウルス」、「ジュラシックヒーローズ」等の上映、ワークショップ、解説会、企画展等の教育普及活動を実施した。今後も博物館としての魅力向上につながる事業を実施し、のんほいパーク 100 万人プロジェクトを推進していく。

[実績及び成果]

(1) 教育普及活動事業費 23,838,663 円

区 分	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度	
ワークショップ等	21回	参加人員 815人	20回	参加人員 511人
解説会	11	〃 256	14	〃 474
出前授業等	67	〃 1,989	79	〃 2,478
大型映像	955	観覧者数 27,268	1,039	観覧者数 31,329
企 画 展	「ミニ水族館」 会期中の入館者数 22,169 28.7.23～8.7 (14日間)		「ボランティアが作った科学教材」 会期中の入館者数 149,552 29.4.22～6.4 (39日間)	
	「極小昆虫と微小貝」 〃 31,291 28.11.19～12.11 (20日間)		「丸山隆写真展 ホンドテン」 〃 29,317 29.11.18～12.10 (20日間)	
	「酉にちなむ」 〃 35,848 28.12.17～29.1.15 (23日間)		「戌－イヌにちなむ－」 〃 37,939 29.12.16～30.1.14 (23日間)	
	「平成28年度自然史博物館新蔵標本」 〃 54,781 29.3.11～3.31 (18日間)		「自然史博物館新蔵標本」 〃 55,026 30.3.10～3.31 (20日間)	

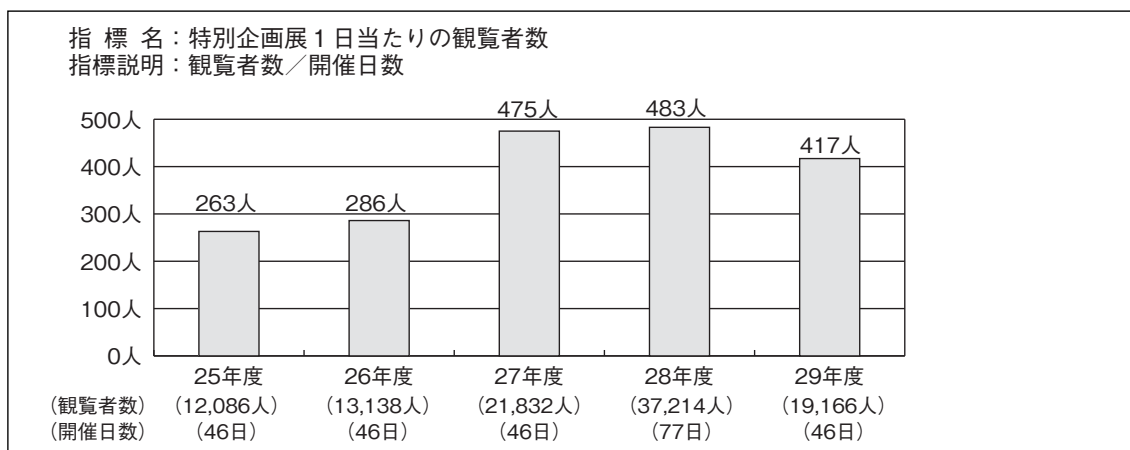
(2) 資料収集・調査研究活動事業費 2,794,080 円

区 分	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度	
博物館資料	製作委託	鳥類等の剥製骨格標本製作 7点	鳥類等の剥製骨格標本製作 5点	
	採集・寄贈	5,158点 (総数 531,705点)	1,233点	(総数 532,938点)
	図書等	856冊 (総数 40,941冊)	1,052冊	(総数 41,993冊)
研究発表(調査研究)	73件		45件	

(3) 特別企画展開催事業費 8,025,532 円

区 分	平成28年度	平成29年度
特 別 企 画 展	「メガ恐竜展 in 豊橋」	「武器甲虫-クワガタ、カブトの進化を探る-」
	28.7.15～10.10 (77日間)	29.7.14～9.3 (46日間)
	展示数 93点 観覧者数37,214人	展示数 約6,000点 観覧者数19,166人
関 連 行 事	1. 記念講演会「竜脚類 巨大化の謎」 参加人員 106人	1. 記念講演会「クワガタ・カブトの系統進化」 参加人員 56人
	2. 記念講演会「剣竜類の板と棘の謎」 〃 89	2. 記念講演会「性決定遺伝子で探る甲虫の武器」 〃 58
	3. 恐竜色塗り・イラストコンテスト 応募総数 1,068点	3. クワガタ・カブト観察会 (4回) 〃 88

[指 標]



2 科学教育センター事業費 19,629,861 円 (科学教育センター)

[総 括]

視聴覚教育センターでは、わくわく体験活動での実験学習、プラネタリウム学習や展示学習による児童の科学能力の向上、さらに市民への学習教室（ワークショップ、ICT 講座、ゆめたまご科学講座、星空観望会など）の開催など最先端の科学情報等の提供に努めた。地下資源館では、資源やエネルギーをはじめとした科学を楽しむことを目的に、市民への学習教室（おもしろサイエンスの日、ワークショップ、実験ショーなど）を開催するとともに、名古屋大学及び豊橋技術科学大学との連携による出前授業を開催した。今後もサイエンス・ボランティアの協力を得ながら、子どもから大人まで楽しめる魅力ある行事を開催し、みんなの科学基地として自然科学を学ぶ機会の充実を図っていく。

(1) 視聴覚教育センター事業費 18,293,060 円

[各種活動]

区 分	平成28年度		平成29年度	
わくわく体験活動(小学校4年生)	5月～12月	参加人員 3,511人	5月～10月	参加人員 3,648人
プラネタリウム投映	645回	観覧者数22,628	665回	観覧者数21,768
学 習 教 室	5月～3月(38回)	参加人員 1,230	5月～3月(62回)	参加人員 1,928
星 空 観 望 会	7月～3月(4)	〃 262	7月～3月(7)	〃 801
展 示 会	2月～3月	入場者数10,986	7月～9月	入場者数20,528
市制施行110周年記念事業	5月～3月(10回)	参加人員 1,456	—	

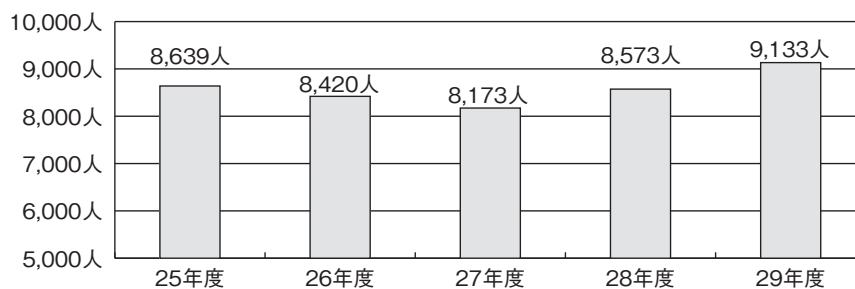
(2) 地下資源館事業費 1,336,801 円

[各種活動]

区 分	平成28年度		平成29年度	
学 習 教 室	4月～3月(288回)	参加人員 8,573人	4月～3月(285回)	参加人員 9,133人
巡 回 展	7月～10月	入場者数28,882	—	
資源をくらしに生かす 創 意 工 夫 展	28.10.8～11.6(26日間) 展示点数783点 〃 12,742		10.14～11.12(26日間) 展示点数751点 入場者数10,755	

[指 標]

指 標 名：実験・講座等参加者数(地下資源館)
指 標 説 明：年間の実験・講座等参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 小 学 校 費	4,725,211,524	760,417,234	2,422,700,000	41,252,733	1,500,841,557
1目 教育環境整備費 <教育環境の整備・充実>	4,725,211,524	760,417,234	2,422,700,000	41,252,733	1,500,841,557

1 小学校管理事業費 282,950,954 円 (教育政策課)

[総括]

小学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算を導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

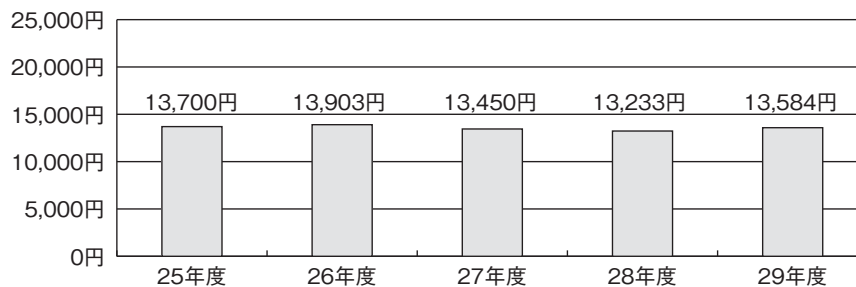
[実績及び成果]

(1) 管理事業費 282,950,954 円 (5月1日現在)

区 分	平成28年度	平成29年度
学 校 数	52校	52校
学 級 数	821学級	837学級
児 童 数	21,041人	20,830人

[指 標]

指 標 名：児童1人当たりの管理費
 指標説明：管理費／児童数(年間数値)



2 小学校教育推進事業費

276,673,983 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

児童の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市により共同で開始し、教師が児童と向き合う時間の確保を図った。また、児童が環境問題に関心を持てるよう全校で緑のカーテンを設置した。今後も更なる教育環境の向上に向けて取組みを進めていく。

[実績及び成果]

(1) 教育活動事業費 204,168,589 円

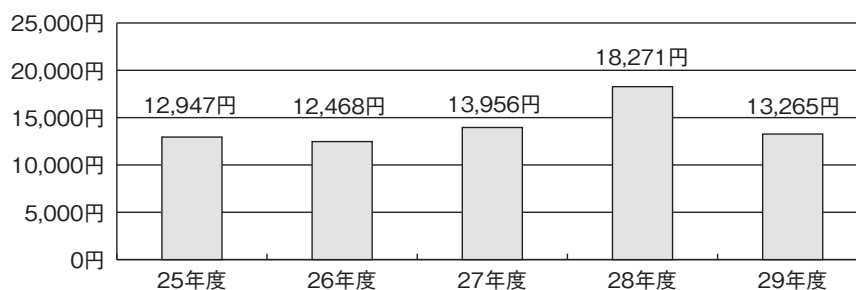
区 分	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
学校図書館蔵書数	457,474冊	464,292冊
学校新聞発行部数	年2回以上(全世帯配布または回覧) 147,800部	年2回以上(全世帯配布または回覧) 147,279部
学校評議員数	392人	390人
緑のカーテン設置数	52校	52校
木製下駄箱購入数	79台	—
木製教壇購入数	81	—

(2) 情報管理システム管理運営事業費 72,505,394 円

区 分	平成 2 8 年度		平成 2 9 年度	
校務用コンピュータ費	1,214台	31,149,037円	1,214台	31,921,735円
校務支援システム費	1,214	109,440,903	1,214	40,583,659

[指標]

指標名：児童1人当たりの事業費
 指標説明：直接事業費／児童数(年間数値)



3 小学校校舎等増改築事業費 621,186,138 円（教育政策課）

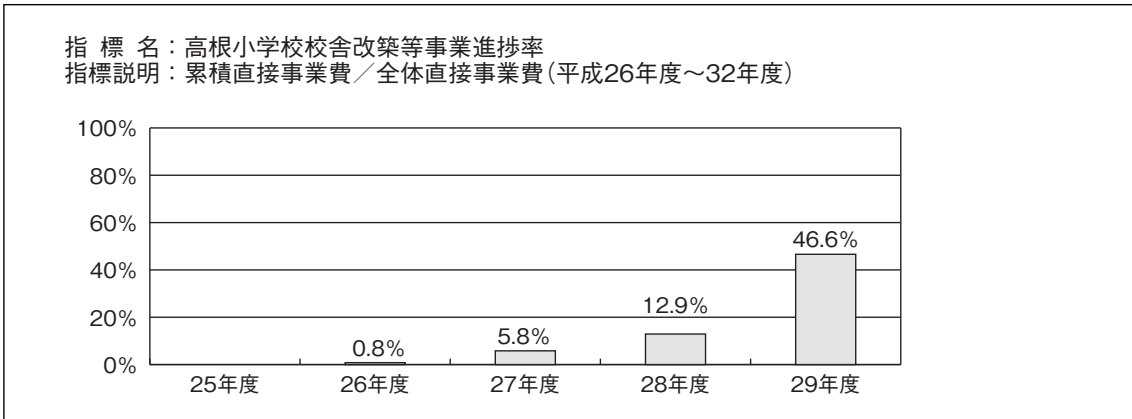
[総括]

高根小学校では、児童数増加に伴う学校施設の狭あい化及び施設老朽化に対応するため、屋内運動場改築工事が完了し、校舎改築のⅠ期工事を行った。

[実績及び成果]

- (1) 高根小学校校舎改築等事業費 621,186,138 円
 - (ア) 校舎改築工事（Ⅰ期） 293,045,000 円
3か年継続事業の2年度 総事業費 990,000,000 円
 - (イ) 屋内運動場棟改築工事（Ⅱ期） 286,018,099 円
2か年継続事業の最終年度 総事業費 407,022,124 円
 - (ウ) 外構工事等 42,123,039 円

[指標]



※平成29年度の全体事業費にて、26年度から再算定

4 小学校校舎等長寿命化改良事業費 1,176,617,110 円（教育政策課）

[総括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、松葉小学校はじめ2校の校舎の改修を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 松葉小学校校舎改良事業費 231,583,940 円
 - (ア) 北校舎長寿命化改良工事（Ⅰ期） 189,687,940 円
3か年継続事業の2年度 総事業費 541,800,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,509㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の設置 41,896,000 円

- (2) 津田小学校校舎改良事業費 166,347,230 円
 (ア) 校舎長寿命化改良工事（I期） 132,770,000 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 409,600,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建	2,503㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の設置等 33,577,230 円
 (3) 岩田小学校屋内運動場改良事業費 170,502,840 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,073㎡	外部・内部改修

- (4) 植田小学校屋内運動場改良事業費 150,800,940 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	840㎡	外部・内部改修

- (5) 牛川小学校屋内運動場改良事業費 153,174,240 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	840㎡	外部・内部改修

- (6) 多米小学校屋内運動場改良事業費 150,598,440 円

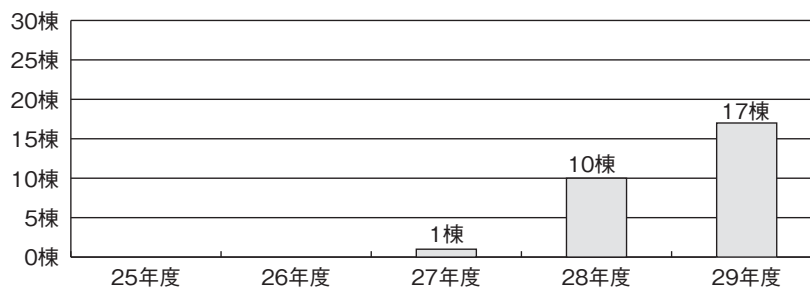
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	840㎡	外部・内部改修

- (7) 石巻小学校屋内運動場改良事業費 153,609,480 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	840㎡	外部・内部改修

[指 標]

指 標 名：長寿命化改良工事実施延棟数
 指標説明：〃



5 小学校校舎等大規模改造事業費 1,510,317,700 円（教育政策課）

[総括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、大村小学校はじめ5校の校舎、また、豊小学校はじめ4校の屋内運動場の改修を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 大村小学校校舎改造事業費 194,049,120 円
 (ア) 校舎大規模改造工事（I期） 148,810,512 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 392,900,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,854㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の設置等 45,238,608 円
 (2) 吉田方小学校校舎改造事業費 141,854,587 円
 (ア) 校舎大規模改造工事（I期） 124,606,987 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 346,100,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,796㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の設置 17,247,600 円
 (3) 大崎小学校校舎改造事業費 203,690,720 円
 (ア) 校舎大規模改造工事（I期） 170,041,312 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 466,900,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,049㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の設置等 33,649,408 円
 (4) 天伯小学校校舎改造事業費 216,839,760 円
 (ア) 校舎大規模改造工事（I期） 167,617,720 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 483,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,974㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の設置等 49,222,040 円
 (5) 芦原小学校校舎改造事業費 186,037,873 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	990㎡	外部・内部改修

(6) 豊小学校屋内運動場改造事業費 143,648,640 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	840㎡	外部・内部改修

(7) 東田小学校屋内運動場改造事業費 143,571,960 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	840㎡	外部・内部改修

(8) 牟呂小学校屋内運動場改造事業費 140,177,520 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	840㎡	外部・内部改修

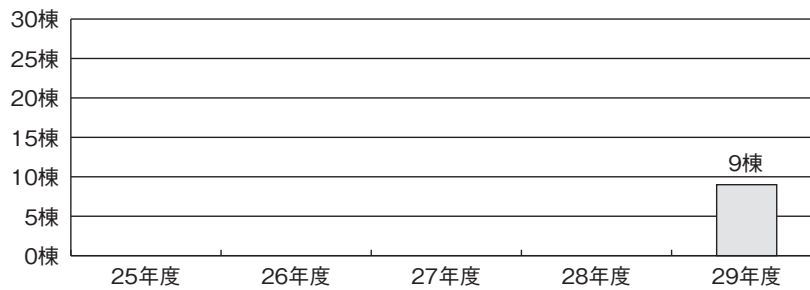
(9) 幸小学校屋内運動場改造事業費 140,447,520 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	840㎡	外部・内部改修

[指 標]

指 標 名：大規模改造工事実施延棟数(平成27年度以降)

指標説明：
〃



6 小学校環境整備事業費

466,972,801 円（教育政策課）

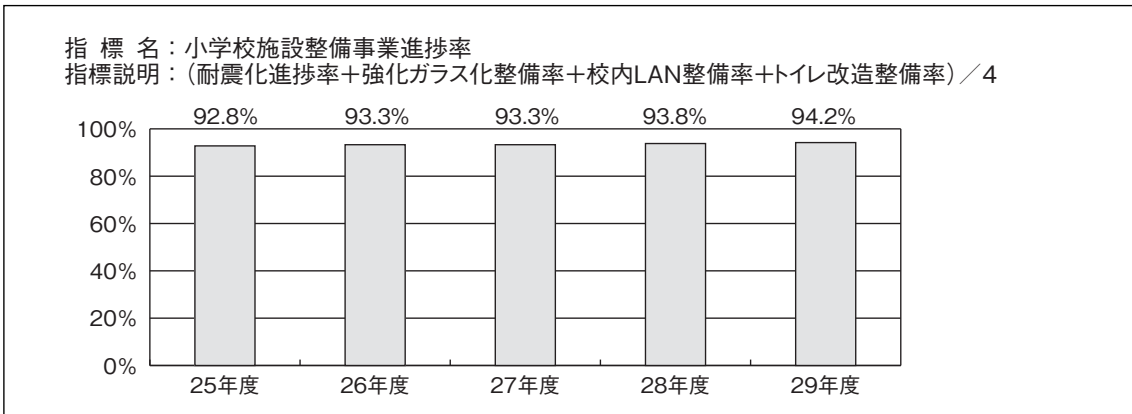
[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、3校で非構造部材耐震対策工事（外壁改修等）を実施したほか、5校で今後実施予定である校舎等の長寿命化改良工事等の実施設計を行った。また、環境教育の教材として、野依小学校にペレットストーブを設置したほか、1校に大型木製遊具を整備した。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全を図っていく。

[実績及び成果]

区 分	平成28年度	平成 29 年 度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	349,118,646円		
非構造部材耐震対策工事 (外壁改修等)	7校	3校	牟呂、牛川、磯辺
トイレ改造工事	1	1	野依
長寿命化改良事業等 実 施 設 計	5	5	松葉、天伯、津田、芦原、西郷
ペレットストーブ設置	1	1	野依
防犯カメラ設置	3	3	羽根井、植田、下条
防火扉改修工事等	15	11	豊、旭、栄、芦原、野依、牟呂、下地、 汐田、幸、つつじが丘、磯辺
計	26	19	
(2) 運動場等整備事業費	11,293,113円		
木製遊具設置	4校	1校	野依
校庭芝生整備等	1	1	豊
計	5	2	
(3) プール施設整備事業費	15,181,236円		
プール槽防水工事等	6校	3校	向山、杉山、玉川
プール付属屋外壁等改修工事	4	4	西郷、老津、松葉、栄
計	8	7	
(4) 一般補修事業費	91,379,806円		
	52校	52校	全校

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 中 学 校 費	1,746,103,246	239,668,366	694,600,000	19,633,597	792,201,283
1目 教育環境整備費 <教育環境の整備・充実>	1,746,103,246	239,668,366	694,600,000	19,633,597	792,201,283

1 中学校管理事業費 194,909,160円 (教育政策課)

[総括]

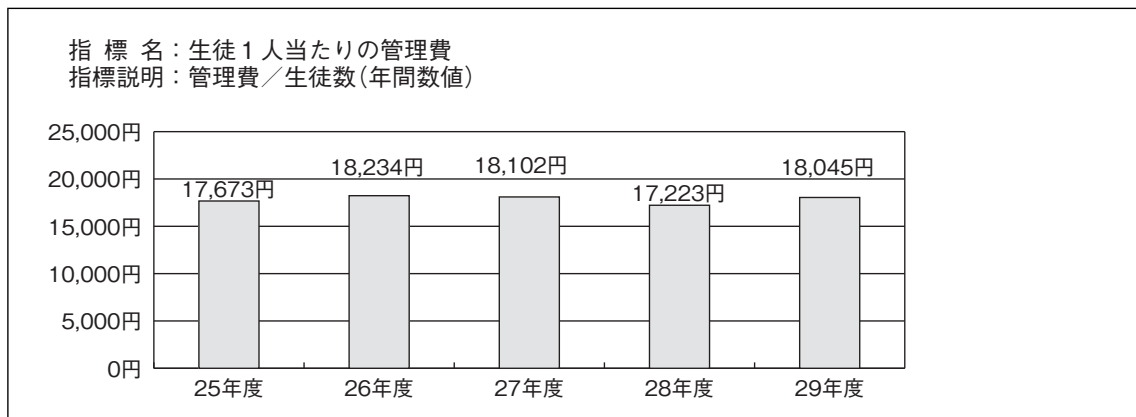
中学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 194,909,160円 (5月1日現在)

区 分	平成28年度	平成29年度
学 校 数	22校	22校
学 級 数	368学級	361学級
生 徒 数	10,985人	10,801人

[指標]



2 中学校教育推進事業費

181,793,426 円（教育政策課・学校教育課）

〔総括〕

生徒の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市により共同で開始し、教師が生徒と向き合う時間の確保を図った。また、生徒が環境問題に関心を持てるよう全校で緑のカーテンを設置したほか、中学校5校に木製下駄箱を、4校に木製教壇を導入した。今後も更なる教育環境の向上に向けて取組みを進めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 教育活動事業費

146,625,751 円

区 分	平成28年度	平成29年度
学校図書館蔵書数	318,187冊	320,096冊
学校新聞発行部数	年2回以上(全世帯配布または回覧) 124,066部	年2回以上(全世帯配布または回覧) 121,050部
学校評議員数	157人	157人
緑のカーテン設置数	22校	22校
木製下駄箱購入数	—	97台
木製教壇購入数	—	42

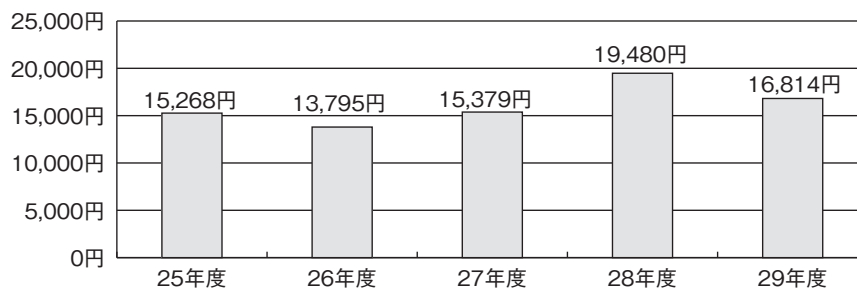
(2) 情報管理システム管理運営事業費

35,167,675 円

区 分	平成28年度		平成29年度	
校務用コンピュータ費	731台	17,670,755円	731台	17,997,665円
校務支援システム費	731	26,637,656	731	17,170,010

〔指標〕

指標名：生徒1人当たりの事業費
 指標説明：直接事業費／生徒数(年間数値)



3 中学校校舎等長寿命化改良事業費 334,588,492 円（教育政策課）

[総括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、羽田中学校の校舎及び北部中学校の屋内運動場の改修を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 羽田中学校校舎改良事業費 154,806,292 円
 - (ア) 校舎長寿命化改良工事（I期） 115,224,400 円
 - 3か年継続事業の2年度 総事業費 313,500,000 円

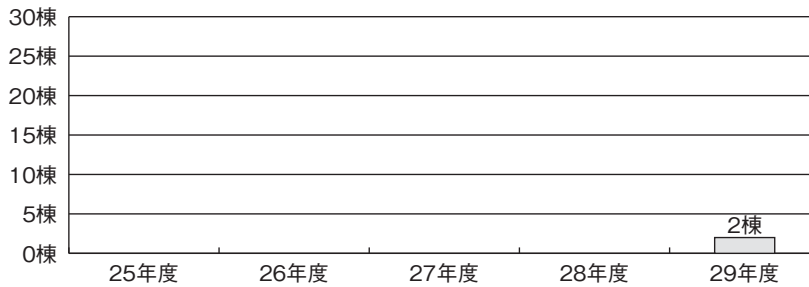
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	1,909㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の設置等 39,581,892 円
- (2) 北部中学校屋内運動場改良事業費 179,782,200 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,048㎡	外部・内部改修

[指標]

指標名：長寿命化改良工事実施延棟数
 指標説明：〃



4 中学校校舎等大規模改造事業費 606,770,760 円（教育政策課）

[総括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、南部中学校はじめ3校の校舎の改修を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 南部中学校校舎改造事業費 194,483,560 円
 - (ア) 校舎大規模改造工事（I期） 169,169,000 円
 - 3か年継続事業の2年度 総事業費 521,400,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,809㎡

- (イ) 仮設校舎の設置 25,314,560 円
- (2) 石巻中学校校舎改造事業費 222,990,720 円
 - (ア) 校舎大規模改造工事（I期） 190,043,000 円
 - 3か年継続事業の2年度 総事業費 513,200,000 円

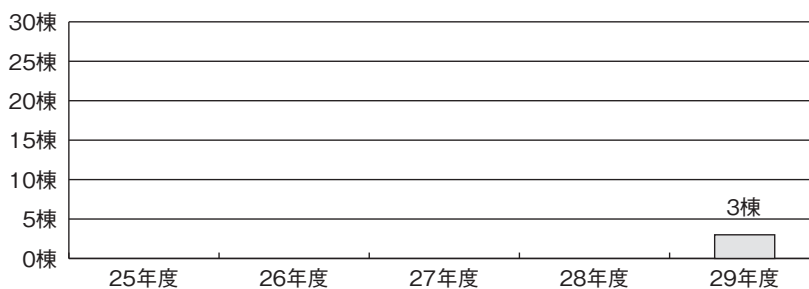
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造4階建	3,341㎡

- (イ) 仮設校舎の設置等 32,947,720 円
- (3) 五並中学校校舎改造事業費 189,296,480 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造3階建	1,152㎡

[指標]

指標名：大規模改造工事実施延棟数(平成27年度以降)
 指標説明： //



5 中学校環境整備事業費

262,372,218 円（教育政策課）

〔総括〕

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、11校で非構造部材耐震対策工事（外壁改修等）を実施したほか、3校で今後実施予定である校舎等の長寿命化改良工事等の実施設計を行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全を図っていく。

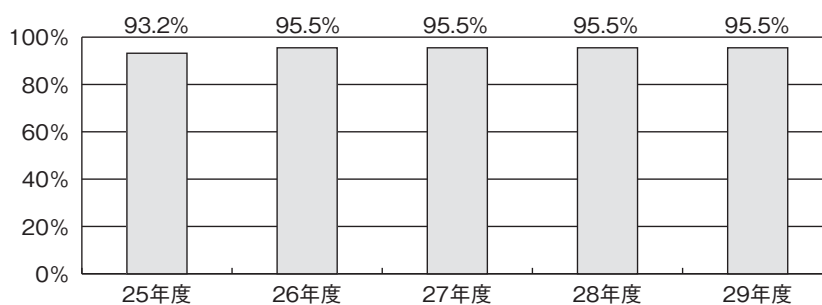
〔実績及び成果〕

区 分	平成28年度	平成 29 年 度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費		194,737,400円	
非構造部材耐震対策工事 （外壁改修等）	3校	11校	高師台、南稜、本郷、五並、石巻、南陽、 牟呂、中部、高豊、豊城、南部
長寿命化改良事業等 実 施 設 計	2	3	章南、羽田、五並
電気設備改修工事等	3	4	豊岡、高師台、東陵、五並
計	7	14	
(2) プール施設整備事業費		24,801,336円	
プール槽防水工事等	2校	4校	南部、東陵、牟呂、本郷
プール付属屋外壁等改修工事	2	2	高師台、豊岡
計	3	6	
(3) 一般補修事業費		42,833,482円	
	22校	22校	全校

〔指標〕

指標名：中学校施設整備事業進捗率

指標説明：(耐震化進捗率+強化ガラス化整備率+校内LAN整備率+トイレ改造整備率)÷4



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 社会教育費	1,768,581,504	148,547,000	45,000,000	133,883,464	1,441,151,040
2目 生涯学習機会充実費 <生涯学習機会の充実>	356,861,857	0	18,600,000	27,478,955	310,782,902

1 生涯学習推進事業費 2,883,973円 (生涯学習課)

[総括]

多様化する市民の学習ニーズに対応するため、引き続き市内3大学や東三河市町と連携した講座を開催するとともに、地域の課題解決に向け、防災などをテーマとした講座を開催した。また、生涯学習情報紙の発行などを通して、生涯学習の普及・啓発を図るとともに、活動者の発表機会を設けるなど、生涯学習活動の振興に努めた。今後多彩な学習機会の提供に向けた取組みを図っていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習市民大学事業費 2,310,190円

区 分	平成28年度			平成29年度			
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	開催場所
一 般 コ ー ス	63	2,133人	297回	38	1,062人	177回	地区市民館ほか
高 齢 者 コ ー ス	23	1,684	156	23	1,385	144	〃

(2) 生涯学習活動事業費 573,783円

(ア) 生涯学習情報紙等発行事業費 432,000円

発 行 部 数	平成28年度	平成29年度
		年2回 (公共施設等配布) 延 20,000部

(イ) 大清水まなび交流館活動発表等 29,100円

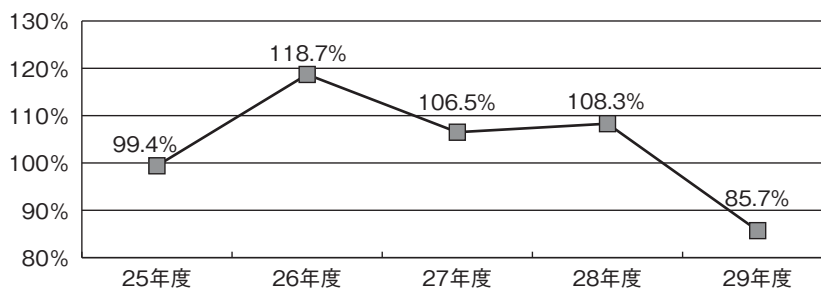
参 加 者	平成28年度	平成29年度
		1,400人

(ウ) 生涯学習活動推進大会開催事業費 112,683円

参 加 者	平成28年度	平成29年度
		350人

[指 標]

指 標 名：生涯学習市民大学定員充足率
指 標 説 明：参加者数／募集定員



2 地区市民館管理運営事業費 243,764,354 円（生涯学習課）

〔総括〕

市民の生涯学習施設として利用されている地区市民館を指定管理者とともに適切に管理・運営をし、利用促進に努めた。今後も市民ニーズを把握しながら施設や設備等の充実を図っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 地区市民館管理運営事業費（22 館） 243,764,354 円

〔利用状況〕

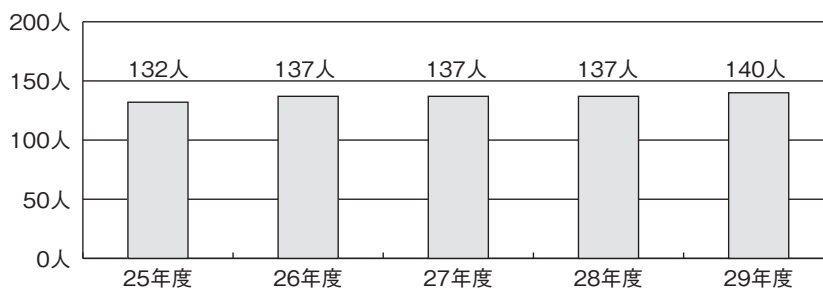
区 分	平成 2 8 年度			平成 2 9 年度			比 較 (延利用人員)
	延件数	延利用人員	延図書貸出	延件数	延利用人員	延図書貸出	
二川地区市民館	1,962	73,565	43,695	1,895	70,561	39,707	△ 4.1
豊岡	1,337	30,470	2,030	1,284	26,119	1,663	△14.3
東陽	1,501	42,967	4,561	1,542	44,209	4,560	2.9
南稜	2,107	50,544	—	2,129	91,839	—	81.7
青陵	2,240	81,639	52,905	2,262	81,931	51,503	0.4
杉山	1,016	23,621	896	983	22,201	635	△ 6.0
石巻	1,467	52,945	18,501	1,465	51,160	18,538	△ 3.4
羽根井	1,800	29,197	586	1,645	26,944	472	△ 7.7
吉田方	1,288	25,145	867	1,298	25,864	849	2.9
五並	483	15,327	698	418	11,021	682	△28.1
牟呂	1,583	54,018	11,641	1,587	53,837	10,514	△ 0.3
高豊	698	16,099	485	664	15,119	435	△ 6.1
北部	1,638	34,241	7,699	1,538	31,438	7,400	△ 8.2
南部	1,737	63,899	27,362	1,735	65,589	27,965	2.6
豊城	1,985	47,490	2,079	1,904	44,473	1,417	△ 6.4
中部	1,390	30,292	2,014	1,533	33,113	1,525	9.3
高師台	1,756	38,870	3,139	1,724	39,082	2,983	0.5
東部	1,282	32,405	1,459	1,285	29,716	1,144	△ 8.3
東部地区市民館飯村分館	3,810	76,153	2,626	3,516	68,933	2,607	△ 9.5
南陽地区市民館	1,444	24,702	825	1,384	26,435	956	7.0
本郷	1,365	30,854	864	1,419	34,465	974	11.7
東陵	1,662	53,484	3,845	1,783	55,334	3,994	3.5
計	35,551	927,927	188,777	34,993	949,383	180,523	2.3

〔施設整備〕

内 容	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
	外壁改修等工事(石巻) 冷暖房機設置(東部、吉田方)	

[指 標]

指 標 名：地区市民館1館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／(開館日数×地区市民館数)



3 地区市民館整備事業費 6,174,360 円 (生涯学習課)

[総 括]

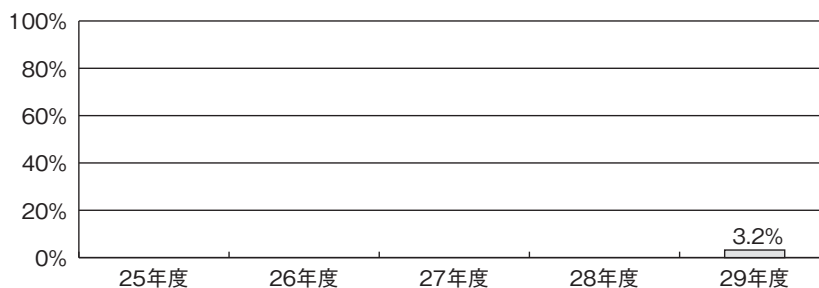
施設の長寿命化や安全で快適な施設利用を図るため、羽根井地区市民館の改修に向け実施設計を行った。今後も計画的に環境整備を行い、施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 地区市民館整備事業費 6,174,360 円
 - (ア) 大規模改修実施設計 (羽根井)

[指 標]

指 標 名：羽根井地区市民館整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成29年度～平成30年度)



4 青少年教育施設管理運営事業費 104,039,170 円（生涯学習課）

[総括]

青少年センターは、指定管理者による適正な管理運営を行うとともに、出張形式の防災啓発事業やスポーツ鬼ごっこ体験会などの自主事業を実施した。少年自然の家と野外教育センターは、施設の一体運営管理の推進による効率化を図った。今後も青少年団体等の活動拠点として、施設の利用促進に努める。

[実績及び成果]

(1) 青少年センター管理運営事業費 61,555,435 円

[利用状況]

区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
遊 戯 室	延 1,740人	延 1,453人	△16.5%
展 示 室	延 2,426	延 2,260	△ 6.8
研 修 棟	延 6,425	延 7,577	17.9
宿 泊 棟	延 487	延 545	11.9
運 動 広 場	延 4,989	延 6,322	26.7
体 育 室	延 15,171	延 14,646	△ 3.5
音 楽 室	延 4,273	延 4,499	5.3
大 研 修 室	延 6,840	延 9,882	44.5
そ の 他	延 10,776	延 10,196	△ 5.4
計	53,127	57,380	8.0

[施設整備]

内 容	平成28年度	平成29年度
	研修棟漏水修繕 中央棟プロパンガス転換修繕	

(2) 少年自然の家管理運営事業費 14,264,942 円

[利用状況]

区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
管 理 棟（日帰り）	延 6,463人	延 5,201人	△19.5%
宿 泊 棟	延 3,813	延 3,331	△12.6
キ ャ ン プ 場	延 446	延 678	52.0
計	10,722	9,210	△14.1

[施設整備]

内 容	平成28年度	平成29年度
	芝生広場野外トイレ取替修繕	

(3) 野外教育センター管理運営事業費 14,123,275 円

[利用状況]

区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
本 館（日帰り）	延 5,988人	延 5,093人	△14.9%
宿 泊 室	延 5,974	延 5,191	△13.1
計	11,962	10,284	△14.0

〔施設整備〕

内 容	平成28年度	平成29年度
	集会室床改修工事	給湯ボイラー取替修繕

(4) 神田ふれあいセンター管理運営事業費 3,387,518円

〔利用状況〕

内 容	平成28年度	平成29年度	比 較
利 用 者 数	延 2,812人	延 2,416人	△14.1%

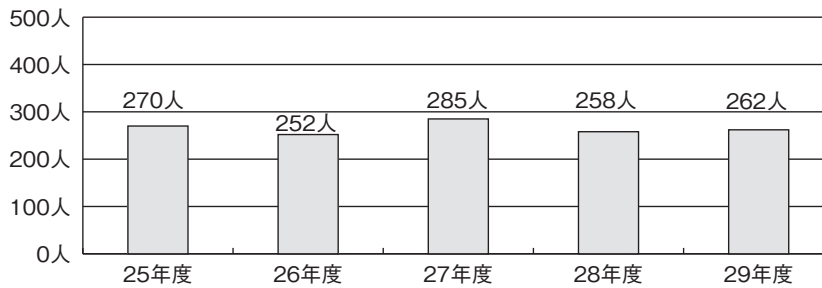
(5) 江比間野外活動センター管理負担金 10,708,000円

〔利用状況〕

区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
宿 泊 利 用	延 2,043人	延 2,093人	2.4%
日 帰 研 修	延 5,308	延 5,617	5.8
キ ャ ン プ 利 用	延 1,716	延 1,339	△22.0
内 豊 橋 市 利 用 人 数	延 994	延 1,421	43.0

〔指 標〕

指 標 名：青少年教育施設1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 地域教育・家庭教育等推進費 <地域における生涯学習活動への支援>	18,374,378	1,611,000	0	140,200	16,623,178

1 地域教育推進事業費 10,884,893 円 (生涯学習課)

[総括]

大清水まなび交流館をはじめ、地区・校区市民館において、地域の大人が子どもに対し多様な体験活動を行う講座を開催するなど、市民が自ら学んだ成果を地域での様々な教育活動に還元できるよう努めた。

[実績及び成果]

(1) 地域教育活動事業費 5,905,269 円

(ア) 土曜日の教育活動モデル事業費 799,060 円

内 容	平成28年度			平成29年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
土曜日の教育活動モデル事業	12	703人	40回	13	682人	35回	大清水まなび交流館

(イ) 地域教育リーダー養成事業費 8,984 円

内 容	平成28年度			平成29年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域教育リーダー養成事業	1	39人	3回	1	17人	1回	大清水まなび交流館

(ウ) 豊橋魅力発見講座事業費 888,550 円

内 容	平成28年度			平成29年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
知っトク!豊橋ゼミナール	22	1,364人	80回	22	1,581人	80回	地区市民館ほか

(エ) 生涯学習推進セミナー事業費 361,476 円

内 容	平成28年度		平成29年度		
	延参加者	回数	延参加者	回数	開催場所
生涯学習推進セミナー	2,155人	29回	2,612人	28回	校区市民館ほか

(オ) 地域いきいき子育て促進事業費 2,691,000 円

内 容	平成28年度			平成29年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域いきいき子育て促進事業	52	22,131人	739回	52	24,165人	751回	校区市民館ほか

(カ) 地域未来塾ステップ推進事業費 630,161 円

内 容	平成28年度			平成29年度			
	会場数	延参加者	回数	会場数	延参加者	回数	開催場所
地域未来塾ステップ推進事業	—	—	—	1	163人	17回	青少年センター

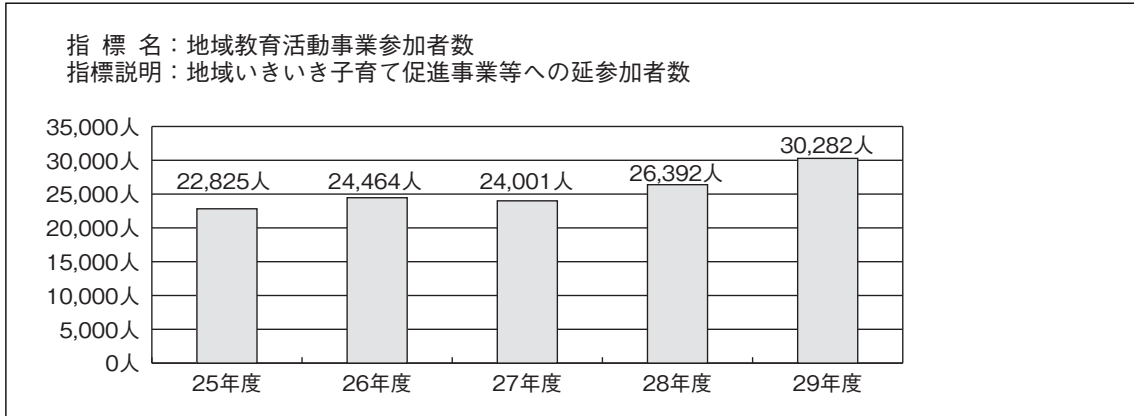
(キ) トヨッキースクール推進事業費 526,038 円

内 容	平成28年度			平成29年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
トヨッキースクール推進事業	—	—	—	8	1,062人	40回	小学校ほか

(2) 成人式開催事業費 4,979,624 円

内 容	平成28年度			平成29年度			
	校 区	参加者	開催か所	校 区	参加者	開催か所	開催場所
成 人 式	51	3,799人	46か所	51	3,770人	46か所	小学校体育館ほか

[指 標]



2 家庭教育事業費 470,828 円 (生涯学習課)

[総 括]

家庭教育に関する学習支援を充実させるため、家庭教育セミナー等を実施するとともに、学校、地域と連携した子育て学習講座等を開催した。今後も学校や家庭、地域の連携を図り、地域ぐるみで子どもを育てる活動を支援するなど、保護者への効果的な学習機会を提供していく。

[実績及び成果]

(1) 家庭教育講座事業費 470,828 円

内 容	平成28年度			平成29年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
家 庭 教 育 講 座	3	138人	11回	—	—	—	地区市民館
家 庭 教 育 セ ミ ナ ー	15	341	15	25	566人	25回	地区市民館ほか
子 育 て 学 習 講 座	45	2,776	45	43	2,872	43	小 学 校
思 春 期 家 庭 教 育 講 座	3	1,300	3	3	1,263	3	豊岡中学校ほか

3 青少年交流活動促進事業費 479,227 円（生涯学習課）

[総括]

親子や家族の交流、自然体験活動の充実を図るため「くろしおチャレンジプログラム」の実施や、同年代の子ども同士の交流、体験活動の機会として、青少年センターと連携し、防災・自然環境学習キャンプを実施した。今後も青少年の体験活動機会を充実し、交流活動の促進を図っていく。

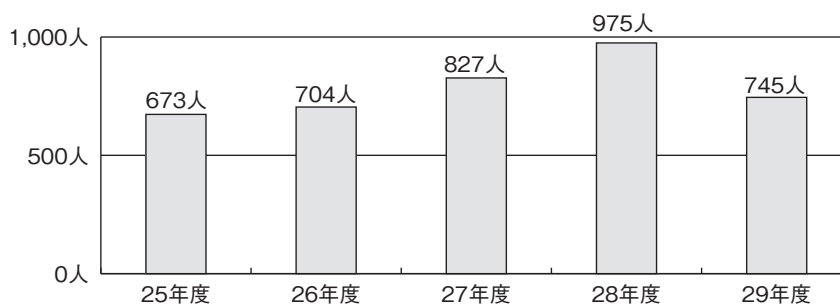
[実績及び成果]

(1) 青少年交流活動促進事業費 479,227 円

内 容	平成28年度		平成29年度		
	回 数	参加者	回 数	参加者	開催場所
自然体験プログラム遊びイベント21	18回	851人	18回	692人	少年自然の家
くろしおチャレンジプログラム	5	124	5	53	野外教育センター
キャンプ指導員養成講座	3	16	1	12	少年自然の家
出張講座	3	600	3	450	〃

[指 標]

指 標 名：青少年交流活動促進事業への参加者数
 指標説明：参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 図 書 館 費 < 図 書 館 の 充 実 >	483,616,636	0	0	1,138,095	482,478,541

1 中央図書館事業費 353,946,056 円 (図書館)

[総括]

小学4年生から6年生を対象とした「とよはしこども読書通帳」の配付を行い、読書活動推進に努めた。また英語多読の講演会開催やコーナーの充実により外国語資料の利用促進を図ったほか、展示、イベント等の充実により、郷土資料や図書に親しむきっかけづくりに努めた。さらに羽田八幡宮文庫資料の悉皆調査を行い、保存管理計画策定に向けた基礎資料の作成を進めた。今後も貴重な資料や有益な図書の収集に努めるとともに、多様化・高度化する図書館へのニーズに対応するため、適切なサービスの提供や環境の整備に努める。

[実績及び成果]

- | | |
|------------------|--------------|
| (1) 児童図書業務費 | 11,255,929 円 |
| (2) 一般図書業務費 | 33,129,437 円 |
| (3) レファレンス業務費 | 3,452,931 円 |
| (4) 郷土・司文庫等図書業務費 | 2,438,016 円 |
| (5) AV・CD電子図書業務費 | 1,770,125 円 |

[利用状況等]

区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
開 館 日 数	291日	290日	△ 0.3%
入 館 者 数	延 379,420人	延 370,791人	△ 2.3
館 外 貸 出 人 数	延 189,215	延 184,063	△ 2.7
館 外 貸 出 冊 数	延 933,111冊	延 912,044冊	△ 2.3
館 外 貸 出 人 数 (C D)	延 8,594人	延 8,142人	△ 5.3
館 外 貸 出 点 数 (C D)	延 16,005点	延 15,142点	△ 5.4
蔵 書 冊 数	674,947冊	682,905冊	1.2
() 内は司文庫で再掲	(34,566)	(34,728)	(0.5)
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	6,383点	6,461点	1.2

[資料購入状況]

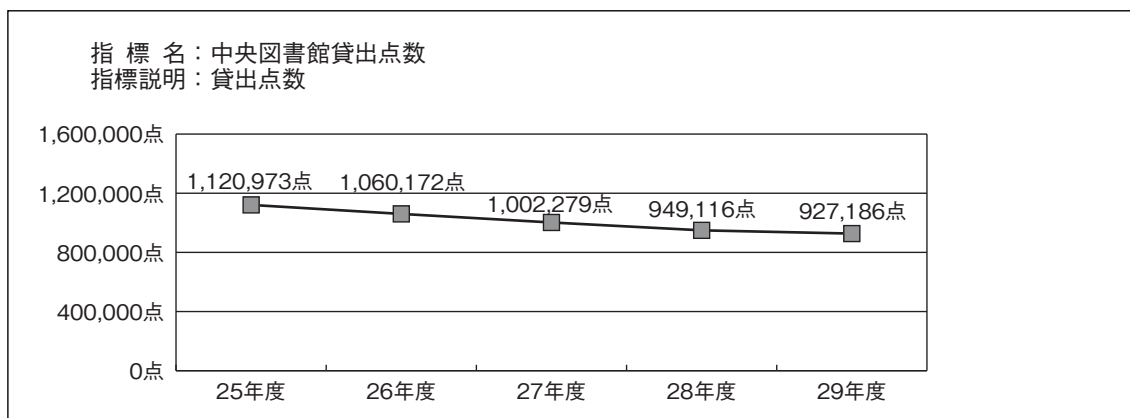
区 分	内 容	平成28年度	平成29年度	比 較
図 書	一 般	9,131冊	7,092冊	△22.3%
	児 童	2,791	2,581	△ 7.5
	参 考	290	328	13.1
	郷 土	81	96	18.5
	司 文 庫	107	162	51.4
	計	12,400	10,259	△17.3
逐次刊行物	雑 誌 等	244種	246種	0.8
	新 聞	22	22	0.0
	追 録	8	8	0.0
視 聴 覚 資 料	C D、 D V D 等	72点	66点	△ 8.3

(6) 行事開催業務費

9,410,141 円

区 分	平成28年度		平成29年度	
資 料 展 (司文庫展、「平和を求めて」展等)	8回	延 14,803人	9回	延 25,068人
資 料 展 関 連 行 事	8回	延 397	6回	延 605
市 民 向 け 講 座	6講座	延 231	6講座	延 153
ボランティア等育成講座、研修	9講座	延 437	8講座	延 307
講 演 会 、 コ ン サ ー ト	—		1回	延 77
映 画 上 映 会	9回	延 240	10回	延 283
図 書 館 子 ども フェスタ	4~5月	延 1,448	4~5月	延 713
夏休み子どもフェスティバル	7月	延 283	7月	延 242
図 書 館 フェスタ	11・12月	延 3,752	11・12月	延 12,474
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート)	49回	配付人数 3,243人 (絵本等)	48回	配付人数 3,001人 (絵本等)
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート) 赤ちゃん広場	36回	延 3,377人	36回	延 2,713人
お は な し の へ や	435回	延 7,732	412回	延 7,650
図 書 館 へ 行 こ う	10校	延 617	—	
調 べ 学 習 コ ン ク ー ル	18校	305	19校	287
本 の リ サ イ ク ル フェア	2回	延 1,013	3回	延 883
本 の フ リ ー マ ー ケ ッ ト	1回	延 871	1回	延 1,087

[指 標]



2 向山図書館事業費

39,048,418 円（図書館）

[総括]

市民がより身近に、図書館サービスを利用できるよう、ネットワーク館（図書館システム設置分室）と連携した配本業務に努めた。また、分室への児童図書の配本を充実させ市民館等における図書室の利用促進を図った。配本機能に加え図書館機能の充実を図り、今後もネットワーク館の拡大など、広範な市域の利用者への充実した図書館サービスの提供に努める。

[実績及び成果]

(1) 配本業務費

34,687,139 円

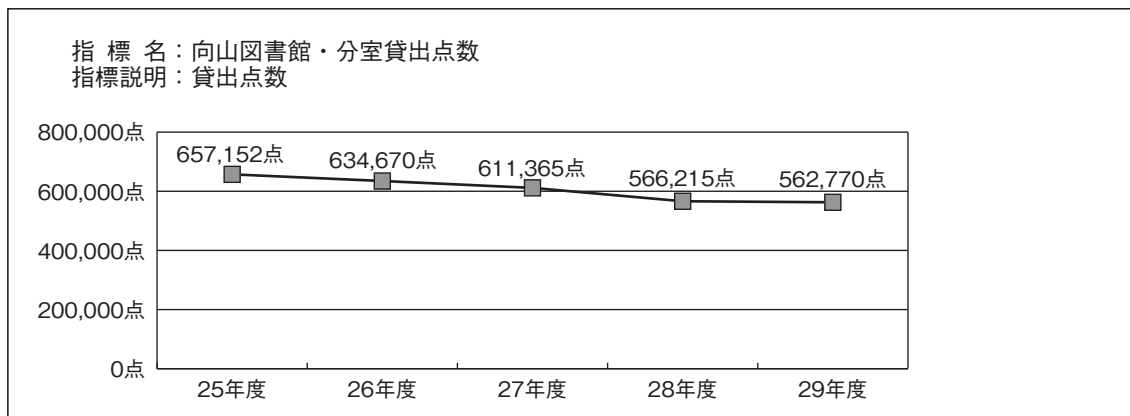
[利用状況等]

区 分		平成28年度	平成29年度	比 較
開	館 日 数	291日	290日	△ 0.3%
入	館 者 数	延 146,961人	延 148,007人	0.7
館外貸出人数	向 山 図 書 館	延 69,599	延 72,162	3.7
	分 室	延 82,069	延 79,322	△ 3.3
	計	延 151,668	延 151,484	△ 0.1
館外貸出冊数	向 山 図 書 館	延 296,346冊	延 304,892冊	2.9
	分 室	延 269,869	延 257,878	△ 4.4
	計	延 566,215	延 562,770	△ 0.6
蔵 書 冊 数		267,948	267,883	△ 0.0

[資料購入状況]

区 分	内 容	平成28年度	平成29年度	比 較
図 書	一 般	4,689冊	4,331冊	△ 7.6%
	児 童	3,409	3,463	1.6
	参 考	3	1	△66.7
	郷 土	13	15	15.4
	計	8,114	7,810	△ 3.7
逐次刊行物	雑 誌	49種	49種	0.0
	新 聞	10	10	0.0

[指 標]



3 大清水図書館事業費

43,528,011 円（図書館）

〔総括〕

開館3年目となり、地域の図書館として市民に深く定着し、充実した図書館サービスによって多くの市民に利用された。また、豊橋市と田原市が連携した資料展等を開催し、市民の読書活動推進を図った。

〔実績及び成果〕

(1) 図書業務費

9,595,831 円

〔利用状況等〕

区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
開 館 日 数	291日	290日	△ 0.3%
入 館 者 数	延 290,182人	延 303,298人	4.5
館 外 貸 出 人 数	延 60,585	延 60,318	△ 0.4
館 外 貸 出 冊 数	延 298,264冊	延 298,835冊	0.2
館外貸出人数（C D）	延 632人	延 757人	19.8
館外貸出点数（C D）	延 1,034点	延 1,214点	17.4
蔵 書 冊 数	61,023冊	64,814冊	6.2
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	390点	473点	21.3

〔資料購入状況〕

区 分	内 容	平成28年度	平成29年度	比 較
図 書	一 般	3,322冊	2,619冊	△21.2%
	児 童	1,592	1,034	△35.1
	参 考	0	0	—
	郷 土	15	7	△53.3
	計	4,929	3,660	△25.7
逐次刊行物	雑 誌 等	132種	128種	△ 3.0
	新 聞	10	10	0.0
視聴覚資料	C D、D V D 等	64点	80点	25.0

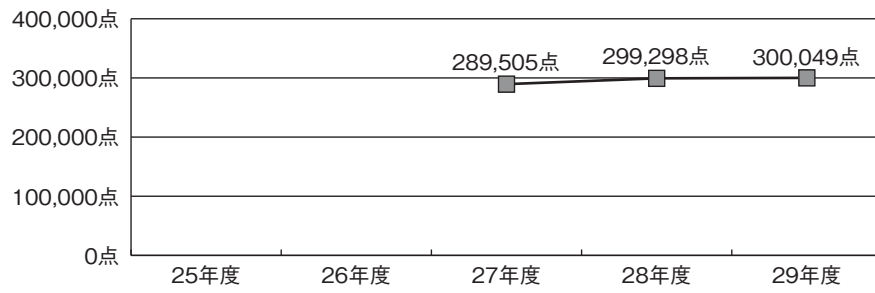
(2) 行事開催業務費

47,592 円

区 分	平成28年度	平成29年度
資 料 展	—	1回 延 879人
市 民 向 け 講 座	—	1講座 延 15
講 演 会	1回 延 95人	—
ミ ナ ク ル ま つ り	11月(1日間) 延 167	11月(1日間) 延 101
お は な し の へ や	71回 延 1,653	78回 延 1,503
図 書 館 を 知 ろ う	—	4校 延 245

[指 標]

指 標 名：大清水図書館貸出点数
指 標 説 明：貸出点数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 美術博物館費 <美術博物館の充実>	309,759,878	0	26,400,000	41,981,923	241,377,955

1 美術博物館事業費 301,296,357 円 (美術博物館)

[総括]

若手作家の発掘と育成を目的として3年に1度開催する全国公募展「第7回トリエンナーレ豊橋 星野真吾賞展」や、写実をテーマとして多様な絵画や造形作品を展望した「ニッポンの写実 そっくりの魔力」など多彩な展覧会を開催し、優れた芸術文化を紹介するとともに、「漫画界のレジェンド 松本零士展」など知名度の高い作家の展覧会も開催することで、家族連れや幅広い年齢層のファンなど多くの来館者を得た。また、展覧会に合わせて講演会やワークショップ、ギャラリートークなど普及事業を実施した。

施設の長寿命化を図り、展示・収蔵等博物館機能を向上するとともに、来館者に快適な鑑賞環境を提供するため、施設・設備の改修を行うための劣化調査を行った。

今後も、郷土ゆかりの美術・歴史資料の研究、優れた芸術作品の紹介、市民に幅広く受け入れられる展覧会の開催に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 95,380,903 円

[利用状況]

区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
開 館 日 数	308日	299日	△2.9%
企 画 展	11件 延110,177人	10件 延 93,923人	△14.8
共 催 展	5 延 7,081	6 延 8,507	20.1
一 般 展	71 延 78,513	59 延 68,966	△12.2
公 開 講 座 等	24 延 2,850	25 延 2,321	△18.6
計	198,621	173,717	△12.5

[施設整備]

内 容	平成28年度	平成29年度
	喫茶室改修工事	

(2) 展覧会事業費 61,054,209 円

(ア) 展覧会開催事業費 60,892,209 円

平成 28 年度		平成 29 年度		入場者数 比較
展覧会名	延入場者数	展覧会名	延入場者数	
豊橋市美術博物館 「新」収蔵品展	2,925人 (1回15人)	豊橋市美術博物館 「新」収蔵品展	3,964人 (1回20人)	35.5%
第 38 回 豊 橋 美 術 展	3,153	第 39 回 豊 橋 美 術 展	3,466	9.9
第 66 回 豊 橋 市 民 展	4,378	第 67 回 豊 橋 市 民 展	3,157	△27.9
市制施行110周年・美術博物館 リニューアル記念展 「NIHON画～新たな地平を求めて」	4,833 (4回120人)	ニッポンの写実 そっくりの魔力	7,051 (7回574人)	—
描く！マンガ展～名作を生む 画技に迫る	9,683 (7回430人)	漫画界のレジェンド 松本零士展	12,863 (6回901人)	—
丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス水彩・素描展	7,637 (6回328人)	ウィリアム・モリス 原風景で たどるデザインの軌跡	6,810 (5回301人)	—
市制施行110周年記念 放浪の天才画家 山下清展	28,359 (4回1,707人)	/		—
収蔵品展 没後10年 平川敏夫展	3,452	収蔵品展 「生誕100年 森緑翠と白土会」	2,965 (2回299人)	—
市制施行110周年記念 普門寺と国境のほとけ展	14,369 (2回250人)	豊橋の寺子屋展	4,025 (2回110人)	—
市制施行110周年記念 豊橋・ヴォルフスブルグ交流展	4,049	第7回トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展 ～明日の日本画を求めて～	5,564 (2回116人)	—
常 設 展	27,339	常 設 展	44,058	61.2
延535日	110,177 (24回2,850人)	延639日	93,923 (25回2,321人)	△14.8

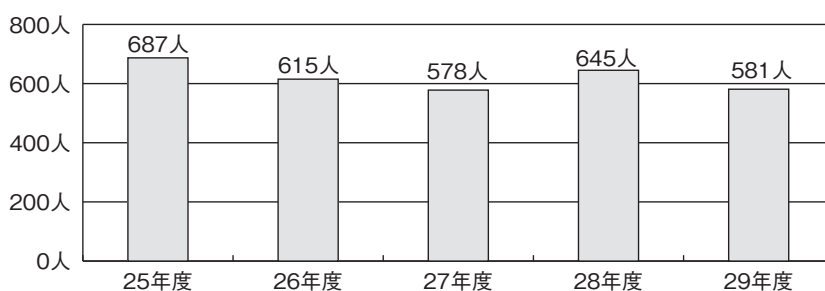
※ () は記念講演会等の開催回数及び参加人数で外書き

(3) 資料収集事業費 9,964,850 円

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度
美 術 資 料	岡村桂三郎作 日本画 「獄龍」等 3点	中村正義作 日本画 「五忿怒」等 2点
歴 史 資 料	「三河国八名郡乗本菅沼 家文書」等 8件	「自江戸至長崎東海道山陽道 四国九州街道ノ図」等 2件

[指 標]

指 標 名：美術博物館 1 日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



2 民俗資料収蔵室運営事業費 3,676,819 円（美術博物館）

[総 括]

民俗資料収蔵室として活用する旧多米小学校は、昭和 19 年に建てられた市内に残る唯一の木造校舎で、当時のたたずまいを思い起こさせる歴史的な価値を備えており、民俗資料を活用した小学生の体験教室にも利用されている。また、映画「早咲きの花」のロケ地として使用されたことをきっかけとして、当時の教室の様子を再現している。今後、将来に向けての保存及び活用方法を検討し、利用者の拡大を図る。

[実績及び成果]

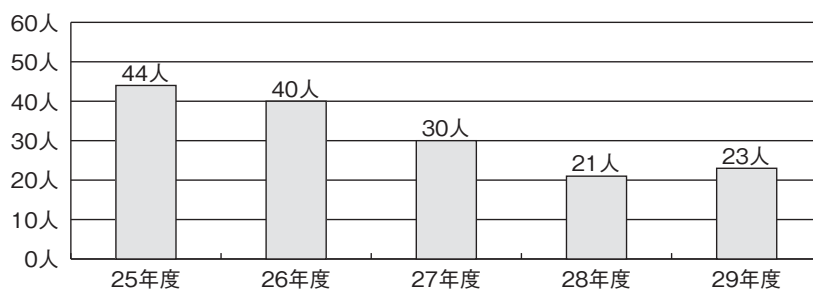
(1) 民俗資料収蔵室運営事業費 3,676,819 円

[利用状況]

区 分	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	比 較
開 室 日 数	164日	160日	△ 2.4%
延 入 室 者 数	3,452人	3,695人	7.0

[指 標]

指 標 名：民俗資料収蔵室 1 日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開室日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 歴史資源保存活用費 <歴史資源の保存と活用>	94,610,632	0	0	9,174,208	85,436,424

1 二川宿本陣資料館事業費 74,818,996 円 (美術博物館)

[総括]

東海道を中心とした江戸時代の交通、地域の歴史や文化を紹介するため、常設展示をはじめ、「浮世絵ねこの世界展」、「岡山藩主池田家と吉田・二川」、「田原市博物館所蔵 浮世絵名品展」などの企画展、「体験講座」、「ひなまつり」などを開催したほか、地元住民が主体となって開催する「大名行列」への助成、展示資料収集、調査研究活動に取り組んだ。

今後、より多くの市民に来館してもらえよう魅力的な企画展の開催に努めるとともに、イベント等開催にあたって地域住民との更なる連携に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 26,305,171 円

[利用状況]

区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
開 館 日 数	312日	312日	0.0%
延 入 館 者 数	45,208人	42,349人	△ 6.3

(2) 展覧会事業費 10,153,783 円

(ア) 展覧会開催事業費 8,403,830 円

平成28年度		平成29年度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
伊豆守が行く	4,367人	浮世絵ねこの世界展	6,040人
判じ絵の世界	10,682	岡山藩主池田家と吉田・二川	8,752
申年から酉年 干支と新春の遊び展	1,982	田原市博物館所蔵 浮世絵名品展	2,582
常設企画展 2回	6,854	常設企画展 2回	6,005
記念講演会等 2	113	記念講演会等 2	79
計	23,998	計	23,458

(イ) 琴のしらべ開催等事業費 671,774 円

平成28年度		平成29年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 3,435人	五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 2,872人
琴のしらべ・本陣茶会	入館者 366	琴のしらべ・本陣茶会	入館者 525
ほんじん講座	受講者 36	ほんじん講座	受講者 19
七夕の節句	会期中入館者 773	七夕の節句	会期中入館者 931
本陣体験講座 「ゆかたを着よう」	参加者 13	本陣体験講座 「ゆかたを着よう」	参加者 10
—	—	夏休み本陣体験講座 「江戸時代の旅体験」	参加者 6
本陣体験講座 「和本を作ろう」	参加者 17	本陣体験講座 「和本を作ろう」	参加者 22
菊の節句－重陽－	会期中入館者 724	菊の節句－重陽－	会期中入館者 747
本陣古文書講座	参加者 281	本陣古文書講座	参加者 231
春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 930	春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 774
ひなまつり	会期中入館者 14,556	ひなまつり	会期中入館者 13,918
本陣句会	応募者 144	本陣句会	応募者 98

(3) 資料収集事業費 894,000 円

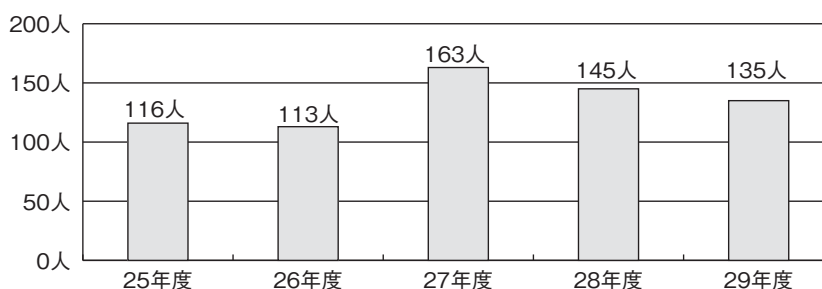
内 容	平成28年度	平成29年度
	ひな飾り 等 9点	東海道五十三次 桑名 隸書版 5点

(4) 二川宿本陣まつり（大名行列）開催事業補助金 4,400,000 円

補 助 金	平成28年度	平成29年度
	4,500,000円	4,400,000円

[指 標]

指 標 名：二川宿本陣資料館 1 日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



2 商家「駒屋」事業費

19,791,636 円（美術博物館）

[総括]

商家「駒屋」を生涯学習、地域の交流、観光の拠点となる体験型施設とし、二川宿本陣資料館と連携して五節句などのイベントを開催した。カフェでの飲食提供や、ショップでの土産物などの物品販売を行うとともに、各種イベントを定期的に開催した。今後、地域資源を活用し、住民と行政が協働して魅力ある施設として入館者増に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費

19,791,636 円

[利用状況]

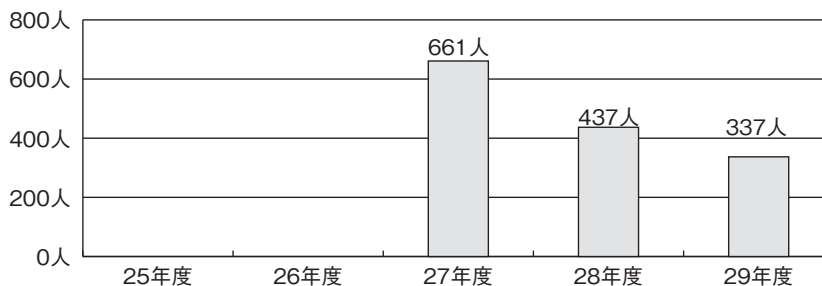
区 分	平成28年度	平成29年度	比 較
開 館 日 数	312日	312日	0.0%
延 入 館 者 数	136,272人	105,226人	△22.8

[主なイベント開催状況]

平成28年度		平成29年度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
二川宿写真展	会期中入館者 2,870人	大名行列写真展	会期中入館者 1,240人
インテリア書道展	入 館 者 2,115	新春LIVE書道 草田かしす&永田煙草 めおと展	会期中入館者 4,501
ひなまつり	会期中入館者 24,452	ひなまつり	会期中入館者 36,658

[指 標]

指 標 名：商家「駒屋」1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 文化財保護活動費 <文化財保護活動の担い手の育成>	375,712,163	146,936,000	0	53,937,188	174,838,975

1 文化財保護事業費 375,712,163円 (美術博物館)

[総括]

市内に所在する埋蔵文化財の発掘調査や指定・登録文化財に関する各種調査、指定文化財の修理費等に対する助成や普及・活用のための事業を行った。また、文化財を活用した展示や講座の開催、国史跡瓜郷遺跡の土地の購入手続きを進めた。さらに国指定史跡である馬越長火塚古墳群の保存活用計画を策定した。今後も、発掘調査事業や指定文化財の修理等に適切に対応し、文化財保護活動を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 文化財調査事業費 347,059,029円

(ア) 市内遺跡発掘調査

内 容	平成28年度	平成29年度
	東中田A古窯・賀茂古屋敷址ほかの範囲確認調査及び吉田城址・二連木城址の緊急発掘調査	

(イ) 牛川西部地区緊急発掘調査

内 容	平成28年度	平成29年度
	西側遺跡・西側北遺跡ほかの発掘調査	

(ウ) 牟呂坂津地区緊急発掘調査

内 容	平成28年度	平成29年度
	境松遺跡・坂津寺貝塚ほかの発掘調査	

(エ) 報告書作成業務

内 容	平成28年度	平成29年度
	埋蔵文化財調査報告書第142・143・144・145集の作成	

(オ) 埋蔵文化財緊急発掘調査

内 容	平成28年度	平成29年度
	坪尻遺跡・多米東町遺跡ほかの試掘確認調査	

(カ) 指定天然記念物植生調査

内 容	平成28年度	平成29年度
	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自生地の植生調査や回復作業	

(キ) 史跡馬越長火塚古墳群保存活用計画策定

内 容	平成28年度	平成29年度
	国指定史跡馬越長火塚古墳群の保存活用計画の策定(1年目)	

(ク) 史跡瓜郷遺跡公園整備用地購入費

内 容	平成28年度	平成29年度
	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購入	

(2) 文化財保存事業補助金 5,555,000円

内 容	平成28年度	平成29年度
	賀茂神社本殿の建物修理、玉泉寺のナギの樹勢回復、赤岩寺収蔵庫の修理	

(3) 文化財保存活用事業費 23,098,134円

(ア) 文化財展示公開等事業費

内 容	平成28年度	平成29年度
	「橋良遺跡の土器たち展」をはじめ、4回の企画展を開催	

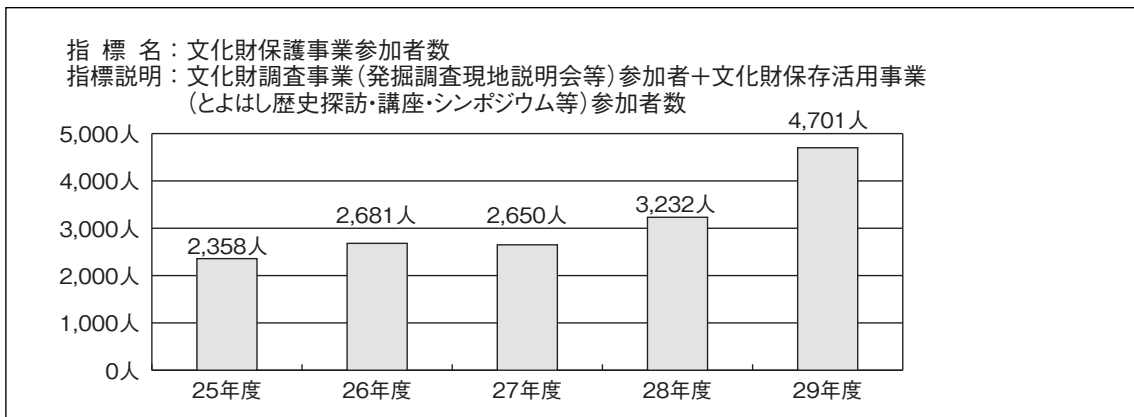
(イ) とよはし歴史探訪等開催事業費

内 容	平成28年度	平成29年度
	文化財めぐりや史跡めぐりなど現地見学、勾玉づくりなど体験講座を開催	

(ウ) 埋蔵文化財活用事業費

内 容	平成28年度	平成29年度
	企画展「普門寺と国境のほとけ展」を開催	

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 保健給食費	3,425,616,751	0	22,600,000	1,494,785,323	1,908,231,428
2目 子どもの健康増進費 <子どもの心と体の健康増進>	3,329,054,018	0	22,600,000	1,494,785,323	1,811,668,695

1 学校保健事業費 173,799,497円 (保健給食課)

[総括]

児童生徒及び教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒が安全かつ健康的な学校生活を送れるよう学校環境の衛生管理を行った。今後も各学校や関係機関と連携し、効率的・効果的な健康診断の実施や、学校環境調査後、基準超過校への事後措置の徹底を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校健康診断事業費 139,550,122円

(ア) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬 102,681,250円

区 分		人 員	
		平成28年度	平成29年度
学 校 医	内 科	78人	81人
	耳 鼻 科	15	14
	眼 科	14	14
学 校 歯 科 医		82	84
学 校 薬 剤 師		39	39
計		228	232

(イ) 健康診断費 36,868,872円

区 分	対 象	平成28年度	平成29年度	比 較
検 便	児 童	10,643人	10,472人	△ 1.6%
検 尿	児 童 生 徒	33,458	32,674	△ 2.3
心 電 図 検 査	小中高各1年・小4年・その他	10,905	10,824	△ 0.7
就 学 時 健 診	入 学 予 定 児	3,375	3,485	3.3
教 職 員 健 診	全 員	8,092	8,169	1.0

(2) 学校保健会補助金 648,907円

補 助 金	平成28年度	平成29年度
	648,411円	648,907円

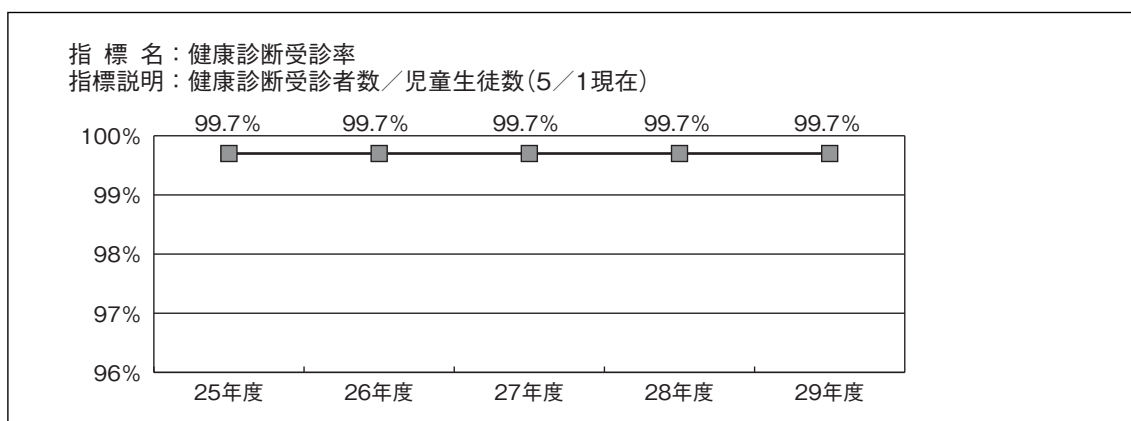
(3) 学校事故災害給付金等請求事業費 31,652,386円

(ア) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 30,641,830円

(4) 学校結核予防事業費 1,948,082円

区 分	児 童 生 徒			教 職 員		
	平成28年度	平成29年度	比 較	平成28年度	平成29年度	比 較
ツベルクリン反応検査	0人	0人	0.0%	—	—	—
間 接 撮 影	280	304	8.6	1,850人	1,923人	3.9%
直 接 撮 影	275	181	△34.2	6	3	△50.0
事 後 措 置	7	1	△85.7	2	0	皆減

[指 標]



2 共同調理場運営事業費 1,314,294,764 円（保健給食課）

[総 括]

小学校 52 校、中学校 22 校、特別支援学校 1 校の児童生徒に安全な給食を提供するため、衛生管理に十分配慮した調理を行うとともに、施設設備の充実改善に努めた。今後も給食物資について、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な地場産物の活用を推進するとともに、栄養価を考慮しながらおいしい給食を提供するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 共同調理場運営事業費（南部） 222,948,849 円

平成 28 年度			平成 29 年度			食数比較
小学校 13校	5,677人	延1,619,248食	小学校 13校	5,549人	延1,595,266食	
中学校 5	2,961		中学校 5	2,946		
特別支援学校 1	340		特別支援学校 1	372		

(2) 共同調理場運営事業費（北部） 487,578,582 円

平成 28 年度			平成 29 年度			食数比較
小学校 13校	4,818人	延1,397,675食	小学校 13校	4,825人	延1,394,120食	
中学校 6	2,872		中学校 6	2,869		

(3) 共同調理場運営事業費（西部） 139,980,463 円

平成 28 年度			平成 29 年度			食数比較
小学校 11校	5,527人	延1,450,005食	小学校 11校	5,490人	延1,425,333食	
中学校 5	2,391		中学校 5	2,350		

(4) 共同調理場運営事業費（東部） 187,008,912 円

平成 28 年度			平成 29 年度			食数比較
小学校 15校	6,283人	延1,768,043食	小学校 15校	6,248人	延1,737,402食	
中学校 6	3,511		中学校 6	3,374		

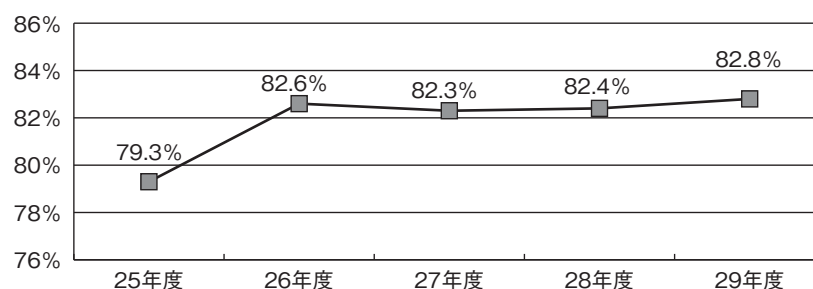
(5) 共同調理場改修工事（南部） 30,190,968 円

[施設整備]

内 容	平成 28 年度	平成 29 年度
		—

[指 標]

指 標 名：学校給食の豊橋産食材使用率
 指標説明：豊橋産食材使用日数／給食実施日数



3 共同調理場再整備事業費 4,894,560 円（保健給食課）

[総 括]

共同調理場の再整備にあたり最適な事業手法を検討するため、PFIなど民間活力の導入可能性調査を行った。今後も、共同調理場の再整備に向けて、実施方針の策定をはじめ、民間事業者の選定に必要な手続きを進めていく。

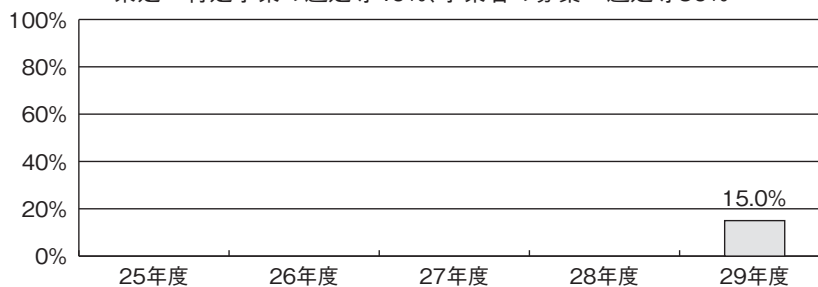
[実績及び成果]

(1) 共同調理場再整備事業費 4,894,560 円

内 容	平成28年度	平成29年度
	—	共同調理場再整備PFI導入可能性調査業務

[指 標]

指 標 名：新学校給食共同調理場(仮称)建設までの事業進捗率
 指標説明：事業契約(100%)=PFI導入可能性調査15%、用地取得・地質調査15%、実施方針策定・特定事業の選定等40%、事業者の募集・選定等30%



科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11款	災 害 復 旧 費	20,540,418	0	0	0	20,540,418
2項	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	2,356,560	0	0	0	2,356,560
1目	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	2,356,560	0	0	0	2,356,560

1 農業用施設災害応急復旧費 2,356,560 円 (農地整備課)

[総括]

平成 29 年 10 月の台風 21 号及び台風 22 号により、七股池に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 農業用施設災害応急復旧費 2,356,560 円

内 容	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
		—

科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	18,183,858	0	0	0	18,183,858
1目	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	18,183,858	0	0	0	18,183,858

1 諸施設災害応急復旧費 18,183,858 円 (「スポーツのまち」づくり課始め 6 課)

[総括]

平成 29 年 8 月の台風 5 号、9 月の台風 18 号、10 月の台風 21 号及び台風 22 号により、公園、学校等の施設に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 諸施設災害応急復旧費 18,183,858 円

内 容	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度		
		—	消防本部総務課 教育政策課 生涯学習課 美術博物館 「スポーツのまち」づくり課 公園緑地課	公共施設等復旧 倒木処理